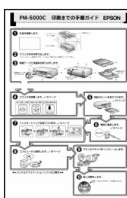
PM-5000C

リファレンスガイド ～必要に応じてお読みください～

－本書は、プリンタの近くに置いてご活用ください－

4010177-03
C01

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

印刷までの手順ガイド

プリンタを梱包箱から取り出したときにお読みください。
同梱物の確認、保護具の取りはずしから、印刷するまでの
手順を簡単に説明しています。

セットアップガイド

必ずお読みください。
プリンタの設置や付属品の取りつけから、プリンタドライバのインストールまでの手順が記載されています。

リファレンスガイド～必要に応じてお読みください

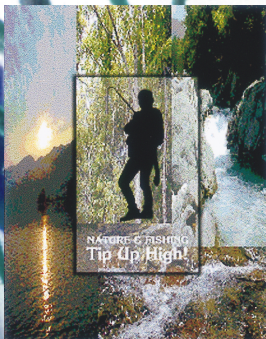
機能、操作方法など、本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
お客様の目的や必要に応じて、必要な章をお読みください。

困ったときにお読みください

各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターにお問い合わせいただく前に、お読みください。

カラーイメージングの世界へようこそ！

Welcome to Color Imaging World

さまざまな写真データを活用して、フォトマッハジェットプリンタで印刷した例です。写真画質に迫る高品質なカラー印刷により、今までは、表現できなかったような、よりリアルな文書やデザインなどができあがります。これをヒントに、お客様ご自身のアイデアを盛り込んだ楽しいカラー印刷に挑戦してください。

色の概念

ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、色の表現方法や、コンピュータでのカラー画像の扱い、コンピュータと画像の解像度の関係などを説明しています。

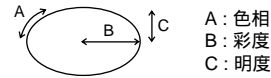
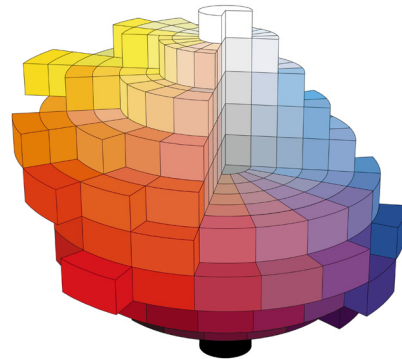
色の要素

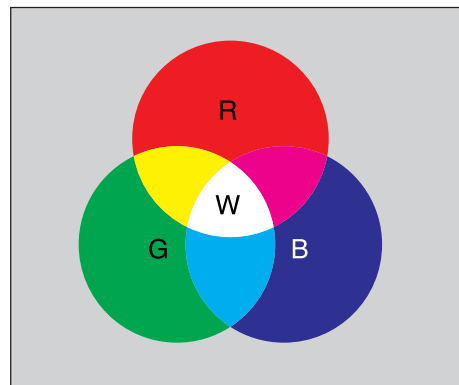
一般に「色」というと赤や青などの**色相（色合い）**を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に**彩度、明度**という要素があります。

彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

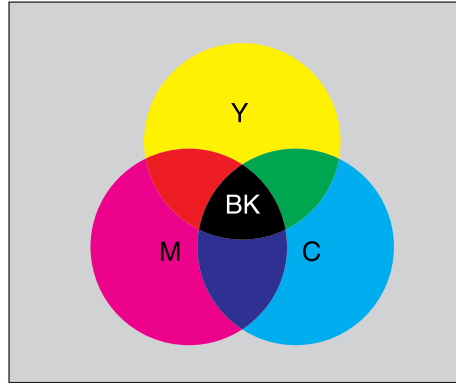
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

右の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

A : 色相
B : 彩度
C : 明度

ディスプレイの発色プロセス<加法混色>

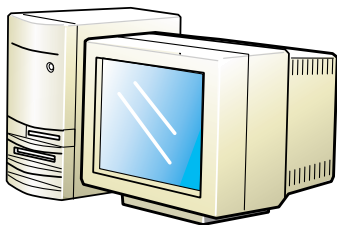
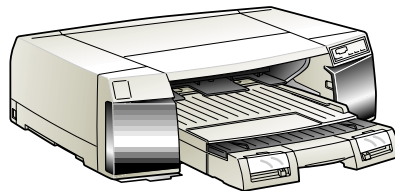
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、**赤(R)**、**緑(G)**、**青(B)** の3色の光が見えます。これは**「光の三原色」**と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが0:黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが100:白）までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、**加法混色（加色法）**と呼ばれます。

R:赤　G:緑　B:青　W:白

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
正確には、当たった光のうち一部の色を吸収(減色)し､残りの色を反射することで色を表現します。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。
このとき、基本色となる色は加法混色のRGBではなく､混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン(C)､マゼンタ(M)､黄色(Y)の3色です。この3色を一般に｢色の三原色｣と呼び､｢光の三原色｣と区別します。

Y:黄　M:マゼンタ　C:シアン　BK:黒

理論的にはCMYの3色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では､より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMY BKの4色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜならば、CRTディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

“光”の三原色で表示

“色”の三原色で印刷

このRGB→CMY変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。☞｢より高度な色合わせについて｣(12)ページ

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ ディスプレイ（RGB）→ 印刷(CMY)の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

カラー印刷のポイント

カラー印刷の中でも、文字に色をつけたり、８～１６色のイラストを印刷する場合は、「プリンタドライバでカラー印刷を行う指定」や「アプリケーションソフトでカラー印刷を行う指定」さえしておけば、ほかに特別な準備は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、画像データを加工できるアプリケーションソフトを使用して印刷データを準備したり、パソコンの環境を整備する必要があります。

スキャナから取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この３点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト/シャドウ/ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください(シャドウを黒ベタ(0/255)にしないように、ハイライトを白(255/255)としてとばさないように注意してください)。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。

スキャニング時の画素数(または解像度の設定)は印刷サイズを考慮する

スキャニング時の画素数(または解像度の設定)は、印刷品質に影響を与えます。また、最終的に印刷するサイズに応じて適した画素数が変化します。次項を参考にして最適な設定を行ってください。

印刷サイズと画素数の関係

最終的に印刷するサイズに応じて、適した画素数は変化します。つまり、少ない画素数の画像データを用いて大きなサイズの印刷を行った場合には、好ましい画像品質が得られません。逆に、多すぎる画素数の画像データを用いて小さなサイズの印刷を行っても、画像品質の向上はあまり認められません。

下表の印刷サイズと画素数の関係を目安にしてください。下表は、画像解像度(画像ファイルのサイズ(縦横の長さ)を印刷するサイズに設定したときの画像解像度)の大きさによって、「推奨外サイズ」から「オーバースペック」までの４段階に分類しています。

360dpi〜　　：＊　オーバースペック
180〜360dpi：◎　推奨サイズ
100〜180dpi：○　許容サイズ
〜100dpi：△　推奨外サイズ

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数		画像データ容量		推奨印刷サイズ					
							A6	A5	A4	A3	B5	B4
デジタルカメラ	350,000 画素	ー	640	480	900	KB	○	△	△	△	△	△
	870,000 画素	ー	1024	768	2.3	MB	◎	○	△	△	○	△
フイルムスキャナ	1200DPI	ー	1700	1100	5.4	MB	◎	◎	○	○	○	○
フラットベッドスキャナ	300DPI	4'×6'	1800	1200	6.2	MB	◎	◎	○	○	○	○
		A4	3600	2550	26.3	MB	＊	＊	◎	◎	＊	◎
	600DPI	4'×6'	3600	2400	24.7	MB	＊	＊	◎	◎	◎	◎
		A4	7200	5100	105.1	MB	＊	＊	＊	＊	＊	＊
Photo CD	BASE	ー	768	512	1.1	MB	○	△	△	△	△	△
	4BASE	ー	1536	1024	4.5	MB	◎	◎	○	△	○	○
	16BASE	ー	3072	2048	18.0	MB	＊	＊	◎	◎	◎	◎

また、とくに大きな印刷サイズで出力する場合、印刷画像の品質は、画像データの容量だけでなく、原稿フィルムのサイズにも影響を受けます。ブローニーフィルムなどの大きなフィルムから得られた画像データは、データ容量が35mmフィルムと同じ場合でも、その質が良くなっています。したがって、大きなフィルムサイズの原稿を用いた画像データを印刷することにより、より一層、高い印刷画像品質が得られます。

シャープネスの強調

Photo CDの画像データやスキャナから取り込んだ画像データは、多くの場合そのままでは、シャープネスが不足しています。引き締まった出力を得るためには、PhotoShopなどのアプリケーションソフトでシャープネス処理を施して印刷することをお薦めします。

環境を整える

画像解像度が360DPIのデータは、サイズによっては容量も膨大になります。大きなデータを扱うには、コンピュータの環境を整えることが必要になります。画像の読み書き・表示・印刷などの作業に影響を与える要素には、次のものが挙げられます。

メモリ・ハードディスクの容量

画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業効率に影響を与える重要な要素です。そのため、メモリやハードディスク(システムを起動しているドライブ、または仮想記憶領域を割り当てているドライブ)には十分な容量を確保してください。快適に作業するには、最低でも扱う画像データ容量の2倍以上の空き容量が必要です。高速なCPUを搭載していれば、さらに快適な作業が可能です。

ディスプレイアダプタの性能

フルカラーのデータを扱うには、WindowsではHighColor(65000色)以上、Macintoshでは32000色以上の色数を表示できるディスプレイアダプタおよびディスプレイドライバが必須です。さらに、表示色数だけでなく、表示速度も作業効率に影響を与える重要な要素です。

アプリケーションソフトの性能

メモリ・ハードディスクと同じく、画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業に影響を与える重要な要素です。画像の読み書きの速度は、アプリケーションソフトによって差があります。また、カラーマッチング(表示および印刷)の点でも、モニタキャリブレーションの機能を持つものがベストな選択と言えます。
Photoshopなどの、本格的なグラフィックス向けのアプリケーションソフトを使用されることをお薦めします。

印刷解像度と用紙種類

印刷解像度や印刷する用紙の違いによっても、プリンタ出力の結果に大きな違いがあります。フォト印刷は、もっとも美しく印刷できますが、同時に時間もかかります。使用目的にあわせて、最適な印刷解像度および用紙を選択してください。以下の印刷サンプルでは、印刷解像度と用紙種類による印刷の違いを確認していただけます。

用紙サイズ：A4
印刷品質　：フォト
用紙種類　：スーパーファイン専用光沢紙

用紙サイズ：A4
印刷品質　：スーパーファイン
用紙種類　：スーパーファイン専用紙

用紙サイズ：A4
印刷品質　：ファイン
用紙種類　：普通紙

カラー調整

写真やコンピュータで作成したカラーデータの印刷を行う際に問題となるのが、ディスプレイ上と実際のプリンタ出力の色合いに差異があることです。これらの差異を完全に一致させることは困難ですが、できる限り合わせ込む（カラーマッチング）ことも可能です。カラーマッチングのさらに詳細な説明は（12）ページを参照してください。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定モードは、通常「推奨設定」にしておけば、標準的な出力結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、あくまでも一般的かつ一律的なレベルですので、さらにより細かく調整をしたい場合には「詳細設定」で微調整（設定変更）を行ってください。

● *Windows ドライバ*

● *Macintosh ドライバ*

オートフォトファイン！２

（Windows3.1/NT3.51は「オートフォトファイン」ですが、以下「オートフォトファイン！２」を主体に説明します。）

オートフォトファイン！２とは、エプソン独自の画像解析／処理技術を用いて自動的に画像を高画質化する、業界初の機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって、自動的にかつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン！２」です。
この機能は、基本的にはどのような画像に対しても効果を発揮し、また、１ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

●画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
●画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅いCPUを搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。

オートフォトファイン！２を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、このオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGBカラーバランスの補正

オブジェクトのRGBごとのヒストグラムを分析し、RGBごとにトーンカーブ補正を行います。
➡色かぶりが補正されます。

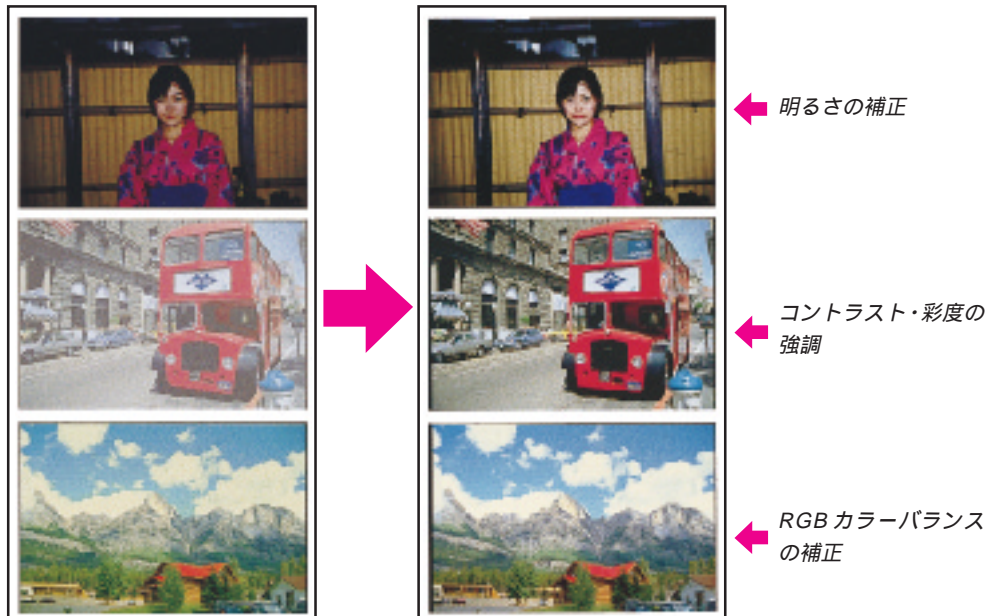
明るさの補正

オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
➡暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。

コントラストの強調

ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
➡中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。

彩度の強調

画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。
➡色あせた画像が鮮やかになります。

※1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

「主要オブジェクトの認識」と「ＲＧＢごとのヒストグラム分析」は、オートフォトファイン！２のみの機能です。オートフォトファイン（Windows3.1/NT3.51）では、画像全体を分析して、明るさ、コントラスト、彩度の補正のみを行います。また、オートフォトファインでは、１ページ内の複数画像の個別処理は行えません。

イメージ補正

明度・ブライトネスの調整

プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて、色が暗い、または色が明るくとんでしまうときに調整します。

設定－

設定０

設定＋

コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて全体的にぼやけているときに調整します。

設定－

設定０

設定＋

彩度・サチュレーションの調整

プリンタ出力の結果を、もっと鮮やかに、色の深みを増したいときに調整します。

設定－

設定０

設定＋

カラーコントロールの調整

シアン・マゼンタ・イエローの濃淡を調整して、色合いを変えたいときに行います。

シアンの調整

全体の青みの濃淡を調整します。

設定−

設定0

設定＋

マゼンタの調整

全体の赤みの濃淡を調整します。

設定−

設定0

設定＋

イエローの調整

全体の黄みの濃淡を調整します。

設定−

設定0

設定＋

※ここで使用している写真データは、ISO/JIS-SCITの画像です。

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。このような場合の、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

●ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像やPhoto CDなどの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、次項を参照してください。

●カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、MacintoshではApple社の「ColorSync」、Windows95ではMicrosoft社の「ICM」があります。
カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

ディスプレイの調整

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

> これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは、原稿または印刷結果に近づけることができますが、全てを近づけることはできません。最も気になる部分（肌色など）を合わせ、その他の部分は多少目をつぶるくらいの気持ちで調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにし、30分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。**
2. **室内の照明環境を一定にします。**
   自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。
3. **ディスプレイの白調整を行います。**
   ディスプレイで表示される「白」が、「印刷に使用する紙の白」に近くなるように調整します。
4. **ディスプレイの黒調整を行います。**
   ディスプレイで表示される「黒」が、「真っ黒」に近くなるように調整します。
5. **Macintoshをお使いで、コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshopがインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**
   ガンマ補正の値は、一般的な 1.8 に設定するのが良いでしょう。
6. **ディスプレイでカラーバランスを調整できる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように微調整しても良いでしょう。**
   一般的なディスプレイは、やや青みが強くなっています。
7. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

カラーマネージメントシステム

以下に、「ColorSync」や「ICM」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。

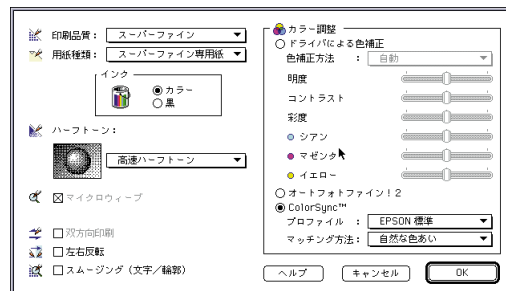
「ColorSync」の場合

「ColorSync」を利用するには、Macintosh に「ColorSync™ 2.0」がインストールされている必要があります。

❶ **まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。**
設定の手順は、本書 111 ページの説明をお読みください。

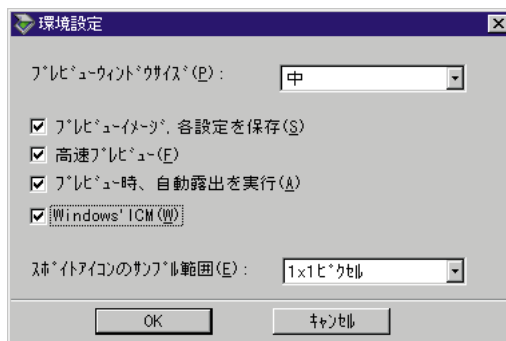
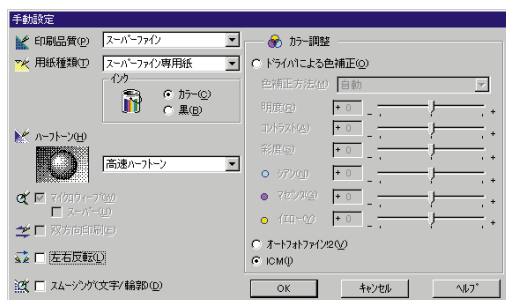
❷ **スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN(スキャナの画像取り込み用ソフト)で、「ColorSync™」を使用して画像を取り込みます。**

■ES-8000での例

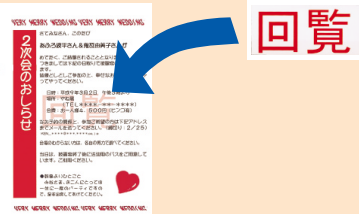
❸ **プリンタドライバで「ColorSync™」を選択して、印刷します。**

- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J、Illustrator7.0J など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync™」を選択せず、[ドライバによる色補正]－[色補正なし]を指定してください。

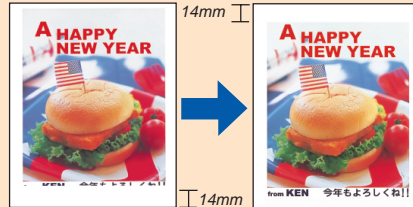
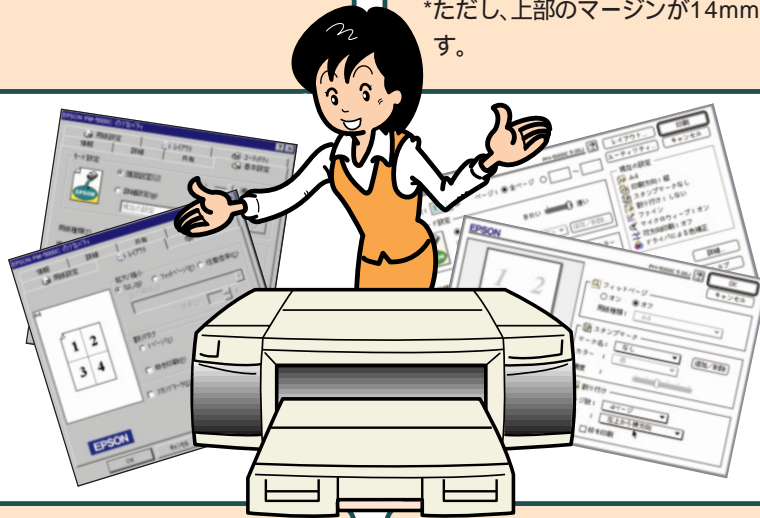
「ICM」の場合

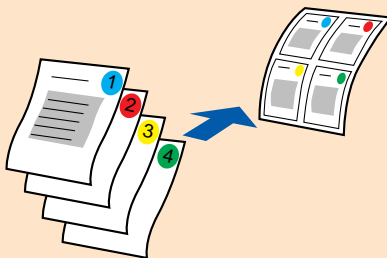
❶ スキャナから画像を取り込む場合、TWAIN(スキャナの画像取り込み用ソフト)で、「ICM」を使用して画像を取り込みます。

■ ES-8000での例

❷ プリンタドライバで「ICM」を選択して、印刷します。

こんなこともできます

本機のプリンタドライバには、便利な印刷機能がついています（Windows95/NT4.0/Macintosh）。お客様の自由な発想でさまざまな使い方をしてください。

■ スタンプマーク

文書に㊙などのイメージを重ねて印刷することができます。
お客様のオリジナルのイメージを保存し、印刷することも可能です。

■ 180度回転印刷

印刷イメージを180度回転して印刷します。これにより用紙下部にできる14mmのマージン（余白）が3mm*になり、用紙の下部を欠かずに印刷することができます。
*ただし、上部のマージンが14mmになります。

■ 割り付け印刷

（Windows95/Macintosh）

２ページまたは４ページ分の連続データを１ページにまとめて印刷できます。

■ 拡大 / 縮小印刷

プリンタにセットした用紙サイズを設定することで、自動的に倍率が設定されます。
また任意の倍率*を設定することも可能です。
* Windows 10%～400%、
  Macintosh 25%～400%

本書のご案内

詳しいもくじは次のページにあります。

もくじ

Windows3.1/NT3.51 での印刷

Macintosh での印刷

ユーティリティの使い方

オプションと消耗品について

付録

索引

スイッチとランプ

ここでは、スイッチとランプの説明をしています。

スイッチとランプについて

操作パネル上のスイッチ操作により、各種機能の設定や実行ができます。
また、操作パネル上のランプによりプリンタの状態を知ることができます。

スイッチ

排紙 スイッチ

用紙がプリンタ内にある状態や、紙詰まりや排紙未完了時に押すと用紙を排出します。
用紙チェックエラー時に押すと、強行印刷を行います。

クリーニング スイッチ

3秒間押したままにすると、プリントヘッドのクリーニングを行います。
印刷品質が悪くなったときなどにクリーニングを行います。

リセット スイッチ

3 秒間押したままにすると、プリンタバッファ*1内のデータやメモリ上のデータをクリアします。

電源 スイッチ

プリンタの電源をオン / オフにします。

*1 バッファ：処理するためのデータを一時的に蓄えるメモリのこと。

ランプ

BK（ブラック）インクエンド ランプ

ブラック（黒）インクが残り少なくなると点滅し、インクがなくなると点灯します。

C（シアン / ライトシアン）インクエンド ランプ

シアン / ライトシアンインクが残り少なくなると点滅し、インクがなくなると点灯します。（シアンまたはライトシアンのインク残量の少ない方を表示します。）

用紙チェック（用紙カセット 1） ランプ

用紙カセット1の用紙がないときに点灯します。ランプ表示の詳細は ☞困ったときにお読みください（4 ページ）

Y（イエロー）インクエンド ランプ

イエローインクが残り少なくなると点滅し、インクがなくなると点灯します。

M（マゼンタ / ライトマゼンタ）インクエンド ランプ

マゼンタ / ライトマゼンタインクが残り少なくなると点滅し、インクがなくなると点灯します。
（マゼンタまたはライトマゼンタのインク残量の少ない方を表示します。）

用紙チェック（手差し） ランプ

手差し給紙（前または後）時に用紙がないときに点灯します。
ランプ表示の詳細は ☞困ったときにお読みください（4 ページ）

用紙チェック（用紙カセット 2） ランプ

用紙カセット2（オプション）の用紙がないときに点灯します。
ランプ表示の詳細は ☞困ったときにお読みください（4ページ）

電源 ランプ

印刷可能状態の時に点灯し、データの受信・処理中やクリーニング中には点滅します。
電源 スイッチをオフにしたときは、電源が落ちるまで点滅しています。

ポイント

エラーが発生したときは、いくつかのランプが点滅します。
☞困ったときにお読みください
「エラーが発生していないか確認しましょう」4 ページ

電源スイッチと各種スイッチの組み合わせ

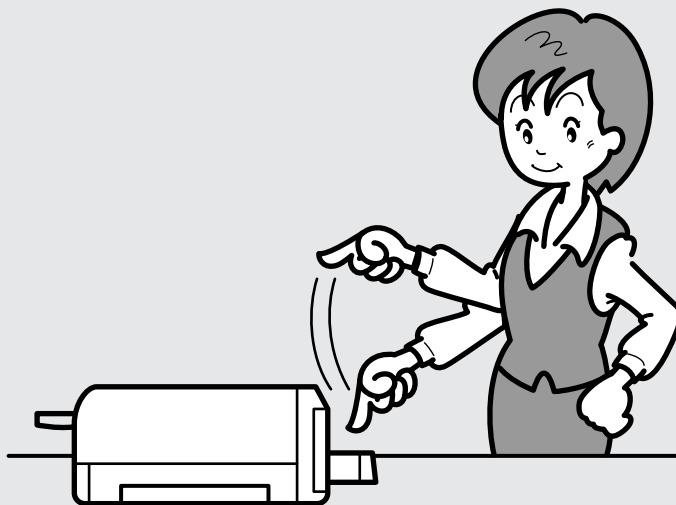
特定のスイッチを押しながら電源を入れることにより、以下の機能を実行します。

機　能	スイッチの組み合わせ	内　容
目詰まりチェックパターン印刷	リセット ＋電源オン	目詰まりチェックパターンや設定状態などを印刷します。 ☞「目詰まりチェックパターン印刷」184 ページ
用紙チェック切り替え	クリーニング ＋電源オン	双方向通信ができない環境下ではプリンタドライバ上で用紙チェックが行われないため、プリンタ本体で用紙チェックを行います。この際の用紙エラーをパネル上で表示するかどうかの設定をします。 ☞「パネル設定の詳細」186 ページ
ECP モード切り替え	リセット ＋ クリーニング ＋電源オン	パラレルインターフェイスの ECP モードを有効にするかどうかの設定をします。 ☞「パネル設定の詳細」187 ページ
手差し紙厚切り替え	排紙 ＋電源オン	手差し給紙で厚紙に印刷した場合に、インクこすれなどが発生したときに設定します。 ☞「パネル設定の詳細」188 ページ
ギャップ調整モード	リセット ＋ 排紙 ＋電源オン	印刷していて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときや、画像の中に白いすき間が出るときにプリントヘッドのギャップ調整を行います。 ☞「パネル設定の詳細」189 ページ

現在の設定状態は、目詰まりチェックパターン印刷時に次のように印刷されます。

```
=============Current Settings=============
Paper Size/Type Check                          :On
Parallel I/F ECP Mode                          :Off
Platen Gap Adjustment for Manual Feed Slots:Auto
```

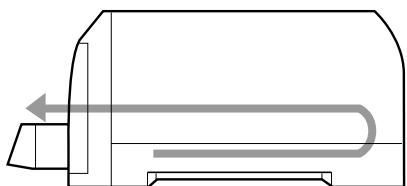
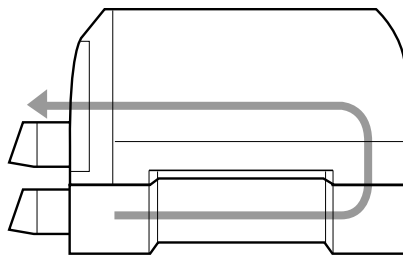
用紙チェック切り替え → Paper Size/Type Check
ECP モード切り替え → Parallel I/F ECP Mode
手差し紙厚切り替え → Platen Gap Adjustment for Manual Feed Slots

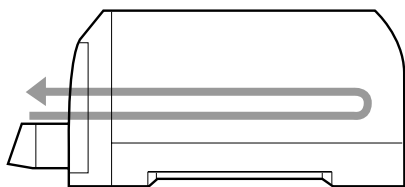
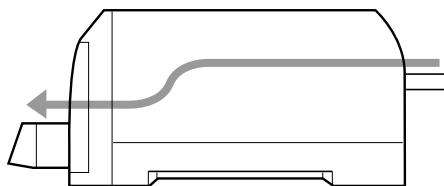
給紙の方法

ここでは、給紙経路とセットできる用紙、給紙経路ごとの用紙のセット方法について説明しています。

給紙経路とセットできる用紙

本機には 4 つの給紙経路があります。

用紙カセットからの給紙

[用紙カセット1]

- 用紙カセットにセットできる用紙の最大容量は、用紙の種類によって異なります。
  ☞「使用できる用紙の種類」20ページ
- 用紙の種類によっては用紙カセット 2（オプション）にセットできないものがあります。次ページを参照してください。

手差しスロットからの給紙（手差し給紙）

[　前　]　　　　[　後　]

- 手差しスロットにセットできる用紙は 1 枚のみです。
- 用紙によっては手差し給紙にしか対応していないものがあります。
  A3ノビより長い用紙（44インチ以下）：手差し給紙（後）のみ
  バックライトフィルム / ラベルシート　：手差し給紙のみ
- 厚手の用紙に印刷する場合は、用紙がカールしないため手差しスロット（後）から給紙することをお薦めします。

どの給紙経路から給紙するかは、プリンタドライバの「用紙設定」の[給紙方法]で設定します。ただし、手差しスロットに用紙がセットされているときは、プリンタドライバの設定や用紙サイズ/用紙種類に関係なく、手差しスロットからの給紙が優先されます。
プリンタドライバの[給紙方法]の設定内容と、給紙の関係は以下のとおりです。

設　定	給　紙
用紙カセット１	用紙カセット１のみから給紙します。 ただし、用紙カセット１から給紙される前に手差しスロットに用紙をセットした場合は、手差しスロットから給紙されます。
用紙カセット２	用紙カセット２のみから給紙します。 ただし、用紙カセット２から給紙される前に手差しスロットに用紙をセットした場合は、手差しスロットから給紙されます。
自動選択	プリンタドライバで設定した「用紙種類」「用紙サイズ」がセットされている用紙カセットから給紙します。 ただし、用紙カセットから給紙される前に手差しスロットに用紙をセットした場合は、用紙の種類やサイズの設定に関係なく、手差しスロットから給紙されます。
手差し	手差しスロットのみから給紙します。 用紙カセットからは給紙しません。

給紙経路別セット可能な用紙の一覧

お使いになる用紙のサイズや種類によっては、セットできない給紙経路があります。下表を参考にして、セット可能な給紙経路に用紙をセットしてください。

○：セット可能　×：セット不可

用紙の種類 / サイズ	用紙カセット１	用紙カセット２（オプション）	手差し給紙	
			前	後
A3 ノビ / A3 / B4	○	○	○	○
A4 縦長 / B5 縦長	○	○	○	○
A4 横長 / B5 横長	○	○	×	○
A5 縦長 / A6 縦長	○	×	×	○
リーガル縦長 / レター縦長	○	○	○	○
フォトカード	○	×	×	○
ハガキ / 往復ハガキ	○	×	×	○
バックライトフィルム	×	×	○	○
ラベルシート	×	×	○	○
A3ノビより長い用紙（44インチ以下）	×	×	×	○

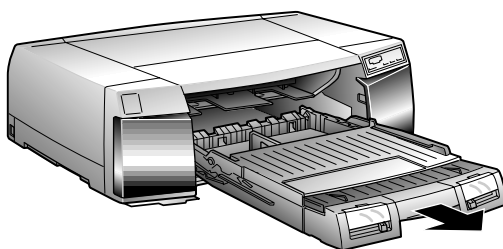
用紙カセットからの給紙

用紙カセット1または2（オプション）への用紙のセット手順は次のとおりです。
ただし、用紙カセット2にセットできる用紙サイズには制限があります。詳細は
「用紙カセット2への用紙のセット」（12ページ）を参照してください。

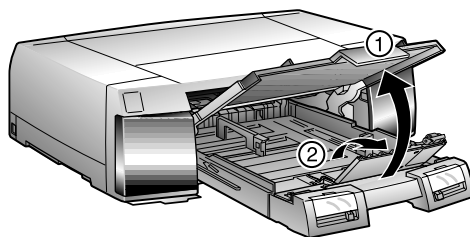
用紙カセット1への用紙のセット

1

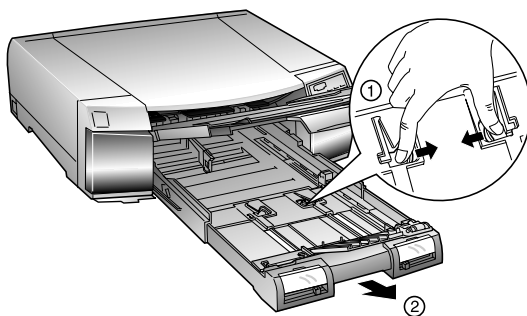
用紙カセット1を軽くロックされるところまで手前に引きます。

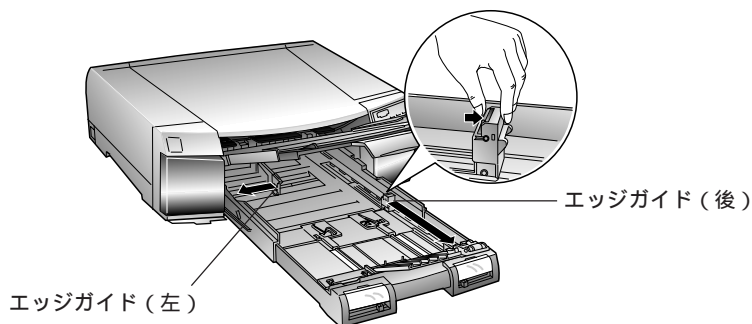
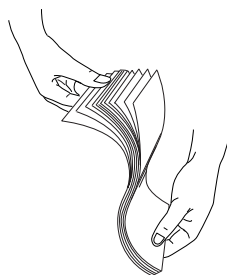
用紙カセットを少し上に持ち上げながら手前に引いてください。

用紙カセットを引き抜いてから用紙をセットすることもできます。

2

排紙トレイを持ち上げ、紙押さえローラのカバーを開けます。

3

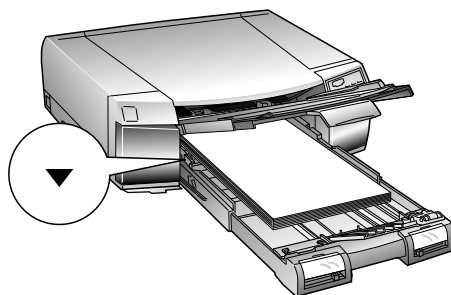
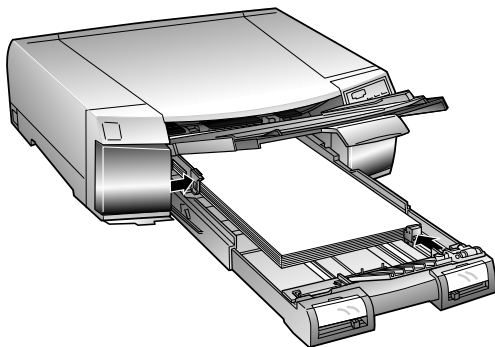
B4/A3/A3ノビサイズの用紙をセットする場合は、用紙カセットのロックを解除して延長部を引き出します。

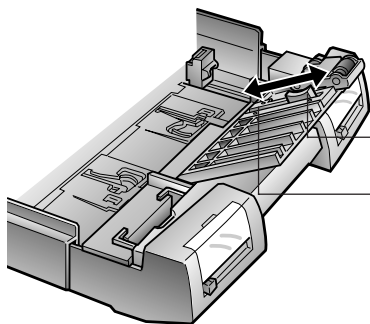
B4サイズ未満の場合はこの操作は不要です。

エッジガイド（左）とエッジガイド（後）をいっぱいに広げます。

エッジガイドは、青色のストッパーを押したままスライドさせます。

5 用紙を図のようによくさばいてから端を揃えます。

6 用紙は印刷面を「下」にして、右へ寄せて奥につきあてててセットしてください。

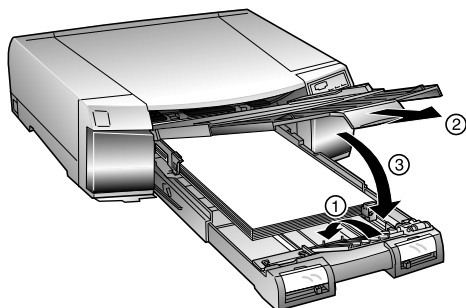
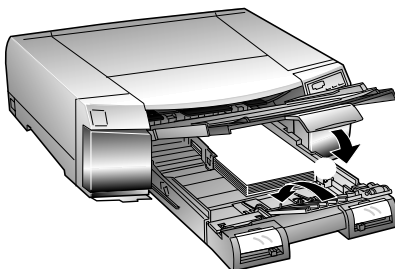
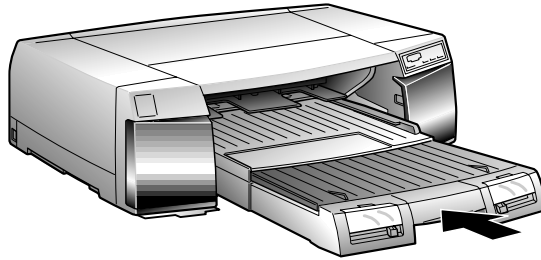
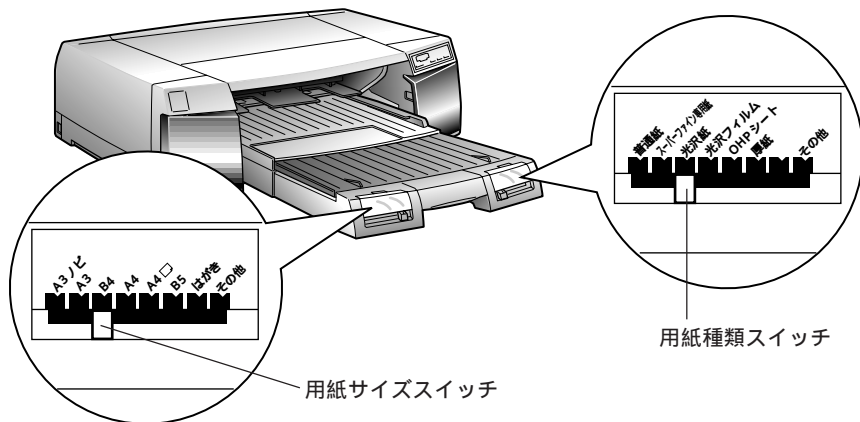
エッジガイド（左）のマーク（▼）は、普通紙の最大セット枚数（250 枚）位置です。
セットできる用紙枚数は用紙の種類によって異なります。
☞**「使用できる用紙の種類」** 20 ページ

用紙のセットに関する詳細な説明は、以下の該当ページをお読みください。

- **普通紙・スーパーファイン紙・光沢紙 ☞24 ページ**
- **ハガキ（用紙カセット 1 のみ）☞27 ページ**
- **OHP シート・光沢フィルム・フォトカード ☞30 ページ**

7 エッジガイド（左）を用紙の左端に、エッジガイド（後）を用紙の後端に合わせます。

エッジガイドは用紙端に軽く当たる程度に合わせてください。エッジガイドの位置が用紙サイズに対して狭すぎたり広すぎると、給紙エラーの原因となります。

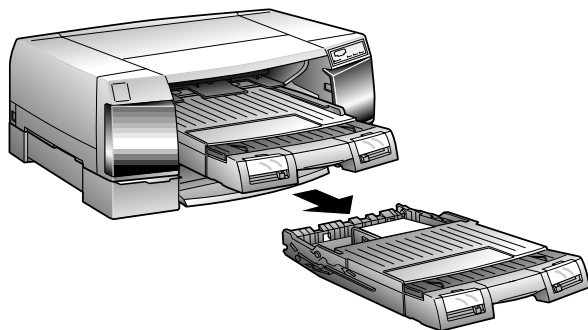
8 ツマミの矢印の位置をセットした用紙サイズに合わせます。

9 排紙トレイを元に戻します。

［B 4 サイズ未満の場合］
そのまま下ろします。

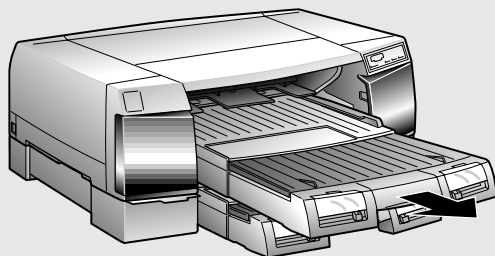
［B4/A3/A3 ノビサイズの場合］
トレイの延長部を引き出してから下ろします。

用紙カセットを突き当たるまで奥に差し込みます。

11 セットした用紙に合わせて、用紙種類スイッチと用紙サイズスイッチを設定します。

- 「その他」は、表示のない種類やサイズの用紙をセットしたときに設定します。
- 用紙カセットのスイッチの設定とプリンタドライバでの設定が異なると、印刷実行時にメッセージが表示されます。
- 多量のインクを使用するような印刷を通常の厚さの用紙に行うときに、印刷汚れが発生する場合があります。このような場合には、用紙カセットの「用紙種類スイッチ」を「厚紙」に設定してください。

以上で用紙のセットは終了です。

用紙カセット 2 への用紙のセット

用紙カセット2（オプション）に用紙をセットする場合は、用紙カセットを必ずプリンタ本体から引き抜いて行ってください。用紙カセットを少し上に持ち上げながら引き抜くと容易に取りはずせます。

用紙は、用紙カセット 1 の場合の手順❸～❿と同じ手順でセットします。

ポイント

- **用紙カセット 2 にセットできる用紙には制限があります。用紙長が B5 横（182mm）以上の用紙をセットしてください。ハガキはセットできません。**
- **用紙カセット2からB4サイズ以上の用紙を給紙する場合は、排紙トレイの延長部を引き出してお使いください。**

用紙カセット 2 からの給紙

用紙カセット2にセットした用紙に印刷をする場合は、プリンタドライバの「用紙設定」の［給紙方法］の設定で「用紙カセット 2」を選択してください。または、［給紙方法］の設定が「自動選択」になっているときにプリンタドライバで設定した「用紙種類」と「用紙サイズ」が、用紙カセット 2 にセットした用紙種類と用紙サイズに一致している場合は、用紙カセット 2 から自動的に給紙します。

ポイント

プリンタドライバの［給紙方法］が「自動選択」になっている場合で以下のいずれかの条件を満たしたときに、用紙カセット1にセットしてある用紙がなくなると自動的に用紙カセット 2 から給紙を行います。

- **用紙サイズスイッチと用紙種類スイッチの設定が、用紙カセット1と2で同じ場合。**
- **用紙カセット2の用紙サイズスイッチと用紙種類スイッチが「その他」の設定になっている場合。**

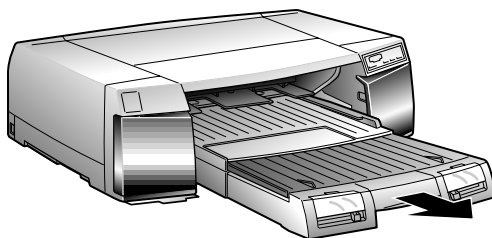
手差しスロットからの給紙

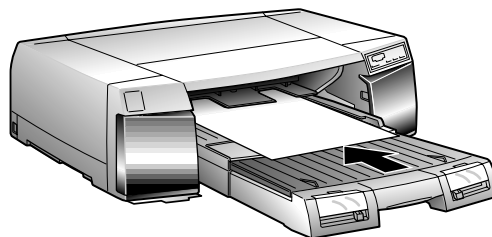
手差しスロットの前または後のどちらか一方のスロットに用紙をセットしてください。両方のスロットに用紙をセットすると、同時に給紙されたり、2枚続けて排紙するおそれがあります。

手差しスロット（前）からの給紙

手差しスロット（前）にセットできる用紙は1枚のみです。
用紙のセット手順は次のとおりです。

1 **A4 サイズを超える用紙に印刷する場合は、あらかじめ排紙トレイの延長部を引き出しておきます。**

A4 サイズ以下の用紙の場合、この操作は不要です。

2 **印刷面を「下」にして用紙の右端を固定エッジガイドに合わせ、突き当たるまで差し込みます。**

> **用紙のセットに関する詳細な説明は、以下の該当ページをお読みください。**
> - **普通紙・スーパーファイン紙・光沢紙 ☞24 ページ**
> - **OHP シート・光沢フィルム ☞30 ページ**
> - **バックライトフィルム・ラベルシート ☞33 ページ**

3 **挿入後、約 2 秒後に自動的に用紙が引き込まれます。引き込み始めたら用紙から手を離します。**

用紙が引き込まれないときは、用紙が奥に突き当たらずに途中で引っかかっている可能性があります。用紙をセットし直してください。

注意

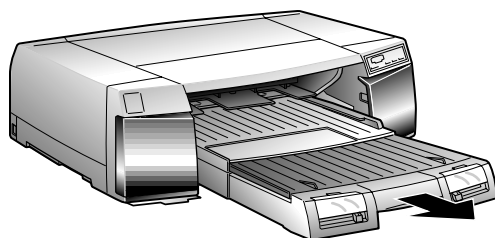
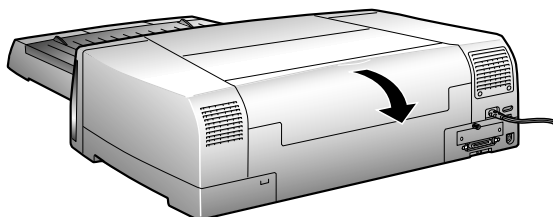
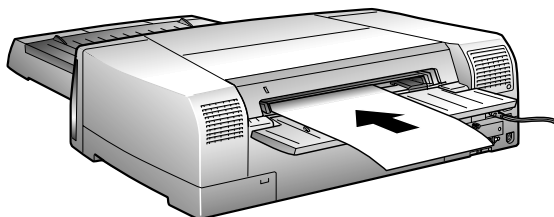
給紙中の用紙は、手前に引っぱらないでください。

多量のインクを使用するような印刷を通常の厚さの用紙に行うときに、印刷汚れが発生する場合があります。このような場合には、パネル設定の「手差し紙厚切り替え」で「厚紙（Fixed thick paper)」に設定してください。
「パネル設定の詳細」188 ページ

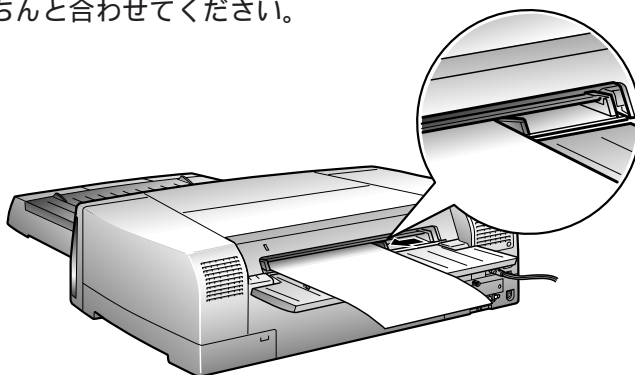
手差しスロット（後）からの給紙

手差しスロット（後）にセットできる用紙は 1 枚のみです。
用紙のセット手順は次のとおりです。

1 **A4 サイズを超える用紙に印刷する場合は、あらかじめ排紙トレイの延長部を引き出しておきます。**

A4 サイズ以下の用紙の場合、この操作は不要です。

2 **手差しスロットカバー中央のくぼみに指をそえて、手差しトレイを開けます。**

印刷面を「上」にして用紙の左端を固定エッジガイドに合わせ、突き当たるまで差し込みます。

用紙のセットに関する詳細な説明は、以下の該当ページをお読みください。
- 普通紙・スーパーファイン紙・光沢紙 ☞24ページ
- ハガキ ☞27ページ
- OHPシート・光沢フィルム・フォトカード ☞30ページ
- バックライトフィルム・ラベルシート ☞33ページ

エッジガイドを用紙の幅に合わせます。

とくにA3ノビ以上の長さの用紙をセットする場合は、エッジガイドの位置を用紙の幅にきちんと合わせてください。

挿入後、約２秒後に自動的に用紙が引き込まれます。引き込まれ始めたら用紙から手を離します。

注 意

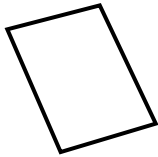
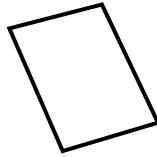
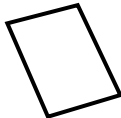
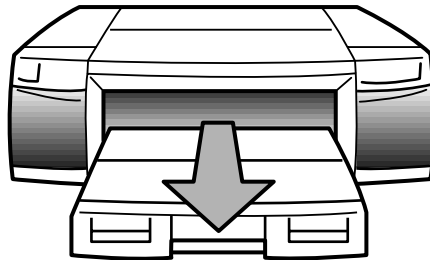
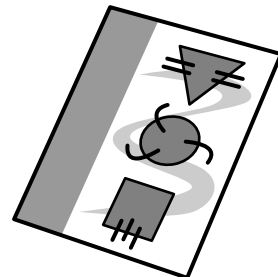
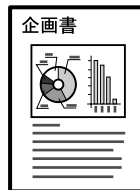
給紙中の用紙は、手前に引っぱらないでください。

多量のインクを使用するような印刷を通常の厚さの用紙に行うときに、印刷汚れが発生する場合があります。このような場合には、パネル設定の「手差し紙厚切り替え」で「厚紙（Fixed thick paper)」に設定してください。
☞「パネル設定の詳細」188ページ

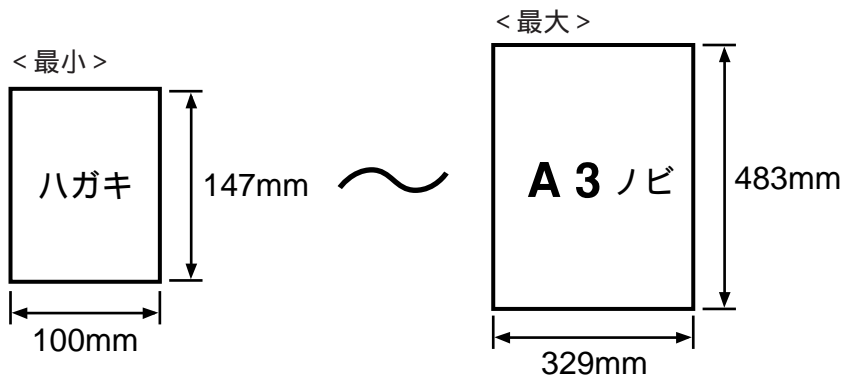
さまざまな用紙への印刷

ここでは、本機で印刷できる用紙の詳細と、各用紙への印刷の手順について説明しています。

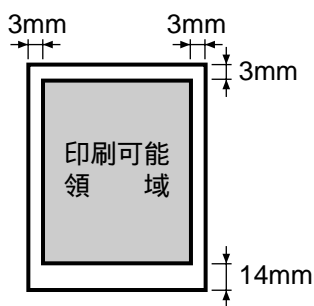
印刷できる用紙について

本機はさまざまな種類の用紙に印刷ができます。あなたのアイディアでいろいろな使い方を発見してください。

使用できる用紙サイズと印刷可能領域

用紙サイズ

印刷できる用紙のサイズは、次のとおりです。

ただし、ユーザー定義できるサイズは 100 ～ 329mm x 100 ～ 1117.6mm {44 インチ} です。

印刷可能領域

高画質印刷を保証するために上下左右にマージン（余白）を設けています。各マージンのサイズは次のとおりです。

フォトカードの場合は、フォトカードの台紙に対して上記の印刷可能領域に印刷を行います。ただし、ミシン目で切り取られた用紙に対しては、上下左右のマージンは 0mm となります。

使用できる用紙の種類

用紙の種類と品質は印刷の仕上がりに大きく影響します。ご使用の前に必ず以下の説明をお読みいただき、用途に合った用紙をご使用ください。

注 意

- 各種専用紙（事務用普通紙を除く）は、一般の室温環境下（温度15～25℃、湿度40～60%）で使用してください。
- 用紙の印刷面には触れないように注意してください。手についた水分や油分が、印刷品質に影響します。

1999年5月1日現在

	印刷に使用できる用紙および特長	サイズ	EPSON推奨製品型番
普通紙	**事務用普通紙** 複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙です。 ＊ 厚さ0.08～0.11mmの範囲内のものを使用してください。	B5～ A3ノビ	—
	上質普通紙 事務用普通紙に比べ、特に黒インクでの印刷に優れた普通紙です。	A4	KA4250NP
	使用上のご注意 ● 一度にセットできる用紙の最大容量は、エッジガイドの▼マーク（250枚）までです。		
専用紙	**スーパーファイン専用紙** スーパーファインまたはフォト印刷で最良の印刷結果が得られます。	B5	KB5100SF
		A4	MJA4SP1
		B4	MJSP7N
		A3	MJA3SP1
		A3ノビ	MJSP8N
	使用上のご注意 ● 一度にセットできる用紙の最大容量は、200枚です。 ● 専用紙には裏表があります。印刷面（表）は、裏面より白いので区別できます。		
	スーパーファイン専用光沢紙［フォト・クォリティ・ペーパー］ スーパーファインまたはフォト印刷で光沢のある仕上がり結果が得られます。	A4	MJA4SP3
		A3	MJA3SP3
		A3ノビ	MJA3NSP3
	使用上のご注意 ● 一度にセットできる用紙の最大容量は、100枚です。 ● 用紙カセットにセットする場合、必ず用紙をよくさばいてからセットしてください。 ● 光沢紙には裏表があります。紙の両面を比べてより光沢のある面へ印刷してください。 ● 専用紙に同梱されている補助シートは使用しないでください。		
	フォト・プリント紙2 スーパーファインまたはフォト印刷で光沢のある仕上がり結果が得られます。通常の官製ハガキと同程度の厚みがあります。	A4	PMA4SP1
		A3	PMA3SP1
		A3ノビ	PMA3NSP1
	使用上のご注意 ● 一度にセットできる用紙の最大容量は、100枚です。 ● 用紙カセットにセットする場合、必ず用紙をよくさばいてからセットしてください。 ● 専用紙に同梱されている給紙補助シート（光沢面（説明が印刷されている面）を下にして）を用紙カセットにセットしてから用紙をその上にセットしてください。		

種類	用紙名・説明	サイズ	型番
専用紙	**スーパーファイン専用光沢フィルム** フォト印刷で光沢のある仕上がり結果が得られます。（写真のような仕上がりイメージになります。）	A6 A4 A3 ノビ	MJA6CP1 MJA4SP6 MJA3NSP6
	使用上のご注意 ● 一度にセットできる用紙の最大容量は、30 枚です。 ● 印刷面をこすらないでください。印字品質を低下させる原因となります。 ● 印刷が終了した光沢フィルムは、印刷面に普通紙を1枚ずつ重ねて保管してください。		
	専用 OHP シート 特殊加工した専用OHPシートです。ファイン印刷でお使いください。	A4	MJOHPS1N
	使用上のご注意 ● 最高の印刷結果を得るためには、包装紙を開けてから6ヶ月以内のものを使用してください。 ● 未使用の OHP シートは、元の包装に戻してください。 ● 一度にセットできる用紙の最大容量は、150 枚です。 ● 印刷が終了した OHP シートは、印刷面に普通紙を 1 枚ずつ重ねて保管してください。		
	スーパーファイン専用バックライトフィルム 後ろから光を当てることで光沢のある鮮やかな画像を表現できます。フォト印刷でお使いください。	A3	MJA3SP4
	使用上のご注意 ● バックライトフィルムには裏表があります。光沢のない面（表）に印刷してくだい。 ● 手差しスロットにセットしてください。用紙カセットからの給紙はできません。 ● フィルムが大きく反っている場合は、反りを修正してからセットしてください。 ● 温度 23 ～ 32℃、湿度 40 ～ 60% の室温環境下で使用してください。22℃以下の室温環境下で使用すると、印刷がにじむ場合があります。 ● 印刷が終了したバックライトフィルムは、印刷面に普通紙を 1 枚ずつ重ねて保管してください。		
	スーパーファイン専用ラベルシート お好きな場所へ貼り付けることができるラベルシートです。印刷後にお好きな形に切ってお使いいただくこともできます。スーパーファインまたはフォト印刷でお使いください。用紙種類は「スーパーファイン専用紙」を選択してください。	A4	MJA4SP5
	使用上のご注意 ● EPSON ロゴマークが印刷されていない面が印刷面です。 ● 手差しスロットにセットしてください。用紙カセットからの給紙はできません。 ● ラベルが大きく反っているときは、反りを修正してからセットしてください。 ● ラベル面を上に向けて置いたときに、端面が 5mm 以上浮き上がらないように修正してください。		
	フォトカード 2 スーパーファインまたはフォト印刷で光沢を持った仕上がり結果が得られるフォトカードです。印刷後に用紙の周囲を切り取ることで余白のない、全面印刷が可能です。用紙種類は「専用光沢紙」を選択してください。	114mm x 175mm（ミシン目切り取り後 102mm x 152mm）	PMZSP1
	使用上のご注意 ● 一度にセットできるフォトカードの最大容量は、50 枚です。 ● 紙の両面を比べてより光沢のある面に印刷してください。 ● ミシン目の余白の少ない短辺側を、用紙カセット 1 にセットする場合は奥に、手差しスロット（後）にセットする場合は手前にしてください。 ● フォトカードをセットするときは、専用紙に同梱されている給紙補助シートを用紙カセットにセットしてから用紙をその上にセットしてください。		

ハガキ	**官製ハガキ / 往復ハガキ / 官製ハガキ（インクジェット紙）** 往復ハガキは､中央に折り目のないものを使用してください。 官製ハガキ（インクジェット紙）は、用紙種類の設定を、通信面は「スーパーファイン専用紙」に、宛名面は「普通紙」にしてお使いください。		—
	スーパーファイン専用ハガキ スーパーファインまたはフォト印刷で最良の印刷結果が得られるハガキです。 ＊ 宛名面に印刷する場合は、普通紙・速いモードの設定で印刷してください。		MJSP5
	フォト･クォリティ･カード2 スーパーファインまたはフォト印刷で光沢を持った仕上がり結果が得られるハガキです。 ＊ 宛名面に印刷する場合は、普通紙・速いモードの設定で印刷してください。		PMHSP1
	使用上のご注意 ● 一度にセットできるハガキの最大容量は、官製ハガキ 100 枚、専用ハガキ / 専用光沢紙ハガキ 50 枚です。 ● 用紙カセット 1 または手差しスロット（後）にセットしてください。 ● 市販の再生紙ハガキなどを使用すると正常に給紙できない場合があります。 ● 専用紙をセットするときは、専用紙に同梱されている給紙補助シート（フォト・クォリティ・カード 2 の場合は給紙補助シート＜タイプ C ＞）を用紙カセットにセットしてからハガキをその上にセットしてください。 ● 専用ハガキが反っている場合は、反りを修正してからセットしてください。		

ポイント

用紙カセットにセットする場合はセットした用紙の種類とサイズに合わせて、用紙カセットの「用紙種類スイッチ」と「用紙サイズスイッチ」を設定してください。

保管時のご注意

- 高温、高湿、直射日光をさけて水平な状態で保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 開封後の専用紙や特殊用紙は、袋に戻して保管してください。

クリーニングシートについて

スーパーファイン専用紙やスーパーファイン専用ハガキを大量に使用したあとに給紙エラーが発生した場合は、本機あるいは専用紙に同梱されているクリーニングシートをお使いください。

クリーニングシートは、クリーニングシート上に記載されている手順でお使いください。なお、使用したクリーニングシートの再使用はできませんので使用後は廃却してください。
このクリーニングシートは以下の EPSON 純正専用紙に添付されております。

- フォトプリント紙 2：型番 PMA3SP1（A3 サイズ紙）
- フォトプリント紙 2：型番 PMA3NSP1（A3 ノビサイズ紙）

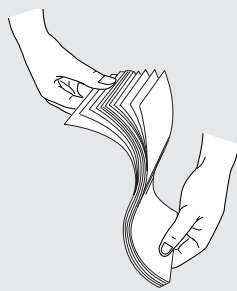
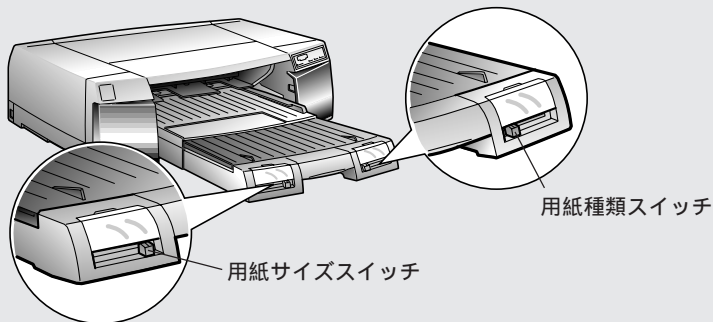
普通紙・スーパーファイン紙・光沢紙への印刷

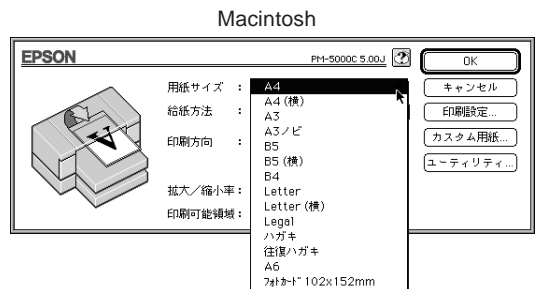
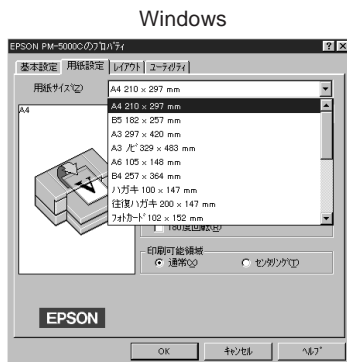
ここでは、普通紙・スーパーファイン紙・光沢紙への印刷手順を説明します。

下表を参照し、セットしたい場所に用紙をセットします。

セット場所	セット方向	備　考
用紙カセット 1	印刷面を下	• 用紙によってセットできる最大容量が異なります。20 ページを参照してください。 • 光沢紙厚口の場合は、専用紙に同梱されている給紙補助シート（光沢面（説明が印刷されている面）を下にして）を用紙カセットにセットしてから用紙をその上にセットしてください。
用紙カセット 2		
手差しスロット（前）	印刷面を下	1 枚ずつセットします。
手差しスロット（後）	印刷面を上	1 枚ずつセットします。

用紙のセット手順の詳細は以下のページを参照してください。
- 用紙カセットにセットする場合 ☞8 ページ
- 手差しスロット（前）にセットする場合 ☞13 ページ
- 手差しスロット（後）にセットする場合 ☞14 ページ

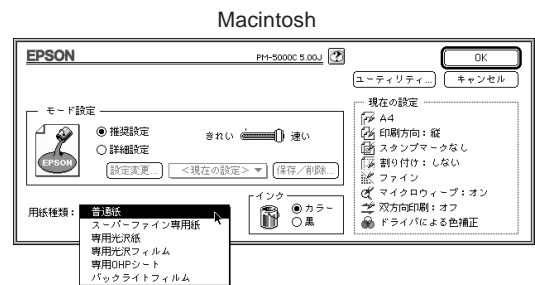
用紙カセットにセットする場合は、次の点に留意してください。
- **下図のように用紙をよくさばき、端を揃えてからセットしてください。**

- **セットした用紙のサイズに、紙押さえローラの位置を合わせてください。**
- **セットした用紙の種類とサイズに合わせて用紙カセットのスイッチを設定してください。スイッチのパネルに記載のない用紙をセットする場合は、「その他」にスイッチを合わせてください。**

❷ プリンタドライバの［用紙サイズ］を選択します。

［用紙サイズ］は、Windows の場合は「用紙設定」画面の中に、Macintosh の場合は「用紙設定」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

用紙	［用紙サイズ］
事務用普通紙	A4・B5・A6・B4・A3
スーパーファイン専用紙	A4・B4・A3・A3 ノビ
スーパーファイン専用光沢紙	A4・A3・A3 ノビ
フォト・プリント紙 2	A4・A3・A3 ノビ

❸ プリンタドライバの［用紙種類］を選択します。

［用紙種類］は、Windows の場合は「基本設定」画面の中に、Macintosh の場合は「印刷」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

用紙	［用紙種類］
事務用普通紙	普通紙
スーパーファイン専用紙	スーパーファイン専用紙
スーパーファイン専用光沢紙	専用光沢紙
フォト・プリント紙 2	専用光沢紙

印刷を実行すると、自動的に用紙を給紙して印刷を開始します。

Windowsの場合は、OK ボタンをクリックして設定画面を閉じて、印刷を実行します。
Macintoshの場合は、印刷 ボタンをクリックします。

ハガキへの印刷

ここでは、ハガキへの印刷手順を説明します。

1 **下表を参照し、セットしたい場所にハガキをセットします。**

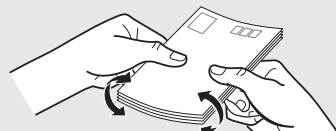
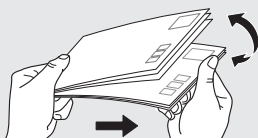
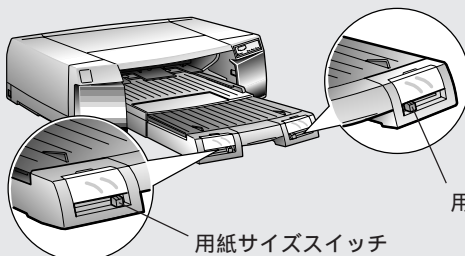
セット場所	セット方向	備　考
用紙カセット 1	• 印刷面を下 • 縦長（往復ハガキは横長）	• セットできるハガキの最大容量は、官製ハガキ 100 枚、専用ハガキ / フォト・クォリティ・カード 2 は 50 枚です。 • 専用ハガキ / フォト・クォリティ・カード2の場合は、ハガキに同梱されている給紙補助シートを用紙カセットにセットしてからハガキをその上にセットしてください。
手差しスロット（後）	• 印刷面を上 • 縦長（往復ハガキは横長）	1 枚ずつセットします。

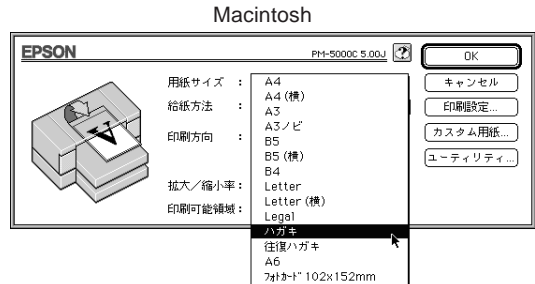
ハガキのセット手順の詳細は以下のページを参照してください。

• 用紙カセット 1 にセットする場合 ☞8 ページ
• 手差しスロット（後）にセットする場合 ☞14 ページ

ポイント

用紙カセットにセットする場合は、次の点に留意してください。

- **ハガキは下図のように 3 〜 4 回さばいてから、反りをなくしてセットしてください。反りがなくならない場合は、印刷面が凸になるようにセットしてください。**

- **専用ハガキの場合は、ハガキをセットする前に用紙カセットに給紙補助シートをセットしてください。**
  スーパーファイン専用ハガキ　：ハガキに同梱されている給紙補助シート
  フォト・クォリティ・カード 2 ：ハガキに同梱されている給紙補助シート＜タイプ C ＞
- **紙押さえローラの位置を「A3 以外」にしてください。**
- **セットしたハガキの種類とサイズに合わせて用紙カセットのスイッチを設定してください。**

2 プリンタドライバの［用紙サイズ］の項目で「ハガキ（100 x 147mm）」または「往復ハガキ（200 x 147mm）」を選択します。

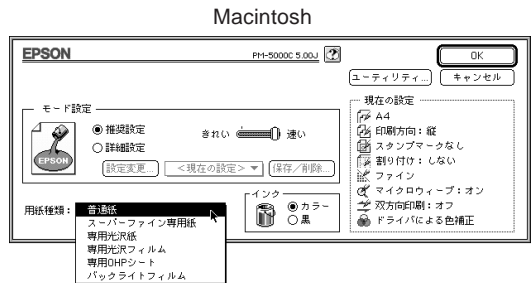
［用紙サイズ］は、Windows の場合は「用紙設定」画面の中に、Macintosh の場合は「用紙設定」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

3 ［用紙種類］を選択します。

［用紙種類］は、Windows の場合は「基本設定」画面の中に、Macintosh の場合は「印刷」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

用紙	［用紙種類］
官製ハガキ（通信面・宛名面）	普通紙
官製往復ハガキ（通信面・宛名面）	普通紙
官製ハガキ（インクジェット紙）（通信面）	スーパーファイン専用紙
官製ハガキ（インクジェット紙）（宛名面）	普通紙
スーパーファイン専用ハガキ（通信面）	スーパーファイン専用紙
スーパーファイン専用ハガキ（宛名面）	普通紙 / 速いモード
フォト・プリント紙 2（通信面）	専用光沢紙
フォト・プリント紙 2（宛名面）	普通紙 / 速いモード

印刷を実行すると、自動的にハガキを給紙して印刷を開始します。

Windowsの場合は、OK ボタンをクリックして設定画面を閉じて、印刷を実行します。
Macintoshの場合は、印刷 ボタンをクリックします。

OHPシート･光沢フィルム･フォトカードへの印刷

ここでは、OHP シート・光沢フィルム・フォトカードへの印刷手順を説明します。

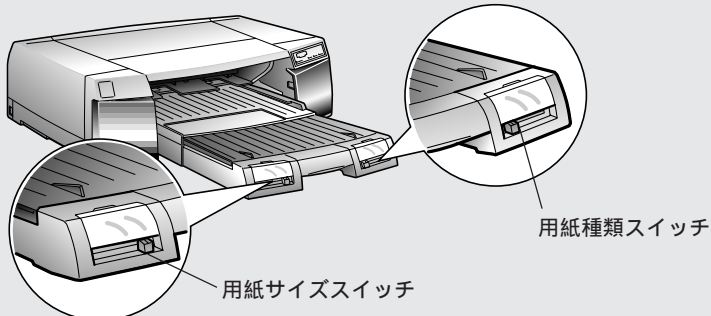
下表を参照し、セットしたい場所に用紙をセットします。

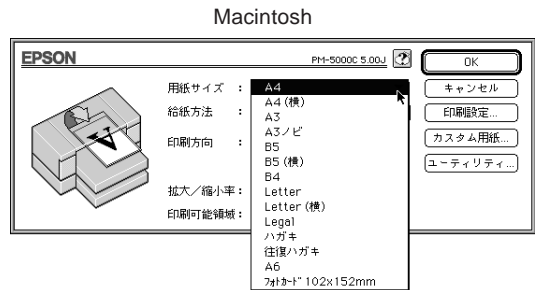
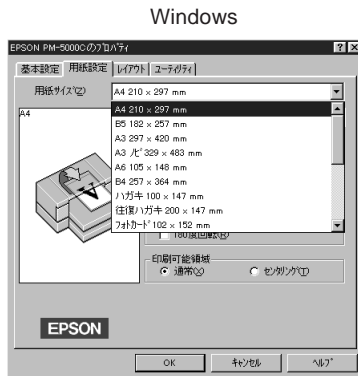
用紙によってセットできる給紙経路が異なりますので注意してください。
☞7 ページ

セット場所	セット方向	備　考
用紙カセット 1	• 印刷面を下 • 切り欠きのある用紙は切り欠きが手前右側になるようにセット ↑ 給紙	• 用紙によってセットできる最大容量が異なります。21ページを参照してください。 • A6 サイズの光沢フィルムの場合（用紙カセット 1 のみ）は、専用紙に同梱されている給紙補助シートを用紙カセットにセットしてから用紙をその上にセットしてください。
用紙カセット 2		
手差しスロット（前）	• 印刷面を下 • 切り欠きのある用紙は切り欠きが手前右側になるようにセット ↑ 給紙	1 枚ずつセットします。
手差しスロット（後）	• 印刷面を上 • 切り欠きのある用紙は切り欠きが向こう右側になるようにセット 給紙 ↓	1 枚ずつセットします。

用紙のセット手順の詳細は以下のページを参照してください。
- 用紙カセットにセットする場合 ☞8 ページ
- 手差しスロット（前）にセットする場合 ☞13 ページ
- 手差しスロット（後）にセットする場合 ☞14 ページ

ポイント

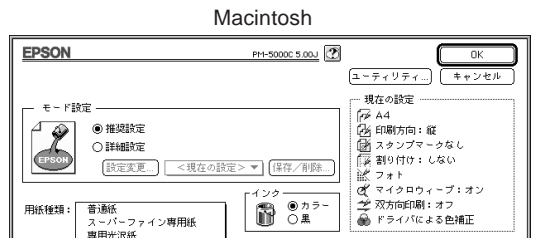
用紙カセットにセットする場合は、次の点に留意してください。
- **セットした用紙のサイズに、紙押さえローラの位置を合わせてください。**
- **セットした用紙の種類とサイズに合わせて、用紙カセットのスイッチを設定してください。フォトカードは用紙種類スイッチを「光沢紙」に設定してください。**

2 プリンタドライバの［用紙サイズ］を選択します。

［用紙サイズ］は、Windowsの場合は「用紙設定」画面の中に、Macintoshの場合は「用紙設定」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

用紙	［用紙サイズ］
スーパーファイン専用光沢フィルム	A4・A6・A3ノビ
専用OHPシート	A4
フォトカード2	フォトカード102 x 152mm

3 プリンタドライバの［用紙種類］を選択します。

［用紙種類］は、Windowsの場合は「基本設定」画面の中に、Macintoshの場合は「印刷」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

用紙	［用紙種類］
スーパーファイン専用光沢フィルム	専用光沢フィルム
専用OHPシート	専用OHPシート
フォトカード2	専用光沢紙

印刷を実行すると、自動的に用紙を給紙して印刷を開始します。

Windowsの場合は、OK ボタンをクリックして設定画面を閉じて、印刷を実行します。
Macintoshの場合は、印刷 ボタンをクリックします。

- **印刷が終了した光沢フィルムは1枚ずつ取り出して、重ねないように置いておきます。**
- **印刷後に光沢フィルムまたはOHPシートを保管する場合は、用紙と用紙の間に普通紙をはさんでおいてください。**

バックライトフィルム・ラベルシートへの印刷

ここでは、バックライトフィルム・ラベルシートへの印刷手順を説明します。

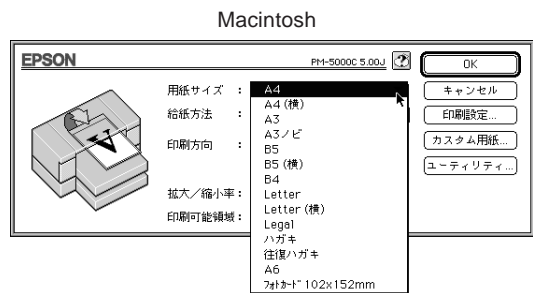
1 下表を参照し、セットしたい場所に用紙をセットします。

セット場所	セット方向	備　考
手差しスロット（前）	印刷面を下	1枚ずつセットしてください。
手差しスロット（後）	印刷面を上	1枚ずつセットしてください。

用紙のセット手順の詳細は以下のページを参照してください。

- 手差しスロット（前）にセットする場合 ☞13ページ
- 手差しスロット（後）にセットする場合 ☞14ページ

2 プリンタドライバの［用紙サイズ］を選択します。

［用紙サイズ］は、Windowsの場合は「用紙設定」画面の中に、Macintoshの場合は「用紙設定」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

用紙	［用紙サイズ］
スーパーファイン専用バックライトフィルム	A3
スーパーファイン専用ラベルシート	A4

3 プリンタドライバの［用紙種類］を選択します。

［用紙種類］は、Windows の場合は「基本設定」画面の中に、Macintosh の場合は「印刷」ダイアログの中にあります。

Windows

Macintosh

用紙	［用紙種類］
スーパーファイン専用バックライトフィルム	バックライトフィルム
スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン専用紙

ポイント

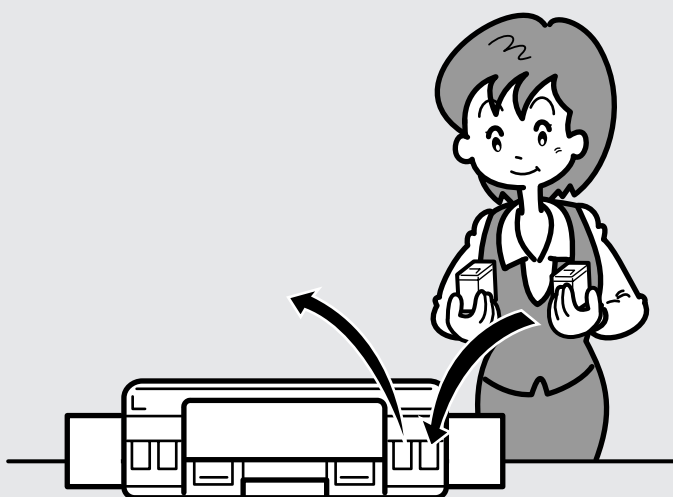
バックライトフィルムを選択すると、自動的に左右反転印刷されます。

4 印刷を実行すると、自動的に用紙を給紙して印刷を開始します。

Windowsの場合は、OK ボタンをクリックして設定画面を閉じて印刷を実行します。
Macintoshの場合は、印刷 ボタンをクリックします。

ポイント

- **印刷が終了したバックライトフィルムは1枚ずつ取り出して、重ねないように置いておきます。**
- **印刷後にバックライトフィルムを保管する場合は、用紙と用紙の間に普通紙をはさんでおいてください。**

インクカートリッジの交換

ここでは、インクカートリッジの交換方法と、プリントヘッドの保護について説明しています。

インクカートリッジについて

インクカートリッジを交換する前に、インクカートリッジ使用上の注意をご確認ください。

使用上のご注意

- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている期限までに使用してください。期限を過ぎたものをご使用になると、印字品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- インクが手などについてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、直ちに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。
- プリンタを輸送する際には、インクカートリッジをプリンタから取りはずしてください。取りはずし方は37ページを参照してください。

ポイント

- **インクカートリッジはEPSON純正品のご使用をお薦めします。**
- **インクカートリッジへのインクの補充は、絶対にしないでください。場合によって正常に動作、印刷ができなくなるおそれがあります。**

保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

インク消費について

各色のインクは、印刷時以外に次の場合にも消費されます。

1. 電源オンなどのセルフクリーニング[*1]時
2. プリントヘッドのクリーニング操作時

交換時のご注意

- インクカートリッジの取りつけや交換時には、新品のインクカートリッジを使用してください。使いかけのインクカートリッジを取りつけるとインク残量を正しく表示できなくなります。
- インクカートリッジの交換作業中は、プリンタの［電源］スイッチをオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。

*1 セルフクリーニング ：プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

インクカートリッジを交換します

インクエンドランプが点滅したときは、インクカートリッジ内のインクが残り少ないことを示しています。インクが完全になくなるまで印刷を続けることはできますが、早めに新しいインクカートリッジに交換してください。

ポイント

4つのインクカートリッジのうち1つでもインクが終わると印刷ができなくなります。また、マゼンタ/ライトマゼンタおよびシアン/ライトシアンのインクカートリッジは、どちらか一方のインクが終わるとインクエンドランプが点灯して印刷ができなくなります。印刷の途中でインクが終わってしまった場合は、インクエンドランプが点灯しているインクカートリッジを交換することにより印刷を続行することができます。

注 意

- **インクカートリッジは必ず新しいものに交換してください。途中まで使用したインクカートリッジを取りつけるとインク残量を正しく表示できなくなります。**
- **インクカートリッジの交換は電源が入っている状態で行ってください。**
- **インクカートリッジの当社純正品は、下記のとおりです。**

黒	：	MJIC9BK
イエロー	：	MJIC9Y
マゼンタ / ライトマゼンタ	：	MJIC9LM
シアン / ライトシアン	：	MJIC9LC

***1 本製品に付属のプリンタドライバは、純正インクカートリッジのご使用を前提に色調整がなされています。**

***2 純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。**

- **インクカートリッジへのインクの補充は、絶対にしないでください。場合によって正常に作動・印刷ができなくなるおそれがあります。**

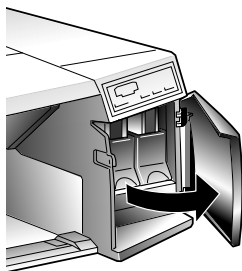
プリンタの 電源 スイッチがオンになっていることを確認します。

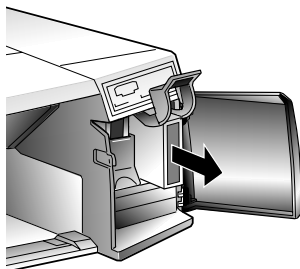
新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

⚠注意

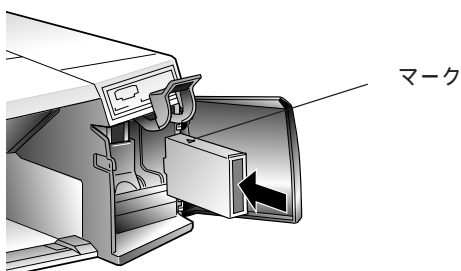
インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

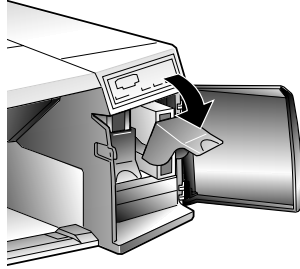
3 インクカートリッジを交換する側のインクカートリッジカバーを開けます。

黒とシアン / ライトシアンインクの交換は左のカバーを開けてください。
イエローとマゼンタ/ライトマゼンタインクの交換は右のカバーを開けてください。
（以降のイラストは、イエローインクカートリッジの交換を例にしています。）

4 交換するスロットの固定カバーを引き上げ、古いインクカートリッジを取りはずします。

交換するインクカートリッジだけを取りはずしてください。間違えて他のカートリッジを取りはずさないように注意してください。

ポイント

交換後のインクカートリッジは、インク供給部からインクが漏れることがあります。
使用済みのインクカートリッジは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

5 インクカートリッジの▲マークを上にし、プリンタ側に向けてセットします。

6 インクカートリッジ固定カバーを下ろします。

インクエンドランプが消灯します。

7 インクカートリッジカバーを閉じます。

通常のインクカートリッジの交換の場合は、続けて印刷を行うことができます。

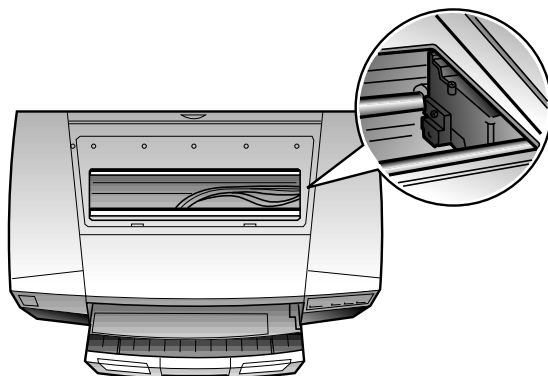
プリントヘッドの保護

本プリンタには、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

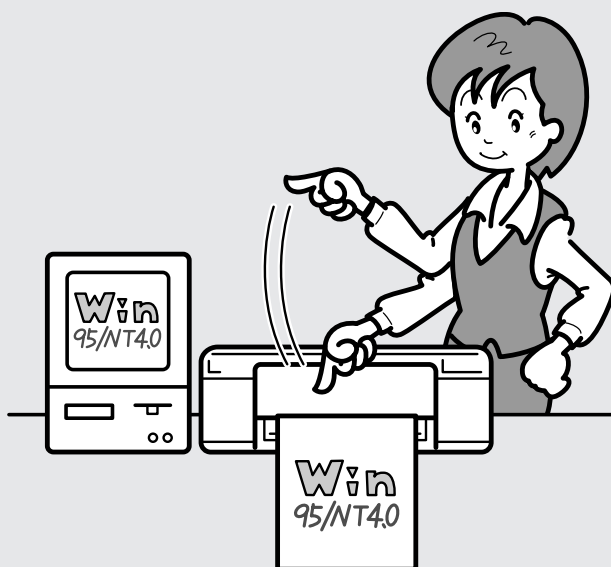
セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源投入時（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます。（6色すべてのインクを微量吐出して、ノズルの乾燥を防ぎます。）

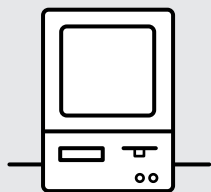
キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

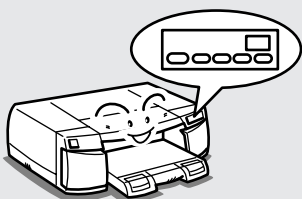
● 印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
● 印刷停止状態になったとき

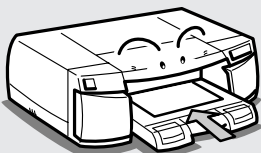
プリントヘッドが図のようにプリンタカバーを開けても見えない右奥にあれば、キャッピングされています。

注 意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま 電源 スイッチをオフにした場合は、再度 電源 スイッチをオンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で 電源 スイッチをオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態でコンセントを抜かないでください。キャッピングされない場合があります。電源 スイッチをオフにして電源ランプが消灯したことを確認してから、コンセントを抜いてください。

Windows95/NT4.0での印刷

ここでは、Windows95/NT4.0 で印刷する場合の手順や、ドライバの詳細な内容などについて説明しています。

印刷までの流れ

●印刷データの作成

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

●プリンタの電源をオンにします。

インク残量は充分ですか？操作パネルのランプでプリンタの状態がわかります。

●用紙をセットします。

「さまざまな用紙への印刷」17 ページ

●印刷条件を設定します。

プリンタドライバで印刷条件を設定します。

「印刷の設定と実行」43 ページ
「設定のポイント」45 ページ
「プリンタドライバの設定」50 ページ
「便利な印刷機能について」61 ページ

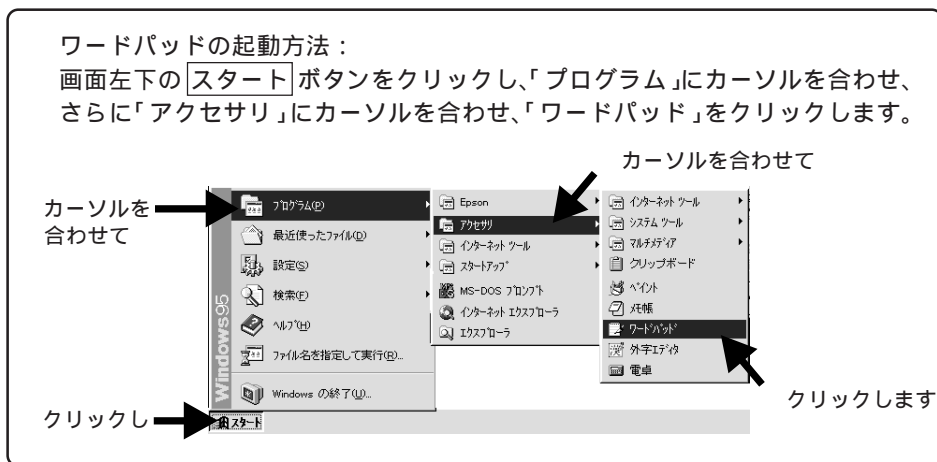
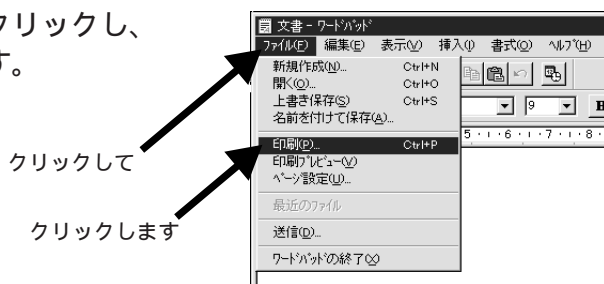
●印刷を実行します。

「印刷を実行すると」46 ページ
「印刷の中止方法」48 ページ

印刷の設定と実行

設定画面の開きかたは、各アプリケーションソフトによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここではWindowsに添付の「ワードパッド」を例に説明します。

1 「ファイル」メニューをクリックし、「印刷」をクリックします。

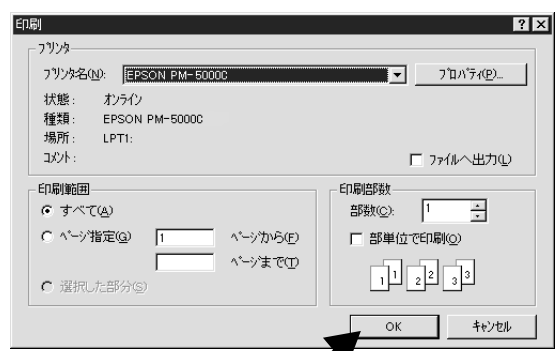
①クリックして

②クリックします

2 PM-5000Cが選択されていることを確認し、各項目を設定して、 プロパティ ボタンをクリックします。

PM-5000Cが選択されていない場合は、リストボックスの中から選択します。

3 各項目を設定し、OK ボタンをクリックします。

各項目の詳細については以下のページをご覧ください。

「基本設定」――――51 ページ　「用紙設定」――――52 ページ
「レイアウト」――――53 ページ　「ユーティリティ」――――59 ページ

4 OK ボタンをクリックします。

印刷が実行されます。

設定のポイント

プリンタドライバの「用紙設定」画面で「用紙サイズ（Z）」を選択します。

用紙サイズは、印刷データを作成したアプリケーションソフトで設定したサイズを入力してください。

「基本設定」の設定をします。

1 用紙種類を選択します。

2 インク（カラーまたは黒）を選択します。

3 モードの設定をします。

以下の ABC いずれかの方法で設定してください。

A　おまかせ設定をしたい場合は

① 「推奨設定」を選択します。
② 「きれい / 速い」のどちらかのモードを選択します。

A

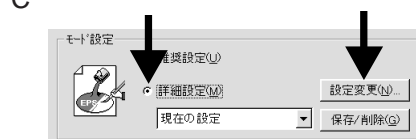
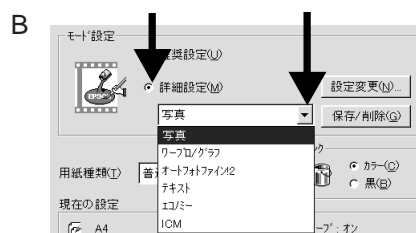
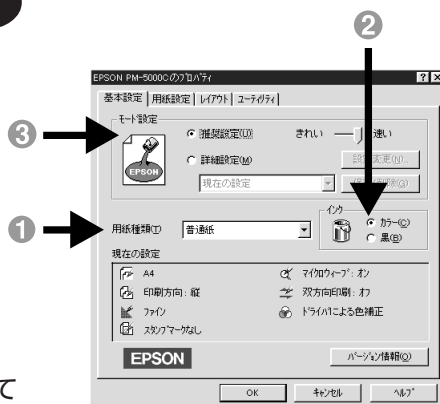
B　お好みで用途設定をしたい場合は

① 「詳細設定」を選択します。
② リストボックス内のプリセット[*1]またはユーザー設定した内容から選択します。

B

C　こだわって設定をしたい場合は

① 「詳細設定」を選択します。
② 設定変更 ボタンをクリックします。
③ 「手動設定」の項目を設定します。
☞**「手動設定」**54 ページ

C

*1 プリセット　：　あらかじめ用意されている印刷目的別の設定。

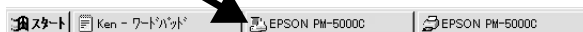
印刷を実行すると（Windows95）

印刷を実行すると、スプールマネージャ[*1]が起動し、プログレスメータ[*2]が表示されます。

スプールマネージャ

印刷データは、印刷実行とともにいったんスプールマネージャに蓄積されて、そこからプリンタに出力されます。これによってコンピュータ本体は、印刷実行中も別の作業をすることができます。

印刷を実行すると、タスクバー上に EPSON PM-5000C ボタンが表示されます。EPSON PM-5000C ボタンをクリックして画面を開くと印刷するデータの名称や用紙サイズなどが表示されます。

クリックします

① **印刷ジョブ一覧**　：印刷中のデータの名称、用紙サイズ、用紙種類、状態、進行状況、印刷実行日時が表示されます。

② **[削除]**　：印刷を中止して削除します。削除する印刷データをクリックしてから 削除 ボタンをクリックしてください。印刷データをクリックしない場合は、一番上に表示されている印刷データが削除されます。

③ **[一時停止 / 再開]**　：印刷を一時停止 / 再開します。中止する印刷データをクリックしてから 一時停止/再開 ボタンをクリックしてください。

④ **[再印刷]**　：現在印刷中のページを再印刷します。

⑤ **[ヘルプ]**　：ヘルプ情報を表示します。スプールマネージャの詳細はこのボタンをクリックし、ヘルプを参照してください。

*1 スプールマネージャ　：印刷データを蓄積し、印刷の順番を管理する機能のこと。
*2 プログレスメータ　：印刷の進行状態などを表示させるもの。

プログレスメータ

印刷を実行するとプログレスメータが表示されます。

① プリンタ名と接続先が表示されます。
② アイコンによって現在の状態を表示します。

	通常の印字状態です。
	一時停止状態です。
	エラー停止状態です。
	インクが少なくなった、またはなくなった状態です。
	紙詰まりや用紙なしなど用紙についてのエラー状態です。

③ 印刷の進行状況をグラフィックで表示します。
④ 印刷データ名、印字枚数、予測残り時間を表示します。予測残り時間は、複数枚印刷する場合、または印刷時間が一定時間を超えると予測された場合に表示されます。
⑤ 印刷を制御するボタンです。
「■」：印刷を中止して削除します。「II」：印刷を一時停止します。「►」同じデータをもう一度印刷します。
⑥ インク残量を表示します。
⑦ 現在給紙している用紙カセットの番号と、その用紙カセットの用紙残量を表示します。
⑧ クリックすると「EPSONプリンタウィンドウ!2」のステータス詳細シートが表示されます。

⑥～⑧の項目は「EPSONプリンタウィンドウ!2」がインストールされていないと表示されません。
☞「EPSONプリンタウィンドウ!2（Windows95/NT4.0)」120ページ

印刷の中止方法

印刷を中止する場合の手順について説明します。

Windows95

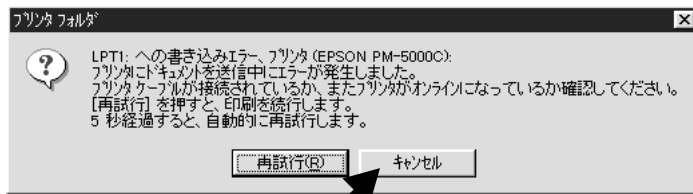
プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの 電源 スイッチをオフにします。印刷中の用紙は排紙されます。

ポイント

プリンタの電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの電源をオフにしてください。

キャンセル ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されるまでに少し時間がかかります。

ポイント

キャンセル ボタンをクリックしたあとに、以下の画面が表示された場合は、印刷を中止する印刷データをクリックしてから 削除 ボタンをクリックしてください。

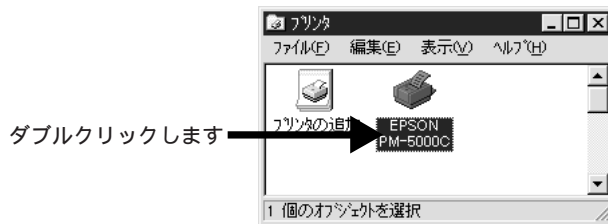
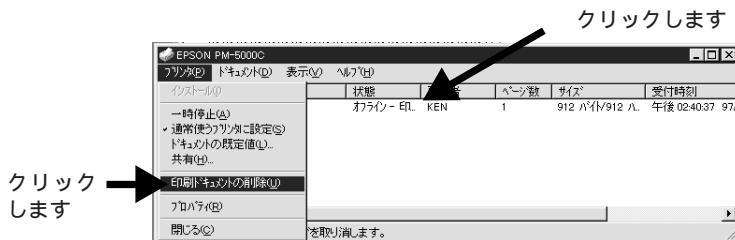
WindowsNT4.0

プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの 電源 スイッチをオフにします。印刷中の用紙は排紙されます。

ポイント

プリンタの電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの電源をオフにしてください。

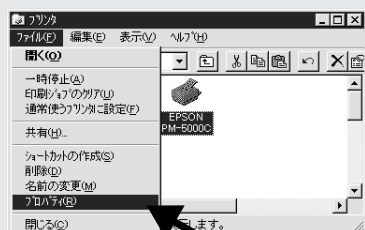
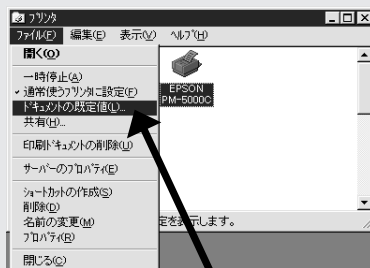
プリンタフォルダを開き、PM-5000C アイコンをダブルクリックします。

印刷を中止する印刷データをクリックし、プリンタメニュー内の「印刷ドキュメントの削除」をクリックします。

ポイント

プリントマネージャからプリンタへのデータ転送が終了している場合、プリントマネージャに印刷データは表示されません。その場合はプリンタの 電源 スイッチをオフにするだけで印刷は正常に中止されます。

プリンタドライバの設定

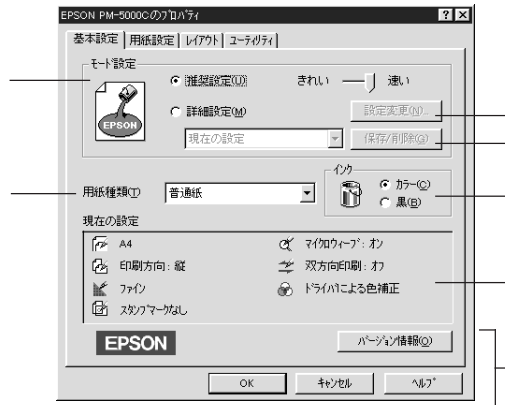
プリンタドライバの設定項目は、いくつかのメニュー（ダイアログボックス）に分れています。ここではそれらのメニューの関係と項目の概要を説明しています。

ポイント

「プリンタ」フォルダの「ファイル」メニューからもプリンタドライバ設定画面を開くことができます。ここで設定した値は、アプリケーションソフトなどでプリンタドライバを設定する際の初期値（デフォルト）になります。通常使う設定をしておくと、印刷の際の設定がなくなり便利です。

① 基本設定――――――――――51 ページ
② 用紙設定――――――――――52 ページ
③ レイアウト―――――――――53 ページ
④ ユーティリティ――――――――59 ページ
⑤ 手動設定――――――――――54ページ
[詳細設定]をクリックしてから 設定変更 ボタンをクリックします。

⑥ ユーザー設定―――――――――58ページ
［手動設定］で設定した値を保存するときにクリックします。

「印刷品質」「用紙種類」「ハーフトーン」「インク」などの設定の組み合わせで、選択できる項目がかわります。

基本設定

① モード設定　：印刷の設定を自動的に行う「推奨設定」か、手動で行う「詳細設定」かを選択します。

② 設定変更 ボタン　：詳細設定を選択してクリックすると「手動設定」メニューが開きます。詳細な設定はこの画面で行います。
「手動設定」54 ページ

③ 保存 / 削除 ボタン　：設定した内容を名前をつけて保存したり、または削除するための［ユーザー設定］メニューを開きます。
「ユーザー設定」58 ページ

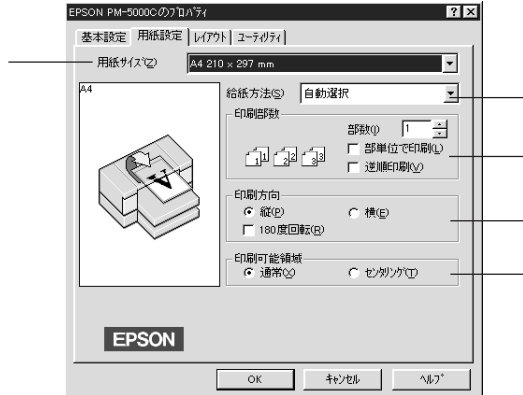
④ 用紙種類　：印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。

⑤ インク　：インクの種類を「カラー」と「黒」から選択します。「黒」を選択するとモノクロ印刷になります。

⑥ 現在の設定　：現在設定されている内容が確認できます。

⑦ その他のボタン

- バージョン情報 ボタン　：著作権、商標およびプリンタドライバのバージョン情報を表示します。
- OK ボタン　：設定の内容を保存して、設定メニューを終了します。
- キャンセル ボタン　：設定の変更内容を保存せずに、設定メニューを終了します。
- ヘルプ ボタン　：EPSON PM シリーズヘルプを開きます。

用紙設定

① 用紙サイズ　：印刷する用紙のサイズをリストボックスの中から選択します。

② 給紙方法　：給紙経路を指定します。

「自動選択」　：プリンタドライバが指定する用紙種類/サイズの用紙がセットしてある用紙カセット（1または2）から自動的に給紙します。通常はこの設定にします。

「用紙カセット 1」：常に用紙カセット 1 から給紙します。

「手差し」　：常に手差しスロット（前または後）から給紙します。

「用紙カセット 2」：オプションの用紙カセット2を装着してある場合に、常に用紙カセット 2 から給紙します。

③ 印刷部数　：印刷の部数（コピー数）を入力します。また2部以上印刷する場合の印刷方法を選択します。

「部単位で印刷」：入力した部数を 1 ページずつ印刷します。

「逆順印刷」　：最終ページから印刷します。

ポイント

WindowsNT4.0/NT3.51用プリンタドライバには［部単位で印刷］［逆順印刷］機能がありません。

④ 印刷方向　：印刷データを「縦」/「横」どちらで印刷するか選択します。

「180 度回転印刷」：印刷イメージを 180 度回転して印刷します。

☞**「180 度回転印刷」** 66 ページ

⑤ 印刷可能領域　：印刷する領域（位置）を選択します。

「通常」　：左上に寄せて印刷します。

「センタリング」　：ページの中央に印刷します。ただし、物理的な印刷領域は狭くなります。

レイアウト設定

レイアウトメニューの詳細は「便利な印刷機能について」（61ページ）を参照してください。

① **拡大 / 縮小**：拡大 / 縮小印刷を設定します。
「なし」：等倍（100%）で印刷します。
「フィットページ」：プリンタにセットした用紙を設定することで、自動的に倍率を設定して印刷します。
「任意倍率」：10 ～ 400% の倍率を指定して印刷します。

カラー印刷時に拡大 / 縮小印刷を行うと、カラーの色合いが変わることがあります。カラー印刷は等倍（100%）で印刷することをお薦めします。

② **割り付け**：2ページまたは4ページ分の連続データを、1枚の用紙に割り付けて印刷することができます。（Windows95のみ）
③ **スタンプマーク**：あらかじめ用意したパターンを印刷データに重ねあわせて印刷する機能です。

手動設定

「基本設定」の「詳細設定」を選択し、設定変更 ボタンをクリックします。

「印刷品質」「用紙種類」「ハーフトーン」「インク」などの設定の組み合わせで、選択できる項目が変わります。

①「印刷品質」

印刷の品質を、リストボックスの中から選択します。

「ファイン」	：	ファイン（解像度：360DPI）で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良く、日常的に印刷する場合には最も適した印刷です。
「スーパーファイン」	：	スーパーファイン（解像度：720DPI）で印刷します。
「フォト」	：	フォト（解像度：1440DPI×720DPI）で印刷します。印刷時間はかかりますが、最も高い品質で印刷できます。

②［用紙種類］

印刷する用紙の設定できる種類を、リストボックスの中から選択します。
用紙の種類は、印刷品質の設定に合わせる必要があります。［用紙種類］の設定の前に［印刷品質］を設定してください。

③ ［インク］

インクの種類を選択します。印刷の目的にあわせて、［カラー］ か ［黒］ のどちらかをクリックします。

④ ［ハーフトーン[*1]］

ハーフトーンの種類を選択して、中間色の印刷方法を指定します。［印刷品質］の設定によって、リストボックスの中に表示されるハーフトーン方法の種類が異なります。以下のいずれかを選択します。

「ハーフトーンなし」 ： ハーフトーンの処理をしません。グレースケールや中間色を表現できないので、濃淡や階調のない画像になります。「インク」で「黒」を選択した場合に選択できます。

「高速ハーフトーン」 ： 誤差拡散法でデータを処理して印刷します。「高画質ハーフトーン」を選択したときよりも印刷スピードが速くなります。

「高画質ハーフトーン」： 「高速ハーフトーン」よりも緻密な誤差拡散処理をします。写真やグラデーションなどの階調（色調）のある画像を表現するのに適しており、細かい部分まで表現できます。

⑤ ［マイクロウィーブ］

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現できる機能です。

「スーパー」 ： フォト印刷時に、さらに高精細に印刷する場合にチェックします。印刷時間は長くなります。

⑥ ［双方向印刷］

このチェックボックスをオンにすると、プリントヘッドが左右どちらへ移動するときにも印刷します。より高速に印刷できますが、印刷品位は多少低下します。

⑦ ［左右反転］

左右を反転させて印刷する場合に、このチェックボックスをオンにします。

⑧ ［スムージング］（文字 / 輪郭）

テキストデータや線画の輪郭を、なめらかに印刷します。印刷時間は多少長くなります。

*1 ハーフトーン ： 色の階調表現。

⑨［ドライバによる色補正］

「色補正方法」の中から選択した設定内容に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。ポップアップメニューからは、次の4項目が選択できます。通常は「自動」を選択してください。

「自動」：文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします。通常はこの設定でご使用ください。ただし、データを解析しながら印刷しますので、印刷時間が長くなる場合があります。

「自然な色あい」：より自然な発色状態になるように色処理を行います。

「あざやかな色あい」：彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理を行います。

「色補正なし」：ドライバによる色補正を行いません。ICM用プロファイル[*2]を作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。

⑩ 各スライドバーについて

ポップアップメニューの下にある6つのスライドバーを調整することにより、お好みに合わせて色バランスを変更することが可能です。

☞**巻頭カラーページ「イメージ補正」**（10）ページ
「カラーコントロールの調整」（11）ページ

「明度」：画像の明るさをスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として、－25～25%の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。明度は画像全体の明るさを調整しますので、全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

「コントラスト」：画像の明暗比をスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として、－25～25%の間です。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。明暗の差をはっきりさせたいときや、逆に明暗の差をなくしたいときに有効です。

「彩度」：画像の彩度（色のあざやかさ）をスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として、－25～25%の間です。
彩度を上げると、色味が強くなります。逆に彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。
色をはっきりさせたいときや、逆に色味を落としたいときに有効です。「インク」で「黒」を選択した場合は調整できません。

---

*1 オブジェクト ： 色補正を行う際に対象となるもの。
*2 プロファイル ： 色補正データが記録されているファイル。

「シアン」　　：それぞれの強さだけをスライドバーで調整できます。
「マゼンタ」　　調整範囲は、標準を 0 として、－ 25 ～ 25% の間です。
「イエロー」　　「インク」で「黒」を選択した場合は調整できません。

	＜－＞ ←──── ○ ────→ ＜＋＞	
シアン	**赤みが強くなります。**	**青緑（シアン）が強くなります。**
マゼンタ	**緑色が強くなります。**	**赤紫（マゼンタ）が強くなります。**
イエロー	**青色が強くなります。**	**黄色（イエロー）が強くなります。**

⑪ ［オートフォトファイン!2］- カラー印刷の場合のみ -

ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhotoCDのデータなどを自動的に補正して印刷したい場合にクリックします。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータに最適な補正を加え、高画質化して印刷します。ただし、画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が長くなります。
詳細な説明と印刷サンプルを巻頭カラーページに掲載してありますので、参照してください。
☞**巻頭カラーページ「オートフォトファイン!2」**（8）ページ

⑫ ［ICM］（Image Color Matching）（Windows95）- カラー印刷の場合のみ -

ディスプレイ上の表示と実際の印刷出力の色合いを合わせるときに選択します。
色合わせについての説明を巻頭カラーページに掲載してありますので、参照してください。
☞**巻頭カラーページ「より高度な色合わせについて」**（12）ページ

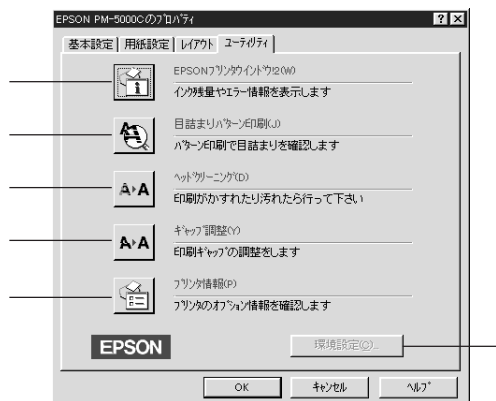
ユーザー設定

設定した各項目は、アプリケーションソフトを終了させると初期設定値に戻ってしまいます。ユーザー設定で、名前をつけて保存しておくと再度設定する必要がなく便利です。（最大保存数 10 件）

① **設定名**　：手動設定にて設定した内容を保存する名称を入力します。
② **設定リスト**　：保存した設定名の一覧を表示します。
③ **保存 ボタン**　：設定した内容を保存します。「設定名」を入力してからクリックしてください。
④ **削除 ボタン**　：設定リストの中から削除したい設定名を選択し、クリックします。
⑤ **キャンセル ボタン**　：ユーザー設定を保存せずに終了します。

ユーザー設定した内容は、「基本設定」の「詳細設定」を選択し、▼ ボタンをクリックするとリストボックスの中に表示されます。

ユーティリティ

ユーティリティの詳細は「ユーティリティの使い方」（119ページ）を参照してください。

①「EPSONプリンタウィンドウ!2」

プリンタの状態を監視できる「EPSON プリンタウィンドウ!2」が起動します。

②「目詰まりパターン印刷」

ヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。

③「ヘッドクリーニング」

プリンタのヘッドをクリーニングするときにクリックします。

④「ギャップ調整」

双方向印刷時に縦の罫線がずれたり、ピントがボケたような印刷結果になる場合に調整します。

⑤「プリンタ情報」

色の再現性を向上させるためのプリンタID情報を取得するときにクリックします（Windows95/NT4.0のみ）。また、オプションの用紙カセットユニットや増設メモリ（SIMM）を装着したときにクリックします。

⑥「環境設定」（Windows95）

印刷速度や進行表示、EPSON プリンタポートに関する設定をします。
［環境設定］は、コントロールパネルのプリンタフォルダからプリンタドライバ画面を開いて設定してください。
☞**「環境設定」** 60 ページ

環境設定（Windows95）

環境設定する場合は、「スタート」メニューの［設定］から［プリンタ］を開き、PM-5000Cをクリックしてファイルメニューのプロパティから実行してください。

①「部数印刷高速化」

1部目の印刷処理データをハードディスクに保存し、2部目以降はそのデータを使用することによって印刷速度を高速化します。チェックをはずすとハードディスクの使用量が減ります。通常はチェックした状態で使用してください。

②「プログレスメータ表示」

印刷実行時に印刷の進行状況を表示します。

③「EPSONプリンタポート使用」（DOS/V 機のみ）

EPSON プリンタポートドライバを使用して、印刷を高速化します。通常はチェックした状態で使用してください。

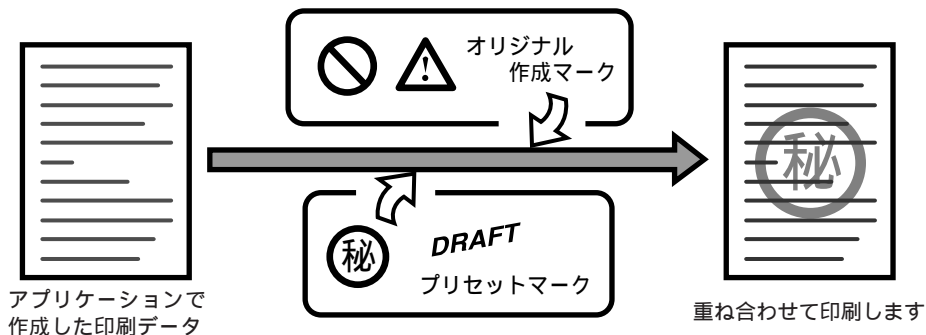
④「DMA 転送」（DOS/V 機のみ）

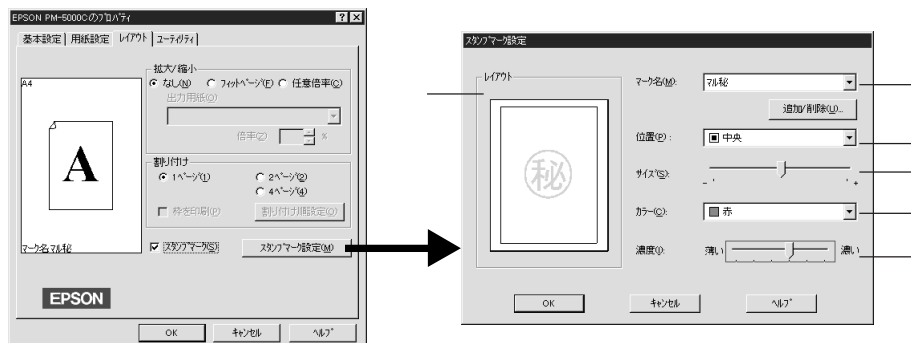
「DMA 転送で印刷します」	：	DMA 転送がご利用になれます。
「DMA 転送の設定を行うと、より高速な出力が可能になります」	：	DMA転送を利用するためには、設定が必要です。
何も表示されないとき	：	DMA 転送はご利用になれません。

☞**「印刷を高速化するには」**175 ページ

⑤「フォルダ選択」

ハードディスクのドライブが複数存在するときに表示されます。スプールファイルや部数印刷高速化機能を使用する際に、一時的に印刷データを保存するフォルダを選択できます。通常は、変更の必要はありません。

便利な印刷機能について

スタンプマーク

印刷データに「㊙」などのイメージを重ね合わせて印刷します。「スタンプマーク」のチェックボックスをチェックして スタンプマーク設定 をクリックするとスタンプマークの設定が行えます。

① レイアウト　：設定したイメージを表示します。

② マーク名　：マークをリストボックスから選択します。
追加 / 削除 ボタンをクリックすると、新たに作成したマーク（BMP[*1]画像ファイル）の登録または削除ができます。（最大保存数 10）

③ 位置　：マークをレイアウトする位置をリストボックスの中から選択できます。

④ サイズ　：選択したマークを拡大 / 縮小します。

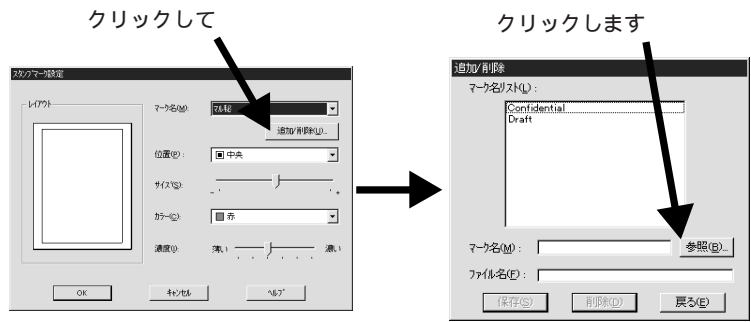
⑤ カラー　：マークの印刷カラーが選択できます。ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。

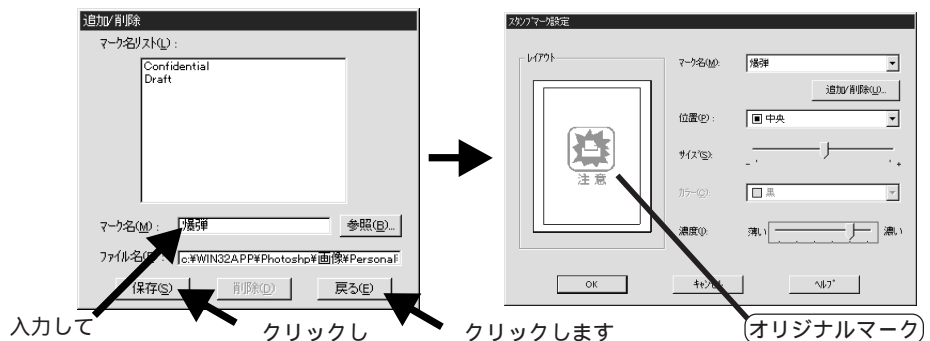
⑥ 濃度　：印刷する際のマークの濃さを調整できます。

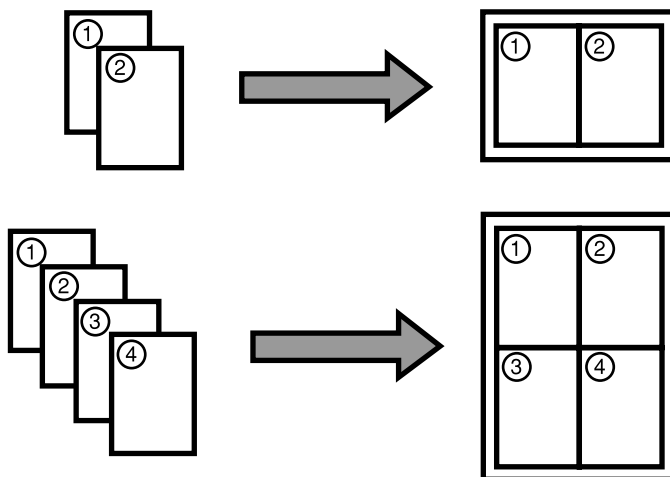
*1 BMP ： 画像データを保存する際のファイル形式のひとつ。

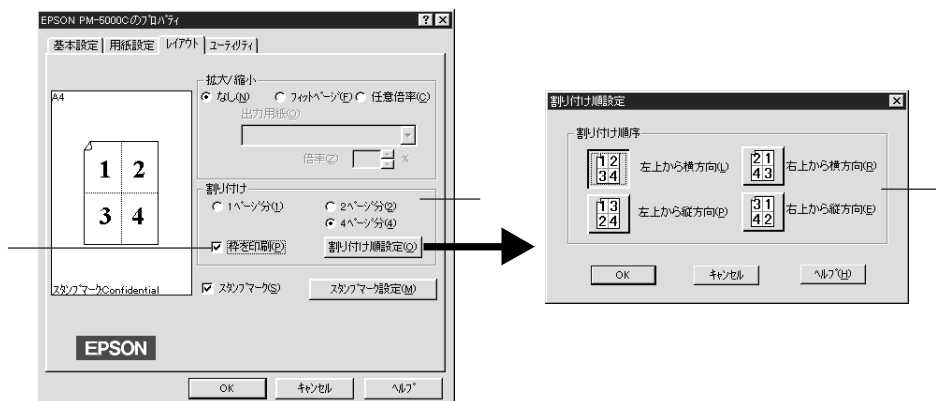
オリジナルマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2 追加/削除 ボタンをクリックし、参照 ボタンをクリックします。

3 マークを保存したディレクトリを選択し、登録するマークをクリックして、OK ボタンをクリックします。

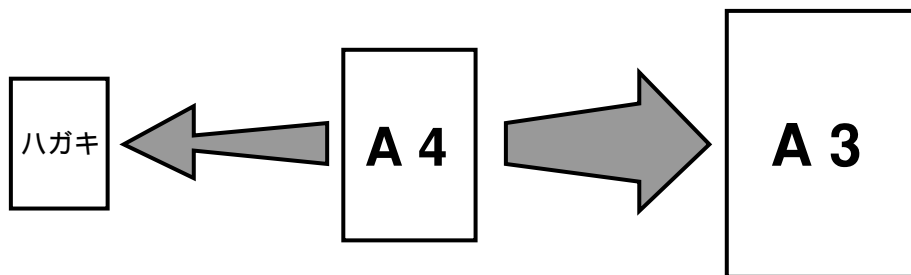
4 [マーク名] を入力し、保存 ボタンをクリックして、戻る ボタンをクリックします。

これでマーク名のリストにオリジナルマークが登録されました。

割り付け印刷（Windows95 のみ）

2ページまたは4ページの連続したデータを、1ページにまとめて印刷できます。
割り付け順設定 ボタンをクリックすると割り付け順の設定ができます。

- **拡大 / 縮小印刷をする場合は、ご利用になれません。**
- **印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合がありますのでご注意ください。**

① 1 ページに 2 ページまたは 4 ページのどちらを割り付けるか選択します。
② 割り付けたページごとに枠線を描くかどうかを選択します。
③ 割り付ける順番を選択できます。

拡大 / 縮小印刷

印刷データを、印刷する用紙に合わせて自動的に拡大/縮小して印刷（フィットページ）します。また任意の倍率で 10% ～ 400% まで設定できます。

ポイント

- **拡大 / 縮小印刷をした場合、カラーの色合いが変化することがあります。**
- **割り付け印刷時は、拡大 / 縮小印刷はできません。**
- **印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合がありますのでご注意ください。**

1 **プリンタの 電源 スイッチをオンにして、用紙をセットします。**

2 **アプリケーションソフトから、プリンタドライバの設定画面を開き、「用紙設定」メニューで「用紙サイズ」を選択します。**

用紙サイズは、印刷データを作成したアプリケーションソフトで設定したサイズを入力してください。

便利な印刷機能について

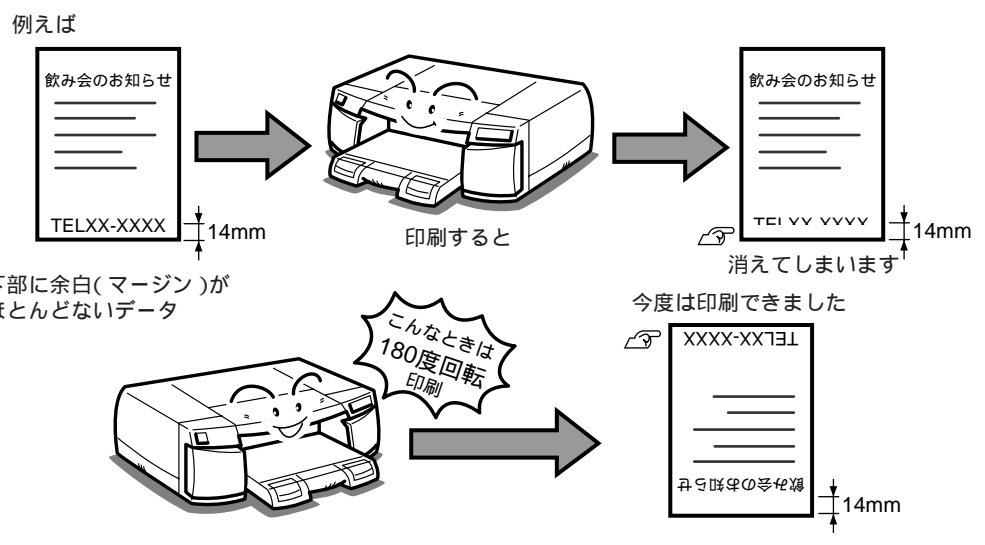
3 「レイアウト」メニューの [拡大 / 縮小] を設定します。

チェックボックスをチェックして選択します。

- 指定した用紙サイズに倍率を自動変更するとき　：「フィットページ」をクリックして「出力用紙」のリストボックスの中から、プリンタにセットされている用紙サイズを選択します。印刷データを用紙の中央に配置して印刷します。
- 倍率を指定するとき　：「任意倍率」をクリックし、[▼] [▲] ボタンをクリックして倍率を設定してください。印刷データを用紙の左上に配置して印刷します。

印刷を実行します。

180 度回転印刷

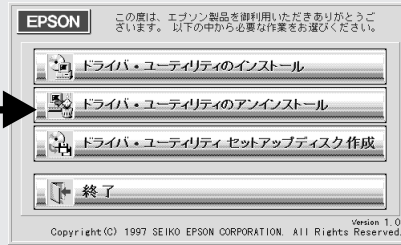
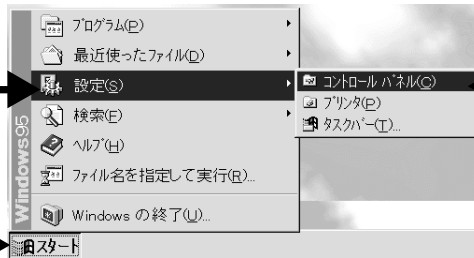
本プリンタは、紙送りの機構上、印刷データの下部に14mmの余白が必要です。「180 度回転」させて印刷することにより下部の余白を 3mm にして印刷することができます（ただし上部の余白が 14mm になります）。

1 **アプリケーションソフトから、プリンタドライバの設定画面を開き、「用紙設定」メニューで用紙サイズを設定し、「180度回転」を選択します。**

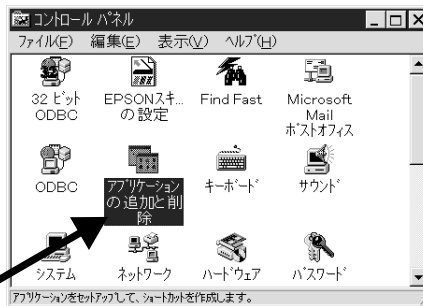
「180度回転」をクリックし、チェックボックスをチェックします。

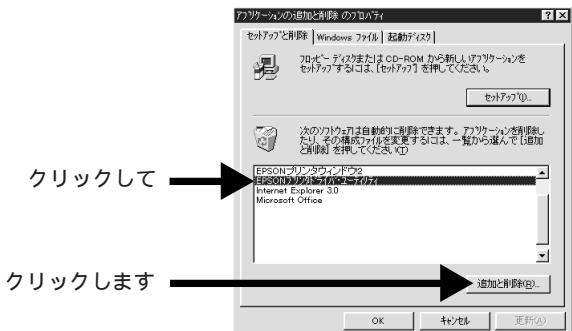
2 **印刷を実行します。**

プリンタドライバの削除（Windows95）

プリンタのバージョンアップや再インストールを行う場合は、まず最初にすでにインストールされているドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

- 「プリンタドライバ･ユーティリティCD-ROM」をコンピュータにセットすると、自動的に表示される以下の画面からもアンインストールできます。

- WindowsNT4.0のプリンタドライバの削除方法については、WindowsNT4.0の取扱説明書をご覧ください。

1 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定」にカーソルを合わせます。次に「コントロールパネル」をクリックします。**

2 **「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。**

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

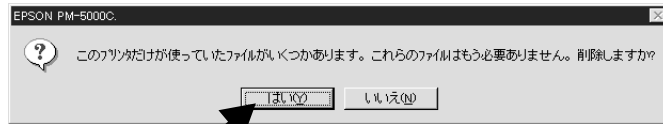
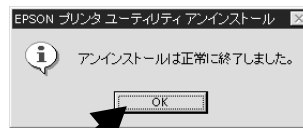
3 一覧の中から「EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ」をクリックし、追加と削除 ボタンをクリックします。

「EPSON プリンタユーティリティアンインストール」ダイアログボックスが表示されます。

4 「EPSON PM-5000C」のアイコンをクリックし、OK ボタンをクリックします。

5 はい ボタンをクリックします。

EPSON PM-5000C プリンタドライバの削除を行います。

6 はい ボタンをクリックします。

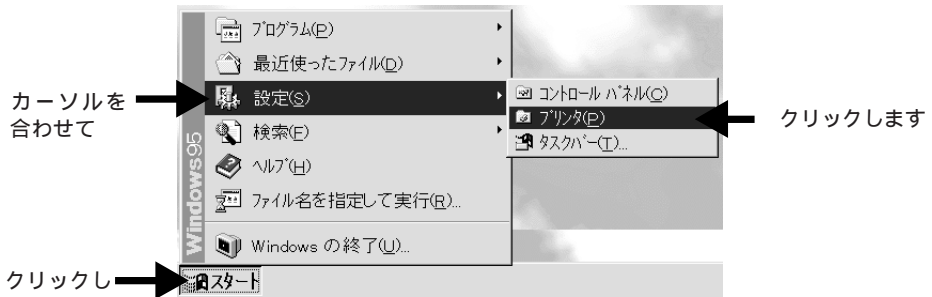
EPSON PM-5000C に関するファイルの削除を行います。

7 終了のメッセージが表示されたら OK ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。

プリンタ接続先の設定（Windows95）

Win 95/NT4.0

プリンタを接続しているコンピュータ側のポート[*1]の設定を、必要に応じて変更します。ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。

- **プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能設定を確認してください。**
- **ここで設定した内容が、アプリケーションソフトなどからプリンタドライバの設定画面を開いた場合の初期設定値になります。**

1 画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定」にカーソルを合わせます。次に「プリンタ」をクリックします。

2 EPSON PM-5000Cを選択し、「ファイル」メニュー内の「プロパティ」をクリックします。

3 「詳細」メニューのタブをクリックし、設定を変更して OK ボタンをクリックします。

これで接続先の設定は終了です。

*1 ポート ：プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタやソケット。

［詳細］メニューの詳細は次のとおりです。

① 印刷先のポート / 接続先

プリンタを接続したボート（インターフェイス）を選択します。コンピュータのプリンタポートに接続した場合は、LPT1 のままでお使いください。

PRN　：EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。「PRN」が表示されない場合はLPT1を選択します。

LPT　：通常のプリンタポートの設定です。DOS/Vシリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。

COM　：シリアルポートに接続している場合に選択します。このポートに接続する場合は、シリアルポートの通信設定とプリンタの通信条件を合わせる必要があります。

FILE　：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

ポートの追加 ボタン：

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

ポートの削除 ボタン：

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

②印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種のプリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

ドライバの追加 ボタン：

プリンタドライバを追加するときにクリックします。

③ プリンタポートの割り当て / 解除

ネットワークプリンタと接続している場合に使用できます。

プリンタポートの割り当て ボタン：

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

プリンタポートの解除 ボタン：

ネットワークドライブに割り当てたポートを削除するときにクリックします。

④ タイムアウト設定 / タイムアウト時間の設定

［未選択時］、［送信の再試行時］の時間を設定します。通常は変更する必要はありません。

ポートによってはこのタイムアウト時間は変更できません。

未選択時：

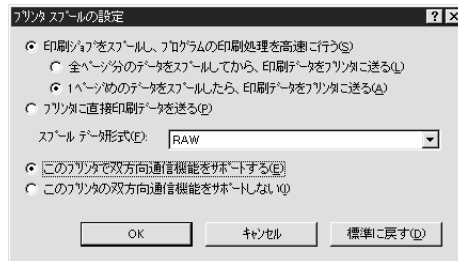
プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。
ここで指定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

送信の再試行時：

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。
ここで指定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合やネットワークなど複数のコンピュータで共有している場合、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間（とくに［送信の再試行時］）を長く設定してください。

⑤ **スプールの設定 ボタン**

印刷データのスプール方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：

印刷データのスプール方法を設定します。どちらの方法を選択しても印刷速度は変わりません。

プリンタに直接印刷データを送る：

印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。

＊このプリンタで双方向通信機能のサポートする：

プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように指定します。
本プリンタに添付のEPSONプリンタウィンドウ!2は、双方向通信機能により動作可能なユーティリティのため、使用する際は必ず「サポートする」をクリックしてください。

＊このプリンタで双方向通信機能のサポートしない：

プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように指定します。

> **＊ 双方向通信機能のサポートに関するラジオボタンは、プリンタドライバをインストールしたあとにEPSONプリンタウィンドウ!2をインストールした場合にのみ有効となります。選択ができないときはEPSONプリンタウィンドウ!2が正常にインストールされていない可能性があります。EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしてください。**
> **☞「単独でインストールする場合」124ページ**

⑥ **ポートの設定 ボタン**

通常は設定を変更する必要はありません。

MS-DOSの印刷ジョブをスプール：

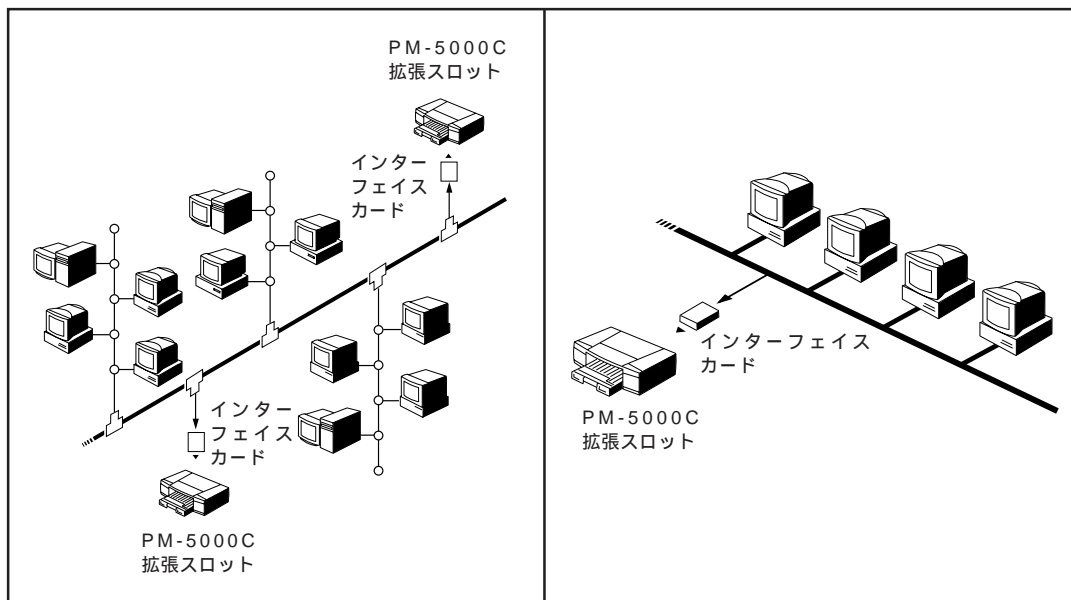
MS-DOSアプリケーションの印刷データをWindowsにてスプールします。

印刷前にポートの状態をチェック：

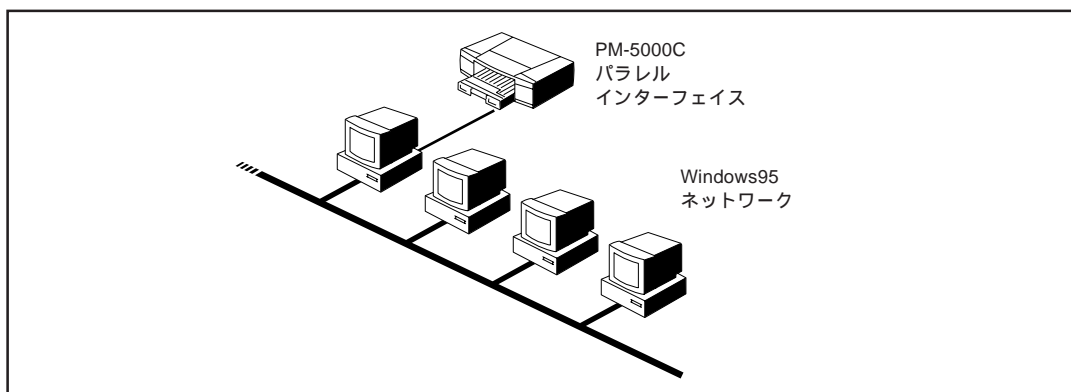
印刷先のポートが印刷可能な状態かどうかを、印刷を行う前にチェックします。

ネットワーク接続について

本機は以下の方法によりネットワーク上での共有が可能です。

● **オプションのインターフェイスカードによる共有**

本機の拡張スロット（本体背面コネクタカバーの中）にオプションのインターフェイスカードを装着することにより、異なるネットワーク環境の混在や特定のネットワーク上で本機を共有することが可能です。詳細はオプションのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

☞**「インターフェイスカード」** 157 ページ

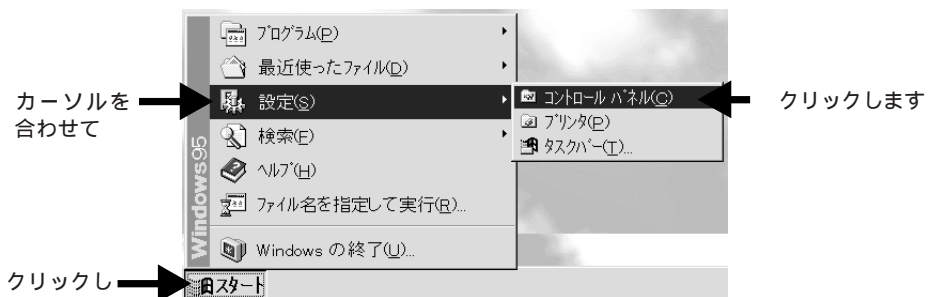
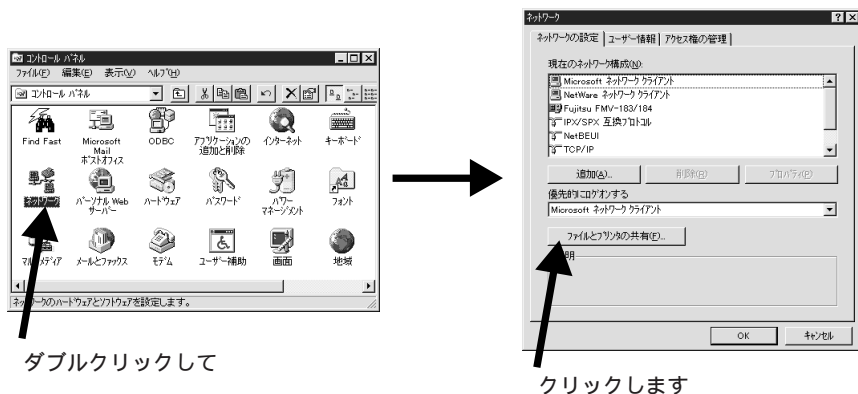
● **ピアトゥピアによる共有（Windows95）**

ピアトゥピア接続の環境にあるコンピュータに、本機を 1 対 1 で接続することで共有することが可能です。ピアトゥピア接続環境の構築については、お使いのコンピュータの取扱説明書やWindows95の取扱説明書を参照してください。

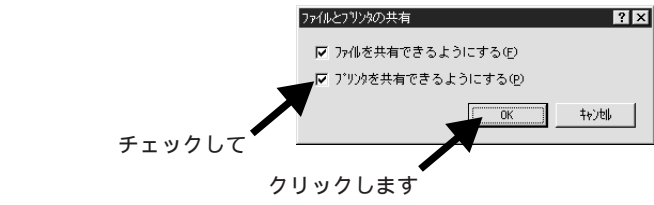
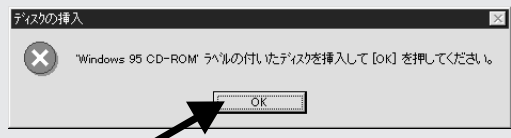
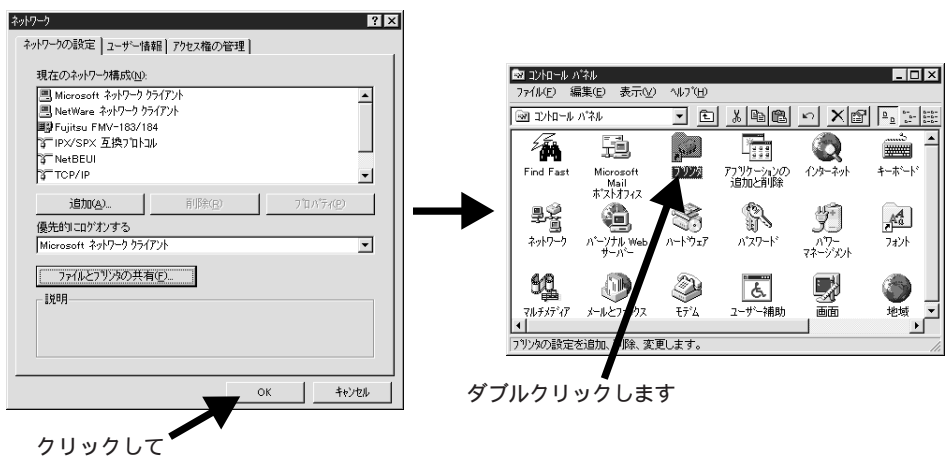
ピアトゥピア接続でのプリンタの共有方法

ピアトゥピア接続では、プリンタを接続するコンピュータがサーバ*1の役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバ、プリンタを利用するユーザーをクライアントと呼びます。

- **以下の設定方法は、すでにピアトゥピア環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一のネットワーク管理下にあることと、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。**
- **画面は Microsoft ネットワークの場合です。**

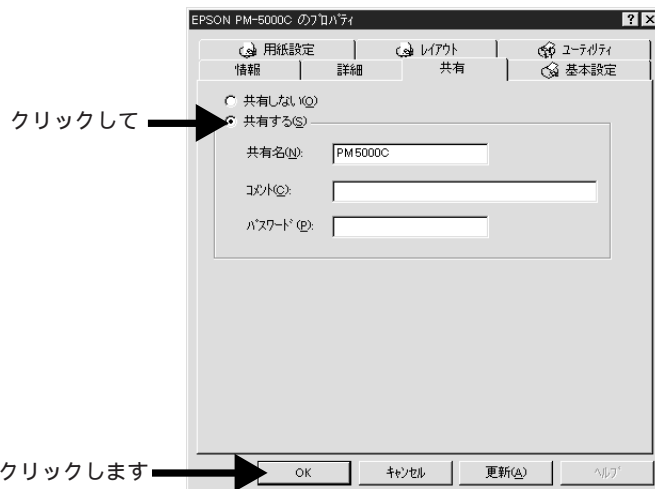
プリントサーバ側の設定

1 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定」にカーソルを合わせます。次に「コントロールパネル」をクリックします。**

2 **「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、ファイルとプリンタの共有 ... ボタンをクリックします。**

*1 サーバ　：ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能をもつハードウェアやソフトウェア。

3 「プリンタを共有できるようにする」のチェックボックスをチェックし、OK ボタンをクリックします。

4 OK ボタンをクリックし、「プリンタ」のアイコンをダブルクリックします。

- 以下の画面が表示された場合は、Windows95CD-ROMをコンピュータにセットし、OK ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。

- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後1の手順でプリンタフォルダを開き5から設定してください。

5 PM-5000C アイコンを選択し、「ファイル」メニュー内の「共有」をクリックします。

6 「共有する」をクリックして、必要に応じて各項目を入力し、OK ボタンをクリックします。

ポイント

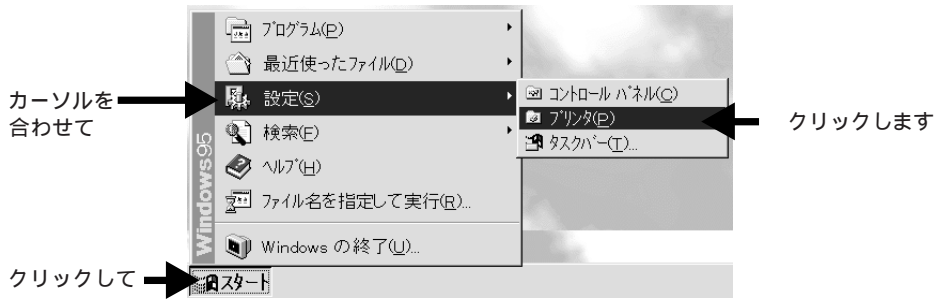
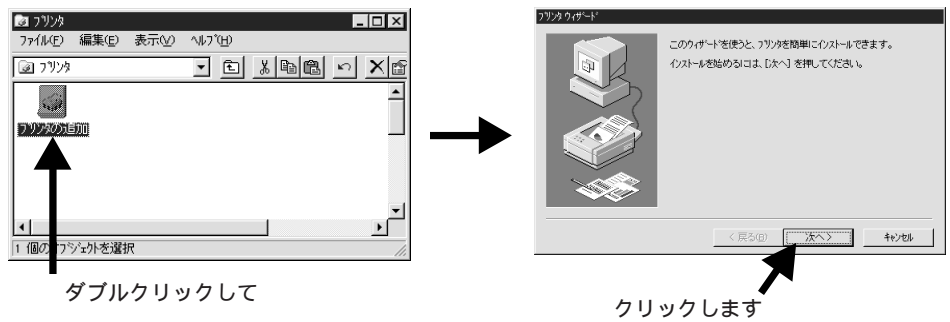
エラーが発生する場合がありますので、共有名にスペース（□）や-（ハイフォン）を使用しないでください。

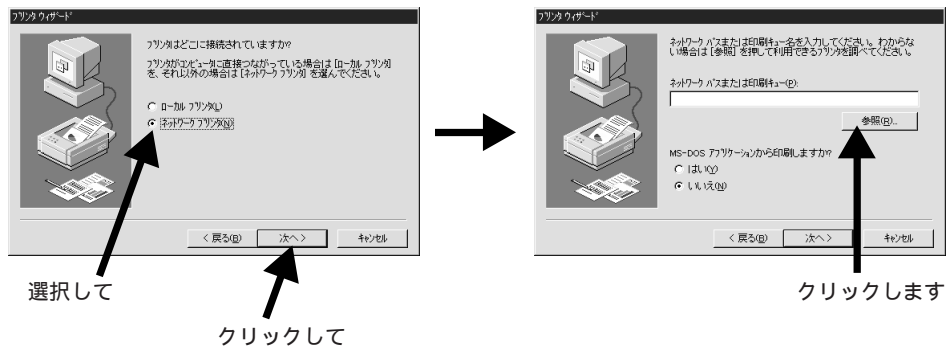
<例>　×　PM□5000□C　　PM-5000C

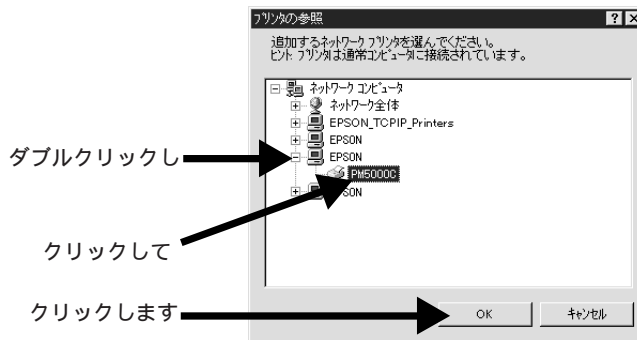
　　　○　PM_5000C　　PM5000C

これでプリントサーバ側の設定は終了です。

クライアント側の設定

1 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定」にカーソルを合わせます。次に「プリンタ」をクリックします。**

2 **「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックし、次へ ボタンをクリックします。**

3 **「ネットワークプリンタ」を選択し 次へ ボタンをクリックして、参照 ボタンをクリックします。**

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

4 共有する PM-5000C を接続しているコンピュータをダブルクリックし、「PM5000C」をクリックして、OK ボタンをクリックします。

プリントサーバ側の設定で共有名をPM5000C以外にしている場合があります。
プリントサーバの設定を確認してください。

5 このあとは、画面の指示に従ってプリンタの追加を進めてください。

これでクライアント側の設定は終了です。

WindowsNT4.0 をお使いの方へ

プリンタドライバのバージョンアップなどにより、プリンタドライバを再インストールする場合は、インストール終了後、必ずコンピュータを再起動してください。
また、添付の WindowsNT 用プリンタドライバにて、ネットワーク経由で印刷を行う場合にデータの一部が印刷されないことがあります。このようなときは、以下の操作を行うことで回避できる場合があります。

1 インストールしたプリンタのプロパティ画面を表示し、印刷するポートを「LPT1:」以外のポートに設定します。

「LPT2:」など、他に使用していないローカルポートに設定してください。

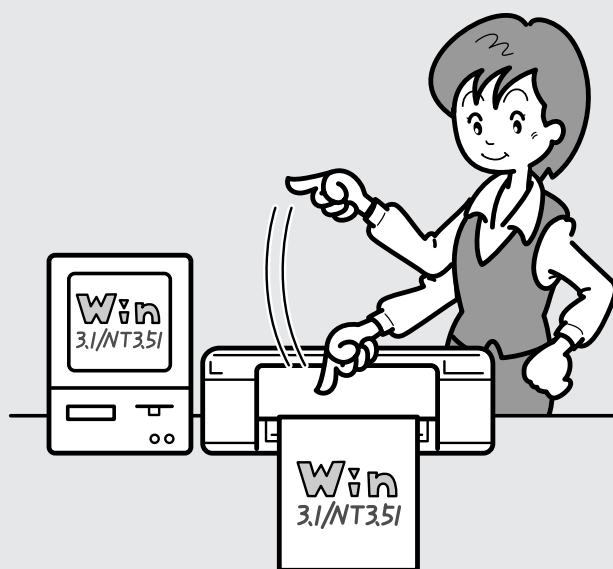
2 コマンドプロンプトを起動し、NETコマンドにより設定したローカルポートをネットワークプリンタに割り当てます。

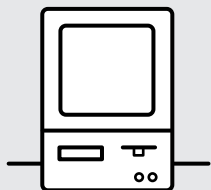
net use" ローカルポート名 "" 出力するプリンタのネットワークパス "
＜例＞ C:￥>net use lpt2:￥￥epserver￥pm-5000c

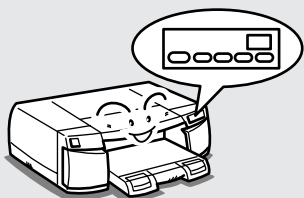
この設定を解除する場合には"出力するプリンタのネットワークパス"の部分を"/d" に変えて NET コマンドを実行します。
net use"ローカルポート名 "/d
＜例＞ C:￥>net use lpt2:/d

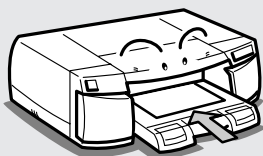
3 コンピュータを再起動します。

コンピュータの再起動後、印刷結果をご確認ください。

Windows3.1/NT3.51 での印刷

ここでは、Windows3.1/NT3.51 で印刷する場合の手順や、ドライバの詳細な内容などについて説明しています。

印刷までの流れ

●印刷データの作成

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

●プリンタの電源をオンにします。

インク残量は充分ですか？操作パネルのランプでプリンタの状態がわかります。

●用紙をセットします。

「さまざまな用紙への印刷」17 ページ

●印刷条件を設定しましょう。

プリンタドライバで印刷条件を設定します。

「印刷の設定と実行」83 ページ
「プリンタドライバの設定」89 ページ

●印刷を実行します。

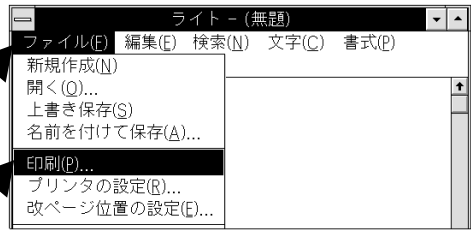
「印刷を実行すると」85 ページ
「印刷の中止方法」87 ページ

印刷の設定と実行

設定画面の開きかたは、各アプリケーションソフトによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここではWindows3.1に添付の「ライト」を例に説明します。

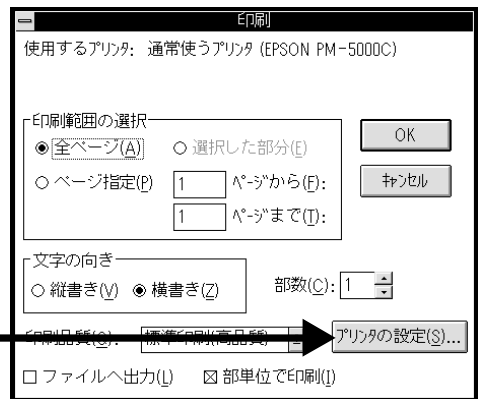
ライトの起動方法：
「プログラムマネージャ」の「アクセサリ」グループの「ライト」アイコンをダブルクリックします。

1 **「ファイル」メニューをクリックし、「印刷」をクリックします。**

ライト - (無題)
ファイル(F) 編集(E) 検索(N) 文字(C) 書式(P)
新規作成(N)
開く(O)...
上書き保存(S)
名前を付けて保存(A)...
印刷(P)...
プリンタの設定(R)...
改ページ位置の設定(E)...

①クリックし

②クリックします

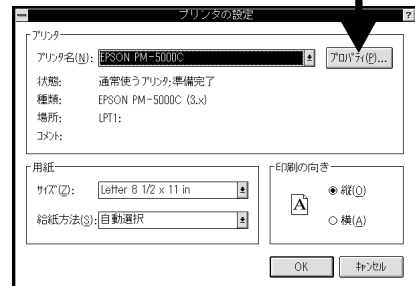
2 **PM-5000Cが選択されていることを確認し、各項目を設定してから、プリンタの設定 ボタンをクリックします。**

3

Windows3.1	WindowsNT3.51
オプション ボタンをクリックします。	**プロパティ ボタンをクリックします。**

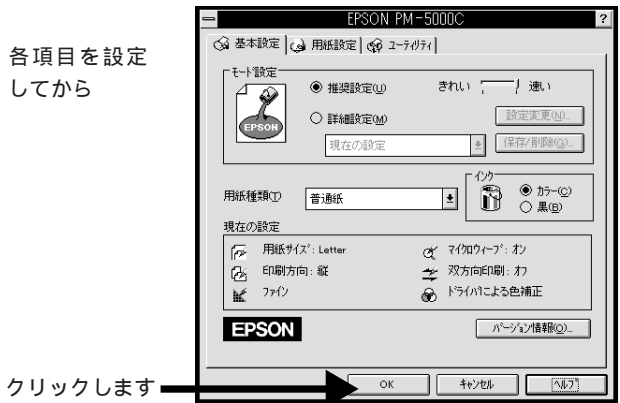
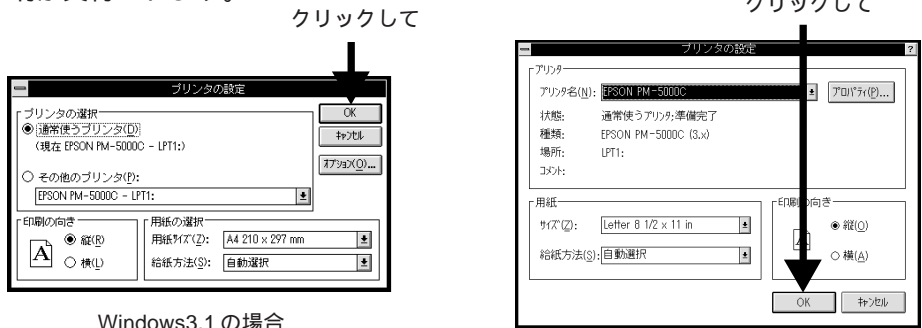
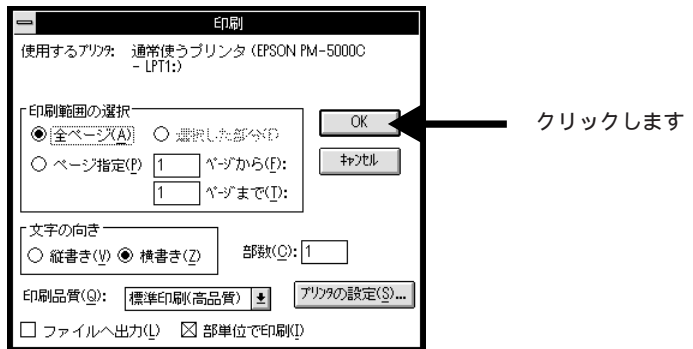
クリックします

プリンタの設定
プリンタの選択
通常使うプリンタ(D)
(現在 EPSON PM-5000C - LPT1:)
その他のプリンタ(P):
EPSON PM-5000C - LPT1:
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)...
印刷の向き
縦(R)
横(L)
用紙の選択
用紙ｻｲｽﾞ(Z): A4 210 x 297 mm
給紙方法(S): 自動選択

クリックします

プリンタの設定
ﾌﾟﾘﾝﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾀ名(N): EPSON PM-5000C
ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(P)...
状態: 通常使うﾌﾟﾘﾝﾀ;準備完了
種類: EPSON PM-5000C (3.x)
場所: LPT1:
ｺﾒﾝﾄ:
用紙
ｻｲｽﾞ(Z): Letter 8 1/2 x 11 in
給紙方法(S): 自動選択
印刷の向き
縦(O)
横(A)
OK
ｷｬﾝｾﾙ

4 各項目を設定し、OK ボタンをクリックします。

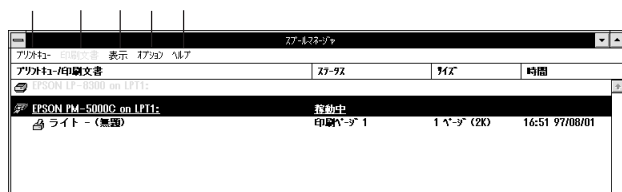
各項目の詳細については以下のページをご覧ください。

「基本設定」――――――51 ページ　「用紙設定」――――――52 ページ
「手動設定」　――――――54 ページ　「ユーティリティ」―――――59 ページ

5 OK ボタンをクリックし、次の画面で OK ボタンをクリックします。

印刷が実行されます。

印刷を実行すると（Windows3.1）

印刷データはスプールマネージャからプリントマネージャを経由してプリンタに送られます。印刷を実行すると、スプールマネージャが起動し、ディスプーラが画面右下に表示されます。

スプールマネージャ

印刷を実行すると、「スプールマネージャ」アイコンが表示されます。「スプールマネージャ」アイコンをダブルクリックして画面を開くと、印刷するデータの名称や用紙サイズなどが表示されます。

① **プリントキューメニュー**　：プリントキュー（各プリンタドライバに割り当てられた、印刷データを一時的に保持する領域）を一旦停止したり、プリントキューの条件を設定します。セットアップをクリックすると次ページのキューセットアップ画面が開きます。

② **印刷文書メニュー**　：プリントキューの出力データをコントロールします。印刷の中止や再印刷などはここで実行できます。

③ **表示メニュー**　：スプールマネージャが表示する情報を選択 / 変更します。

④ **オプションメニュー**　：スプールディレクトリ先の初期値とスプールディレクトリの印刷文書リストを更新するまでの時間を設定します。

⑤ **ヘルプ**　：ヘルプ情報を表示します。スプールマネージャの詳細はこのボタンをクリックして、ヘルプを参照してください。

ポイント

スプールマネージャは、印刷実行時以外でも起動させることができます。「EPSON」グループ内の「スプールマネージャ」アイコンをダブルクリックしてください。

キューセットアップ

プリントキューメニューのセットアップをクリックすると以下の画面が表示されます。

スプールディレクトリ

印刷文書の出力ファイルの作成ディレクトリを指定します。

スプール先

ファイルの出力先のプリンタを選択します。PM-5000Cでは、ローカルプリンタを選択してください。

リモートディスプール

ネットワークで使用している場合に、プリンタが接続している端末で設定が必要になる項目です。通常は、操作の必要がありません。

プリントマネージャを使用する

通常は、「プリントマネージャを使用する」のチェックボックスに×をつけないでください。高速に印刷をすることができます。

ディスプーラ

印刷を実行すると画面右下に表示されます。

経過時間

⏸ ボタン

一時停止：印刷を一時中止します。

■ ボタン

キャンセル：印刷を中止します。

バージョン情報 ボタン

ディスプーラの情報などを表示します。

頁数

文書の総ページ数のうち何ページ目を処理しているかを示します。

部数

指定した総部数のうち何枚目を印刷しているかを示します。

◀◀ ボタン

再印刷：「現在のページ」「文書全体」「後で印刷」の中から選択した条件で再度印刷します。

ヘルプ ボタン

ディスプーラについてのヘルプを表示します。

印刷の中止方法

印刷を中止する場合の手順について説明します。

Windows3.1

Win
3.1/NT3.51

1 **プリンタの 電源 スイッチをオフにします。**

印刷の途中でも、プリンタの 電源 スイッチをオフにしてください。印刷中の用紙は排紙されます。

2 **タスク切替機能を使用して「スプールマネージャ」を表示し、「スプールマネージャ」アイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

ポイント

タスク切替機能は
DOS-V機：「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押します。
PC-9800シリーズ：「GRPH」キーを押しながら「TAB」キーを押します。

3 **印刷を中止する印刷文書をクリックします。**

クリックします

4 **「印刷文書」メニューをクリックし、「印刷中止」をクリックします。**

①クリックして

②クリックします

5 **はい ボタンをクリックします。**

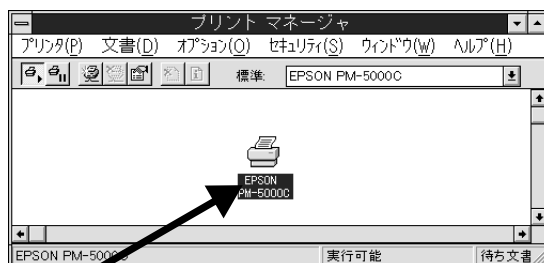
これで印刷が正常に中止されました。

印刷の中止方法

WindowsNT3.51

1 プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

印刷の途中でもプリンタの 電源 スイッチをオフにしてください。

2 メイングループのプリントマネージャアイコンをダブルクリックし、PM-5000Cアイコンをダブルクリックします。

ダブルクリックします

3 印刷を中止するデータをクリックします。

4 「文書」をクリックし、「文書の削除」をクリックします。

これで印刷が正常に中止されました。

ポイント

> プリントマネージャからプリンタへのデータ転送が終了している場合、プリントマネージャに印刷データは表示されません。その場合は、プリンタの 電源 スイッチをオフにするだけで印刷は正常に中止されます。

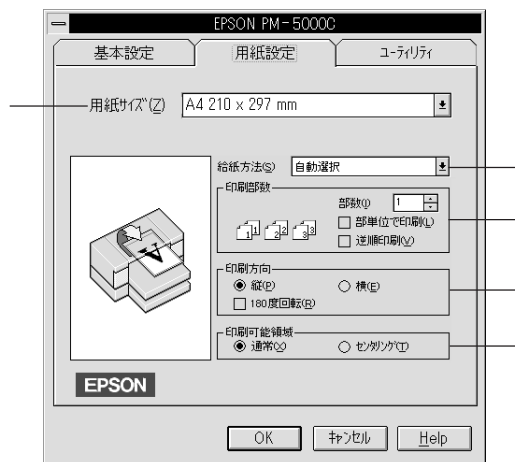
プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定項目は、いくつかのメニュー（ダイアログボックス）に分かれています。詳細については「プリンタドライバの設定（Windows95/NT4.0）」（50 ページ）を参照してください。

基本設定 ── 51 ページを参照してください

用紙カセットにセットした用紙に対して設定（④）を行う場合は、用紙種類の設定が用紙カセットの用紙種類スイッチの設定と合っていることを確認してください。

用紙設定 ── 52 ページを参照してください

＜画面は Windows3.1 の場合＞

用紙カセットにセットした用紙に対して設定（①）を行う場合は、用紙サイズの設定が用紙カセットの用紙サイズスイッチの設定と合っていることを確認してください。

手動設定 —— 54 ページを参照してください

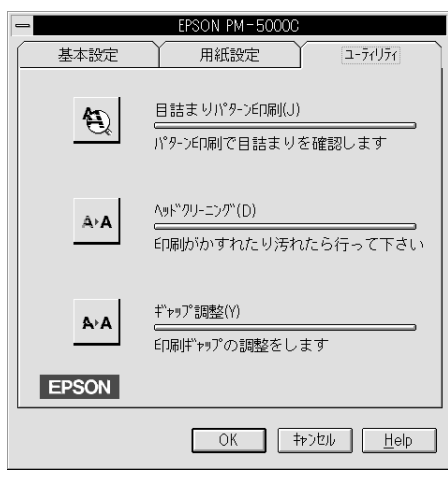
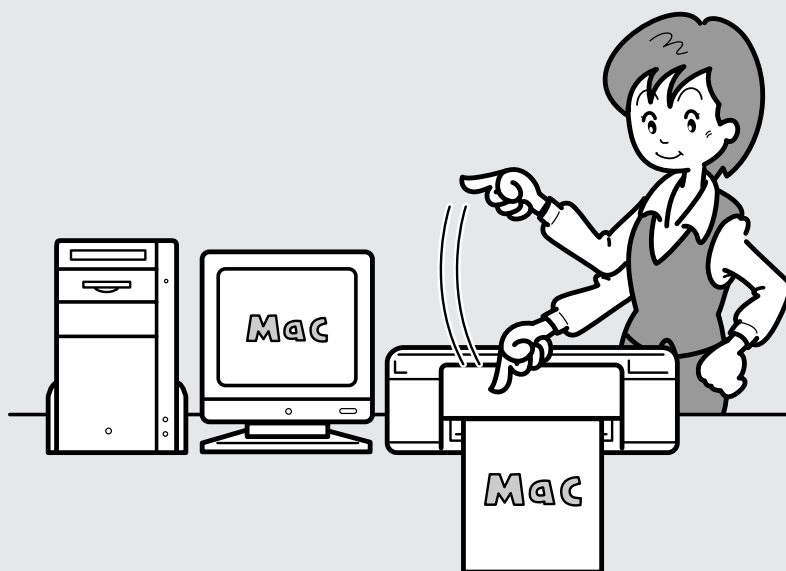
＜画面は WindowsNT3.51 の場合＞

⑪ オートフォトファイン

ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像を自動的に補正して印刷したい場合にクリックします。コントラストや彩度が適切でないデータに最適な補正を加え、鮮明に印刷します。ただし、画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が長くなります。

⑬ ［アプリケーションの解放優先］（WindowsNT3.51）

アプリケーションソフトの解放時間やトータル印刷時間が速くなります。複雑な印刷データを印刷する場合に、印刷時間が極端に長くなったり、データの一部が印刷されないようなときはチェックボックスをオフにしてください。

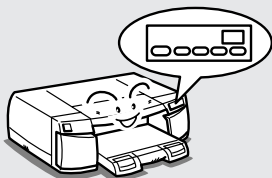
ユーティリティ —— 119 ページを参照してください

Macintoshでの印刷

ここでは、Macintosh で印刷する場合の手順や、ドライバの詳細な内容などについて説明しています。

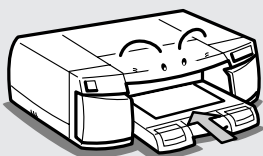
印刷までの流れ

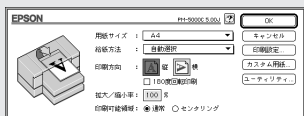
●セレクタで PM-5000C を選択して用紙の設定をします。

☞セットアップガイド
「Macintosh側で行う印刷の準備」49 ページ
☞「印刷の設定と実行」93 ページ

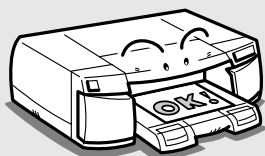
●印刷データの作成

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

●プリンタの電源をオンにします。

インク残量は充分ですか？操作パネルのランプでプリンタの状態がわかります。

●用紙をセットします。

☞「さまざまな用紙への印刷」17 ページ

●印刷条件を設定します。

プリンタドライバで印刷条件を設定します。

☞「印刷の設定と実行」93 ページ
☞「高度な印刷設定について」99 ページ
☞「便利な印刷機能について」106 ページ

●印刷を実行します。

☞「バックグラウンドプリントについて」113 ページ
☞「印刷の中止方法」115 ページ

印刷の設定と実行

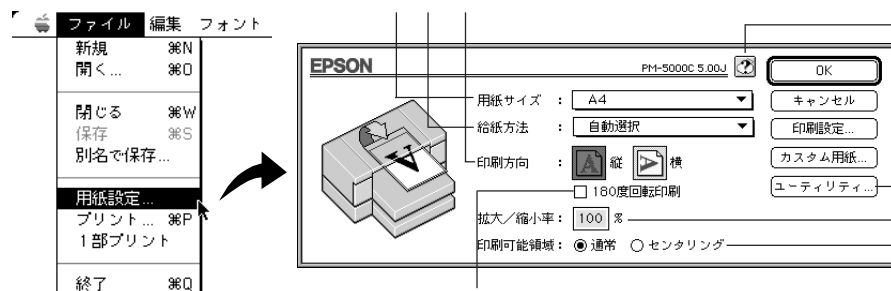
ここでは、Macintoshでの印刷の設定方法や実行の手順について説明します。

用紙設定の手順

実際に書類を作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。

- **アプリケーションソフトウェアによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。**
- **普通紙/専用紙などの用紙種類は、印刷する直前に印刷ダイアログで指定しますので、ここでは指定する必要はありません。**

用紙設定をする前に、セレクタでPM-5000Cを選択してください。
☞セットアップガイド「Macintosh側で行う準備」49ページ

1　[ファイル] メニューから [用紙設定]（または [プリンタの設定] など）を選択します。

各項目の内容については、次ページを参照するか、[?] ボタンをクリックしてください。

2　各項目を設定します。

通常は、用紙サイズ①と印刷方向②を設定するだけで構いません。表示されている条件で良ければ、設定する必要はありません。

3　OK ボタンをクリックして終了します。

用紙設定ダイアログ

① 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニュー[*1]の中から選択します。
メニュー以外の用紙サイズを使用する場合は、⑦の中の カスタム用紙... ボタンをクリックして用紙サイズ登録ダイアログを開き、用紙サイズを登録してください。

② 給紙方法

給紙経路を指定します。

自動選択	：	プリンタドライバが指定する用紙種類 / サイズの用紙がセットしてある用紙カセット（1または2）から自動的に給紙します。通常はこの設定にします。
用紙カセット 1	：	常に用紙カセット 1 から給紙します。
手差し	：	常に手差しスロット（前または後）から給紙します。
用紙カセット 2	：	オプションの用紙カセット 2 を装着してある場所に、常に用紙カセット 2 から給紙します。

③ 印刷方向

用紙の挿入方向に対する印刷方向を、縦・横のいずれかで選択します。印刷イメージのアイコンをクリックして選択します。

④ 180 度回転印刷

印刷実行時に 180 度回転して印刷します。

☞**「180 度回転印刷」**110 ページ

⑤ 拡大 / 縮小率

印刷するときの拡大 / 縮小率を 25 ～ 400% まで 1% 単位で設定できます。ただし、特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大 / 縮小の設定範囲が変わることがあります。

拡大 / 縮小率を指定して印刷した場合、カラーの色合いが変化することがあります。カラー印刷の場合は、等倍（100%）で印刷することをお薦めします。

⑥ 印刷可能領域

用紙の印刷される範囲を指定します。通常は設定を変更する必要はありませんが、用紙上下のマージン（余白）を均等にしたい場合は「センタリング」を選択してください。ただし、物理的な印刷可能領域は狭くなります。

*1 ポップアップメニュー ： ▼マークのある枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

⑦ 各種ボタン

OK ボタン　：変更した設定を有効にして設定を終了するボタンです。

キャンセル ボタン　：変更した設定を無効にして設定を終了するボタンです。

印刷設定 ... ボタン　：印刷オプションが設定できます。印刷する直前に印刷ダイアログでも同様の項目が設定できますので、通常は設定する必要はありません。設定できる内容については印刷ダイアログを参照してください。
☞**「印刷ダイアログ」**98 ページ

カスタム用紙 ... ボタン：このボタンをクリックすると、用紙サイズ登録ダイアログが表示され、用紙サイズを登録できます。詳しくは次ページの「用紙サイズの登録 / 変更」を参照してください。

ユーティリティ ボタン：「EPSON プリンタウインドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するためのダイヤログを表示するボタンです。
☞**「ユーティリティの使い方」**119 ページ

? ボタン　：ヘルプ情報を表示するボタンです。

用紙サイズの登録 / 変更

用紙サイズ登録ダイアログでは、新しい用紙サイズを登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更したりすることができます。

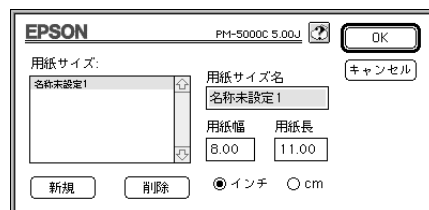
1 用紙設定ダイアログの カスタム用紙 ... ボタンをクリックします。

2 用紙サイズ名を指定し、OK ボタンをクリックします。

新しい用紙サイズを登録するときは 新規 ボタンをクリックしてから、用紙サイズ名を入力します。以前に登録した用紙サイズを変更するときは、左のリストに表示されている用紙サイズ名をクリックします。
用紙サイズを指定するボックスが現れます。

- **登録できる用紙サイズは 8 つまでです。**
- **用紙サイズ名を指定してから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。**

3 サイズを入力します。

登録する用紙幅と用紙長をインチ単位で入力します。下のラジオボタン[*1]で cm 単位に変更することもできます。

指定できるサイズの範囲は次のとおりです。
用紙幅 ： 3.94 ～ 22.00 インチ（10.02 ～ 55.88cm）
用紙長 ： 3.94 ～ 44.00 インチ（10.02 ～ 117.76cm）
※ 本プリンタの最大印刷可能領域（印字幅）は 323mm ですので、329mm を超える幅の用紙サイズを指定する場合は、印刷を実行する前にプリンタドライバの縮小率（94 ページ）を設定してください。

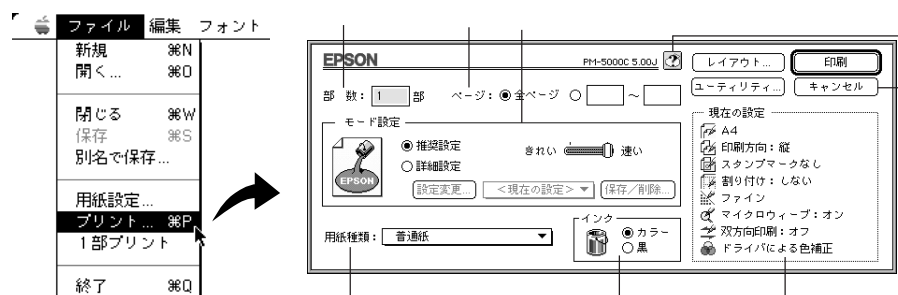
4 OK ボタンをクリックして終了します。

*1 ラジオボタン ： 2つまたはそれ以上の選択肢の中から1つだけを選択するための画面上のボタン。選択されている項目は◉で表示される。

印刷の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は、以下の印刷ダイアログで設定します。

- **アプリケーションソフトウェアによっては、独自の印刷ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。**
- **通常は簡単な設定だけで印刷を行うことができますが、必要に応じて「高度な設定」を行うこともできます。高度な設定については、「高度な印刷設定について」をお読みください。**
  「高度な印刷設定について」99 ページ

1 [ファイル] メニューから [プリント] (または [印刷]) を選択します。

各項目の内容は次ページを参照するか、[?] ボタンをクリックしてください。

2 [印刷] ダイアログ内の各項目を設定します。

表示されている内容で良ければ設定する必要はありません。「用紙種類」の項目は、必ず実際に印刷する用紙種類に設定してください。

3 印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。

印刷ダイアログ

① **部数**

印刷する部数を直接入力して指定します。

② **ページ**

印刷ページを指定します。「全ページ」を選択すると、文書の全ページを印刷します。印刷するページを指定するときは、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定ボックスに指定ページを入力します。

③ **モード設定**

印刷の設定を自動的に行う（推奨設定）か、手動で行う（詳細設定）かを選択します。通常は「推奨設定」を選択しますが、「詳細設定」を選択すると、高度な設定を行うことができます。

「高度な印刷設定について」99 ページ

④ **用紙種類**

使用する用紙の種類をポップアップメニューの中から選択します。

⑤ **インク**

インクの種類を選択します。印刷の目的に合わせて［カラー］か［黒］のどちらかをクリックします。

⑥ **現在の設定**

現在設定されている詳細な内容が表示されます。

⑦ **各種ボタン**

印刷 ボタン：設定した内容で印刷を開始するボタンです。

キャンセル ボタン：設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。

ユーティリティ ボタン：「EPSON プリンタウインドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するためのダイアログを表示するボタンです。

「ユーティリティの使い方」119 ページ

レイアウト ボタン：印刷機能を設定するためのボタンです。

「便利な印刷機能について」106 ページ

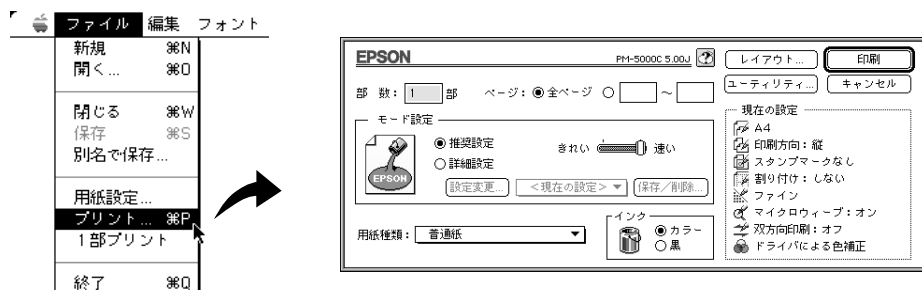
? ボタン：ヘルプ情報を表示するボタンです。

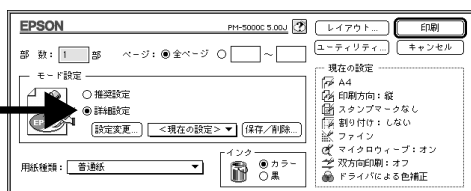
高度な印刷設定について

ここでは、高度な印刷設定（詳細設定）の設定方法や設定項目について説明します。

設定の手順

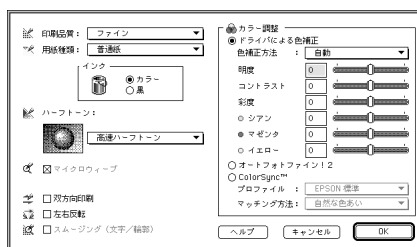
Mac

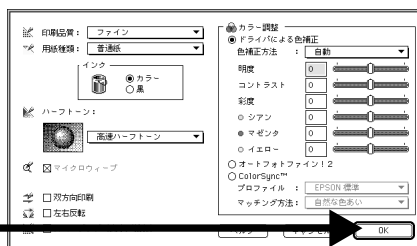
1 **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

2 **「モード設定」で「詳細設定」を選択します。**

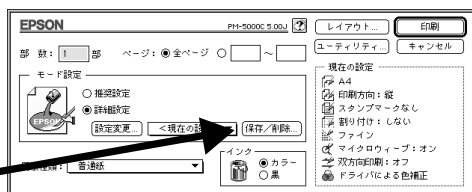
選択します

3 **設定変更 ... ボタンをクリックして、詳細設定ダイアログを開きます。**

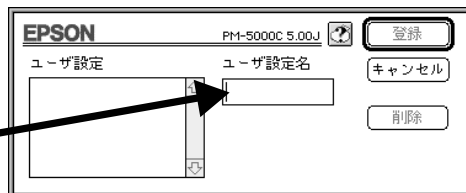
クリックします

4 **ダイアログ内の各項目を設定します。各項目の内容は「詳細設定ダイアログ」を参照するか、ヘルプ ボタンをクリックしてください。**

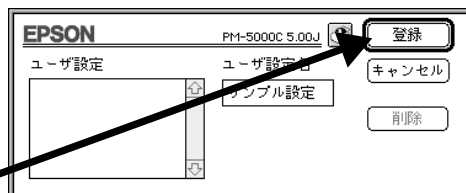
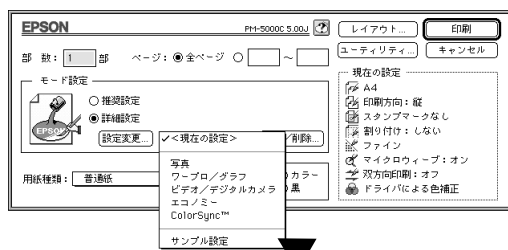
☞**「詳細設定ダイアログ」**101ページ

5 **OK ボタンをクリックして、印刷ダイアログに戻ります。**

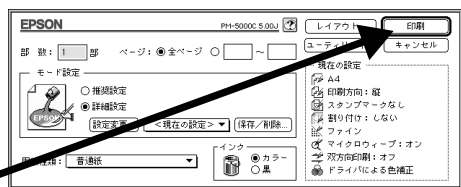
クリックします

6

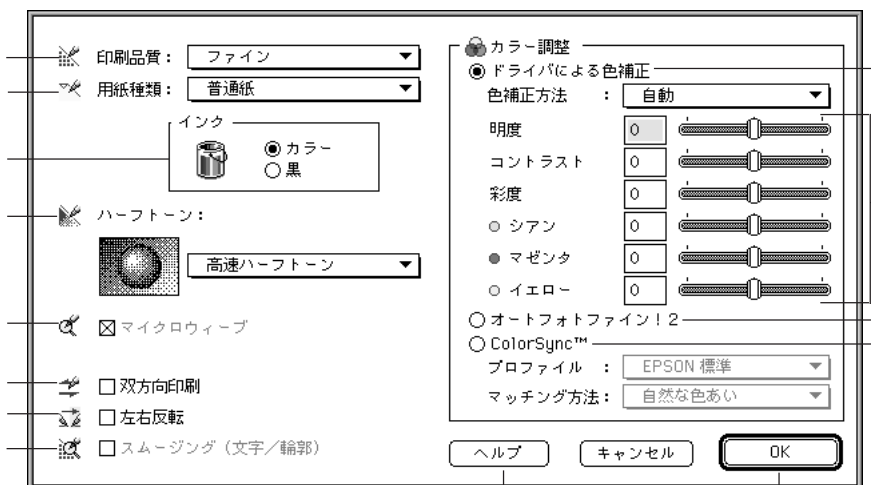
設定内容を保存する場合は、
保存 / 削除 ... ボタンをクリックします。

7

表示されたダイアログに、任意の名称を入力します。

「ユーザ設定」のリストの中から特定の設定名を選択して 削除 ボタンをクリックすると、登録されている設定を削除することができます。

8

登録 ボタンをクリックして、印刷ダイアログに戻ります。

ここで保存した内容は、印刷ダイアログで「詳細設定」を指定したときに、ポップアップメニューから呼び出すことができるようになります。

9

印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。

詳細設定ダイアログ

ダイアログ内の各項目は、「印刷品質」「用紙種類」「ハーフトーン」「インク」の組み合わせにより、設定変更できない場合があります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

① 印刷品質

印刷する解像度をポップアップメニューから選択します。

「ドラフト」	：	本機では選択できません。
「ファイン」	：	ファイン（解像度：360DPI）で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良く、日常的に印刷する場合には最も適した印刷です。
「スーパーファイン」	：	スーパーファイン（解像度：720DPI）で印刷します。
「フォト」	：	フォト（解像度：1440DPI × 720DPI）で印刷します。印刷時間はかかりますが、最も高い品質で印刷できます。

② 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。
［印刷品質］で指定した解像度により、選択可能な用紙種類が異なります。

③ インク

インクの種類を選択します。印刷の目的に合わせて［カラー］か［黒］のどちらかをクリックします。

④ **ハーフトーン**[*1]

ハーフトーン処理の方法をポップアップメニューから選択して、中間色の印刷方法を指定します。［印刷品質］と［インク］の設定により選択可能な項目が異なります。

「なし」　：　ハーフトーン処理をしません。グレースケールや中間調を表現できないので、濃淡や階調のない画像になります。
［インク］で「カラー」を選択した場合は選択できません。

［スクリーン］　：　本機では選択できません。

「高速ハーフトーン」　：　処理速度を重視したハーフトーン処理を行って印刷します。「高画質ハーフトーン」を選択したときよりも印刷スピードが速くなります。

「高画質ハーフトーン」　：　写真やグラデーションなど階調（色調）のある画像を表現するのに適しており、細かい部分まで表現できます。

⑤ **マイクロウィーブ**

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現できる機能です。

「スーパー」　：　フォト印刷時に、さらに高精細に印刷する場合にチェックします。印刷時間は長くなります。

⑥ **双方向印刷**

このチェックボックスをオンにすると、プリントヘッドが左右どちらへ移動するときにも印刷します。より高速に印刷できますが、印刷品質は多少低下します。

⑦ **左右反転**

左右を反転させて印刷する場合に、このチェックボックスをオンにします。

⑧ **スムージング（文字 / 輪郭）**

テキストデータや線画の輪郭を、なめらかに印刷します。印刷時間は多少長くなります。

*1 ハーフトーン　：　色の階調表現。

⑨ ドライバによる色補正

「色補正方法」の中から選択した設定内容に従い、印刷する書類の色バランスを整えます。
ポップアップメニューからは、次の 4 項目が選択できます。
通常は「自動」を選択してください。

「自動」 ： 文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします。通常は、この設定でご使用ください。ただし、データを解析しながら印刷しますので、印刷時間が長くなる場合があります。

「自然な色あい」 ： より自然な発色状態になるように色処理を行います。

「あざやかな色あい」 ： 彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。

「色補正なし」 ： ドライバによる色補正を行いません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。

⑩ 各スライドバーについて

ポップアップメニューの下にある6つのスライドバーを調整することにより、お好みに合わせて色バランスを変更することが可能です。

☞**巻頭カラーページ「イメージ補正」**（10）ページ
「カラーコントロールの調整」（11）ページ

オートフォトファイン!2/ColorSync™ を選択したときは設定できません。

「明度」 ： 画像の明るさをスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を 0 として、－ 25 ～ 25% の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。明度は画像全体の明るさを調整しますので、全体的に暗いものや明るいものに対して有効です。

「コントラスト」 ： 画像の明暗比をスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を 0 としてー 25 ～ 25% の間です。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。明暗の差をはっきりさせたいときや、逆に明暗の差をなくしたいときに有効です。

*1 オブジェクト： 対象物。

「彩度」　：画像の彩度（色のあざやかさ）をスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として－25～25%の間です。彩度を上げると、色みが強くなります。逆に彩度を落とすと、色みが無くなり、無彩色化されてグレーに近くなります。色をはっきりとさせたいときや、逆に色みを落としたいときに有効です。
［インク］で「黒」を選択した場合は調整できません。

「シアン」
「マゼンタ」
「イエロー」　：それぞれの強さだけをスライドバーで調整できます。
調整範囲は、標準を0として、－25～25%の間です。
「インク」で「黒」を選択した場合は調整できません。

	＜－＞←　0　→＜＋＞	
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑪　オートフォトファイン!2　- カラー印刷の場合のみ -

ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhotoCDのデータなどを自動的に補正して印刷したい場合に選択します。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータに最適な補正を加え、高画質化して印刷します。ただし、画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が長くなります。
詳細な説明と印刷サンプルを巻頭カラーページに掲載してありますので、参照してください。
☞**巻頭カラーページ「オートフォトファイン!2」**（8）ページ

⑫　ColorSync™ - カラー印刷の場合のみ -

ColorSyncによるカラーマッチングを行います。
「プロファイル[*1]」と「マッチング方法」を各ポップアップメニューから選択します。
「プロファイル」のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。
通常は「EPSON標準」を選択してください。

「EPSON標準」　：本機からの印刷用に最も最適化されたプロファイルです。
「その他」　：通常は選択することができません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。通常の印刷では「EPSON標準」以外を選択する必要はありません。

*1 プロファイル：色補正データが記録されているファイル。

「マッチング方法」のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。

「自然な色あい」 ： より自然な発色状態になるように処理を行います。写真などの印刷に適しています。

「あざやかな色あい」 ： 画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。グラフや図表などの印刷に適しています。

「特定色マッチ」 ： 特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色ができる限り正しく印刷されるような色処理を行います。

- **色合わせについての説明を巻頭カラーページに掲載してありますので、参照してください。**
  ☞巻頭カラーページ「より高度な色合わせについて」（12）ページ
- **ColorSyncについての詳細は、「ColorSync 2.0について」を参照してください。**
  ☞「ColorSync 2.0について」111ページ

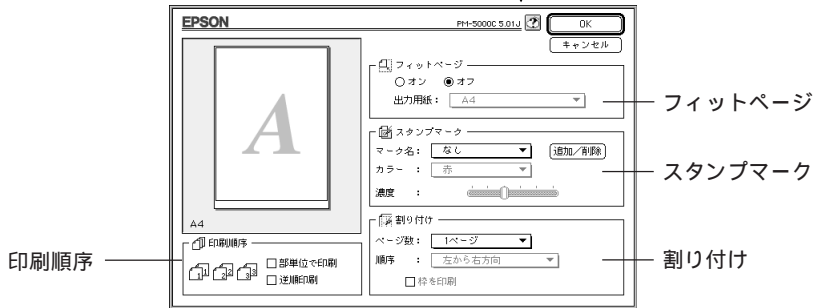
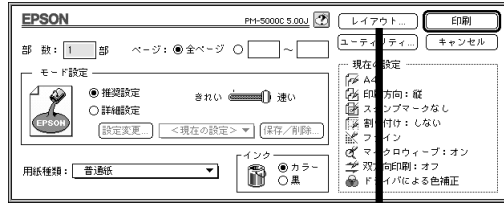
⑬ 各種ボタン

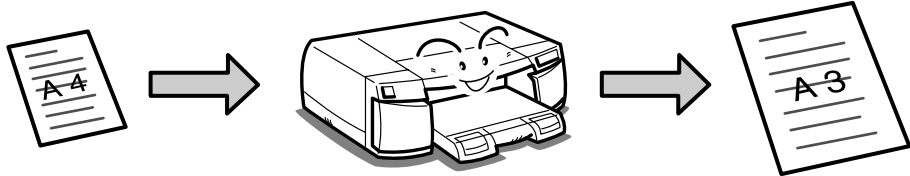
[OK] ボタン ： 設定した内容を有効にして［印刷］ダイアログに戻ります。

[キャンセル] ボタン ： 設定した内容を無効にして［印刷］ダイアログに戻ります。

[ヘルプ] ボタン ： ヘルプ情報を表示するボタンです。

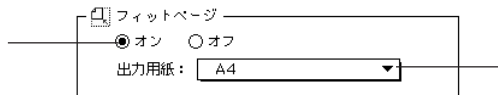
便利な印刷機能について

付属のプリンタドライバには、さまざまな印刷機能があります。印刷ダイアログの レイアウト ボタンをクリックして、「レイアウト」ダイアログを開き、設定します。

フィットページ

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小を行います。

① 用紙設定ダイアログで設定したA4サイズの印刷データ

② フィットページ機能を使用して A3 サイズの用紙をセット

③ 自動的に倍率を設定し、A3 サイズで出力します。

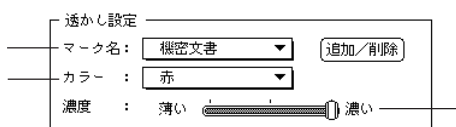
フィットページ
① ◉オン ○オフ
出力用紙： A4 ②

① オン / オフ　：　フィットページ機能を使用する場合はオンをチェックしてください。

② 出力用紙　：　ポップアップメニューの中からプリンタにセットした用紙を選択します。

ポイント

- **カラーページ印刷時に拡大/縮小印刷を行うとカラーの色合いが変わることがあります。カラー印刷は等倍（100%）で印刷することをお薦めします。**
- **割り付け印刷時は、フィットページ印刷はできません。**
- **印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合がありますのでご注意ください。**

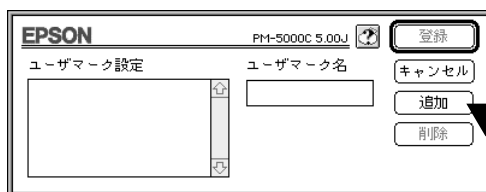
スタンプマーク

印刷データに「㊙」などのイメージを重ね合せて印刷します。

① **マーク名**　：マークをポップアップメニューから選択します。追加/削除ボタンをクリックすると、新たに作成したマーク（PICT画像ファイル）の登録または削除ができます。
登録できるファイルの最大サイズは1MByteです。（最大登録数10）

② **カラー**　：マークの印刷カラーが選択できます。ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。

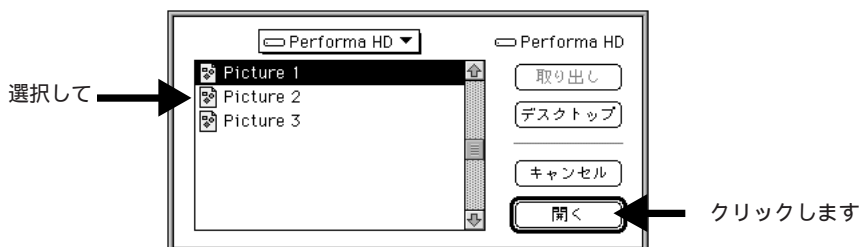
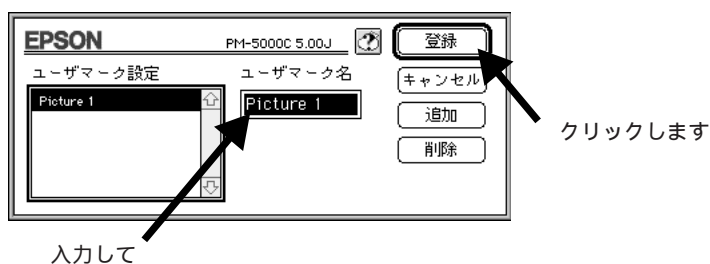
③ **濃度**　：印刷する際のマークの濃さを調整できます。

オリジナルマークの登録方法

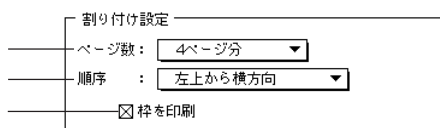
1 **［レイアウト］ダイアログを開き 追加 / 削除 ボタンをクリックします。**

2 **追加 ボタンをクリックします。**

Mac

便利な印刷機能について

3 アプリケーションソフトなどで作成した画像ファイル（PICT ファイル）を選択し、開く ボタンをクリックします。

4 必要があれば名称を入力して、登録 ボタンをクリックします。

これでオリジナルマークがポップアップメニューに加わりました。

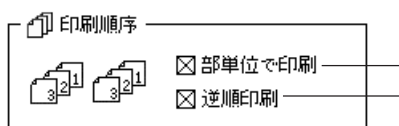
割り付け

2 ページまたは 4 ページを、1 ページにまとめて印刷できます。

① ページ数　：１枚に割り付けるページ数を設定します。
② 順序　：割り付ける順序を設定します。
③ 枠　：チェックボックスをチェックすると､割り付けたページに枠線を引きます。

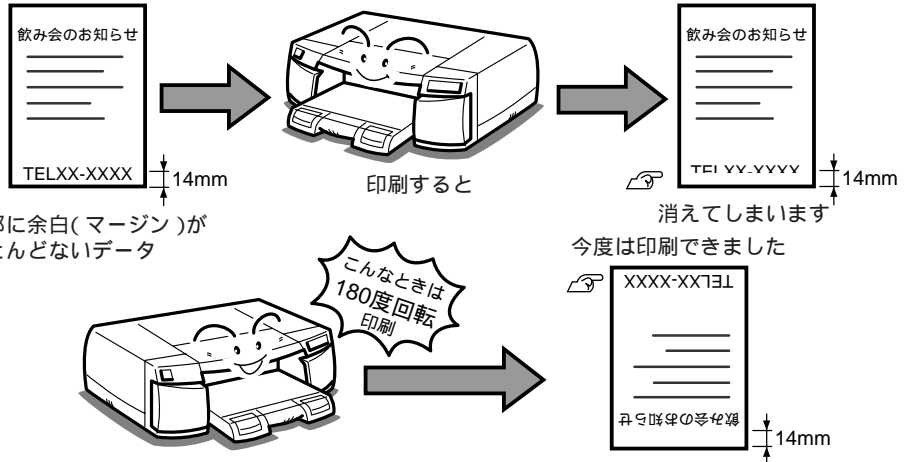
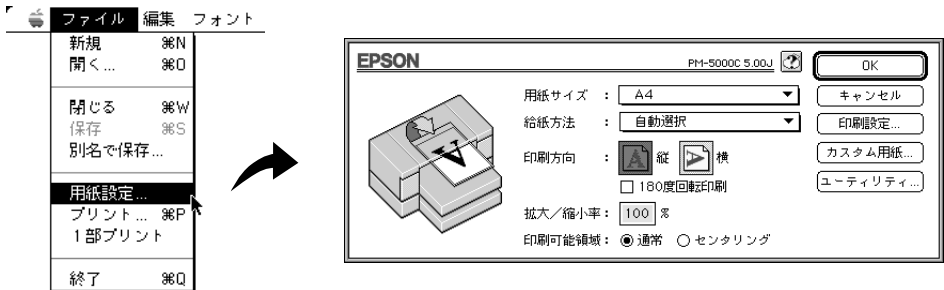
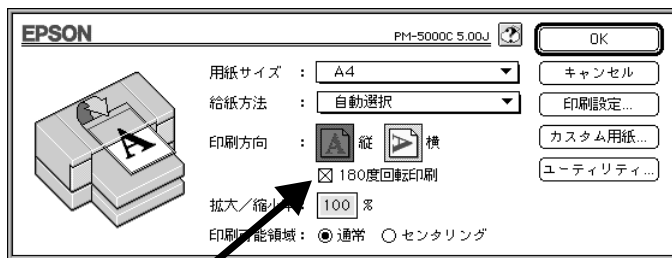
ポイント

- **フィットページ（拡大 / 縮小）印刷をする場合は、ご利用できません。**
- **印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると､レイアウトが変わる場合がありますのでご注意ください。**

印刷順序

同じ印刷データを複数枚印刷する際の印刷順を設定します。

①「部単位で印刷」　：１部ずつ指定した部数を印刷します。
②「逆順印刷」　：最終ページから印刷します。

180 度回転印刷

本プリンタは紙送りの機構上、印刷データの下部に 14mm の余白が必要です。180度回転させて印刷することにより下部の余白を3mmにして印刷することができます（ただし上部の余白が 14mm になります）。

1 ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。

2 ［180度回転印刷］をチェックします。

ColorSync 2.0 について

本機のプリンタドライバは、ColorSync 2.0 に対応しています。

ColorSyncとは

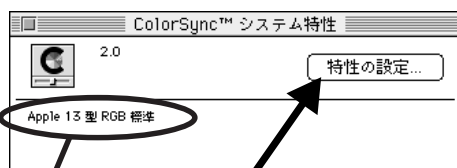
スキャナ・ディスプレイ・プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデル毎に異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。
例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは、ディスプレイの表示色に合わせて印刷をしているわけではないので、ディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。
これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の 1 つが ColorSync と呼ばれるものです。

- **原画と印刷結果の色合わせを行うためには、画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトがColorSyncに対応している必要があります。スキャナなどから画像を取り込む際に ColorSync の指定ができる場合は、指定してください。**
- **巻頭カラーページにカラーマッチングについての説明を記載しておりますのであわせてご覧ください。**
  ☞巻頭カラーページ「より高度な色合わせについて」（12）ページ

ColorSyncを使用するときの準備作業

ColorSync を使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

1 コントロールパネル内の「ColorSync™ システム特性」アイコンをダブルクリックします。

2 ご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、特性の設定... ボタンをクリックします。

③ お使いのディスプレイタイプを一覧の中から選択し、選ぶ ボタンをクリックします。

ディスプレイタイプが一覧の中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合わせください。

新しいシステム特性ファイルを選ぶ：
ColorSync™ 特性
KNIGHT MAST...
Apple 12 型 RGB 標準
Apple 13 型 RGB 標準
Apple 16型RGBページホワイト
Apple 16 型 RGB 標準
Apple 21型RGBページホワイト
Apple 21 型 RGB 標準
Apple Performa Display
取り出し
デスクトップ
キャンセル
選ぶ
Apple 12 型 RGB 標準

クリックします

以上で準備作業は終了です。

実際にColorSyncのカラーマッチングを使用して印刷をする場合は、プリンタドライバの詳細設定ダイアログで「ColorSync™」を選択して印刷を実行してください。

☞**「詳細設定ダイアログ」**101 ページ

ポイント

- **ColorSyncを使用して色合わせを行う場合は、RGBの画像データを使用してください。CMYK、Labなどのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。**
- **ColorSyncを使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、次の理由が考えられます。**
  1）ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）が正しく行われていない。
  2）ディスプレイの経年変化（劣化）により、色表示にズレが生じている。
  このような場合は、巻頭カラーページのカラーマッチングについての記載を参照して、印刷した結果に合わせるようにディスプレイの調整（モニタキャリブレーション）を行ってください。
  ☞「より高度な色合わせについて」（12）ページ
- **一部のアプリケーションソフトウェアでは、ソフトウェア上でColorSyncの設定が行えます（AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J、Illustrator7.0Jなど）。ソフトウェア上でColorSyncの設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、［ドライバによる色補正］-［色補正なし］を指定してください。**

バックグラウンドプリントについて

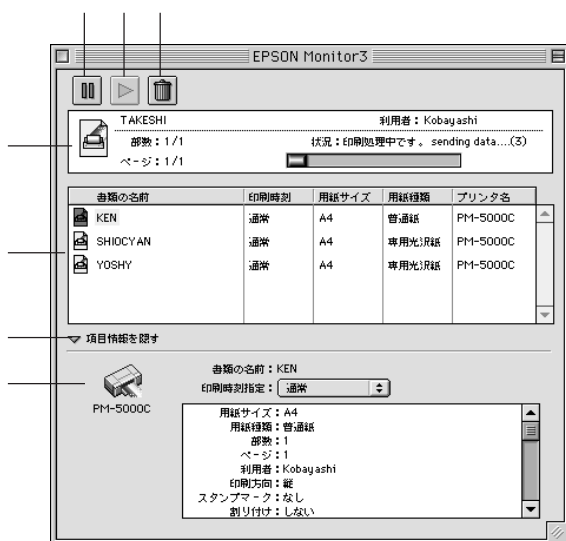
本機のプリンタドライバは印刷時にEPSON Monitor3を使用し、印刷作業をバックグラウンドで行うことができます。

バックグラウンドプリントとは

プリンタで印刷が行われている間、Macintoshで他の作業ができないのは不便です。このような時、印刷データをいったんEPSON Monitor3に送ると、EPSON Monitor3はソフトウェアの作業とは別に印刷作業を「バックグラウンド」で行い、印刷中でもMacintoshを他の作業に使えるようにします。
このような印刷方法をバックグラウンドプリントといいます。
バックグラウンドプリントの設定は、セレクタで「バックグラウンドプリント」を「入」にします。
☞**セットアップガイド「Macintosh側で行う印刷の準備」**49ページ

バックグラウンドプリントを指定すると、Macintoshはソフトウェアの作業と印刷作業とを並列に処理します。このため、処理速度の遅いCPUを搭載しているMacintoshなどでは、マウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷されるまでに時間がかかるようになる場合があります。

EPSON Monitor3の機能

EPSON Monitor3は、バックグラウンドで印刷作業を行うほかに、書類を印刷する順番も管理しています。そのため、現在印刷している書類はもちろんのこと、これから印刷される書類を確認したり、印刷を中止することができます。
EPSON Monitor3は、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから＜EPSON Monitor3＞を選択すると、ウインドウを開くことができます。
印刷していないときは、機能拡張フォルダにある＜EPSON Monitor3＞アイコンをダブルクリックすることで開くことができます。

①「II」	：印刷中の書類、または印刷待ちの書類を保留状態にします。
②「▶」	：保留状態を解除します。
③「🗑」	：印刷中の書類、または印刷待ちの書類を削除します。印刷中の書類を選択した場合は、印刷停止確認ダイアログが開きます。
④ 状態表示部	：印刷中の書類の名称や進行状況などを表示します。
⑤ スプールファイルリスト	：印刷待ちの書類を表示します。
⑥「項目情報を隠す / 表示」	：項目情報（画面下部の表示）の表示 / 非表示を切り替えます。
⑦ 項目情報	：選択した書類の名称などを表示します。「印刷時刻指定」のポップアップメニューの中から「至急」「通常」「保留」を選択することができます。「至急」を選択すると他の印刷データより優先的に印刷します。

印刷の中止方法

何らかの理由により、文字化けなどが発生して印刷を中止する場合の手順について説明します。

バックグラウンドプリント使用時の場合

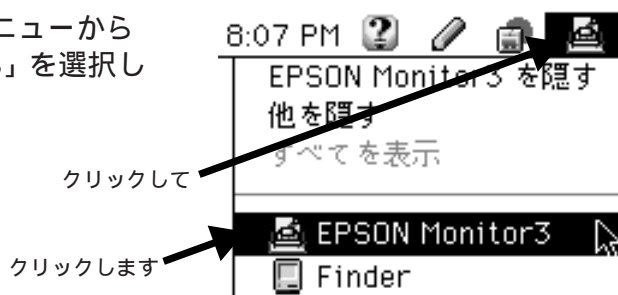
バックグラウンドプリントで印刷作業を行っている場合は、次の手順で中止してください。

Mac

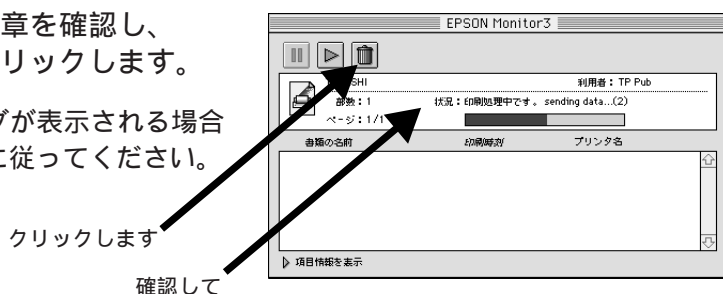
1 プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの 電源 スイッチをオフにします。印刷中の用紙は排紙されます。

2 アプリケーションメニューから「EPSON Monitor3」を選択します。

8:07 PM
EPSON Monitor3 を隠す
他を隠す
すべてを表示
①クリックして
EPSON Monitor3
Finder
②クリックします

3 印刷中の印刷文章を確認し、ボタンをクリックします。

画面にダイアログが表示される場合は、画面の指示に従ってください。

EPSON Monitor3
利用者：TP Pub
部数：1
状況：印刷処理中です。sending data...(2)
ページ：1/1
書類の名前
印刷時刻
プリンタ名
項目情報を表示
②クリックします
①確認して

これで印刷が正常に中止されます。文字化けなどの原因を解明した後、再度、印刷を実行してください。

印刷の中止方法

バックグラウンドプリント未使用時の場合

バックグラウンドプリントで印刷作業を行っていない場合は、次の手順で中止してください。

1 プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの 電源 スイッチをオフにします。印刷中の用紙は排紙されます。

2 画面のメッセージに従って処理を進めます。

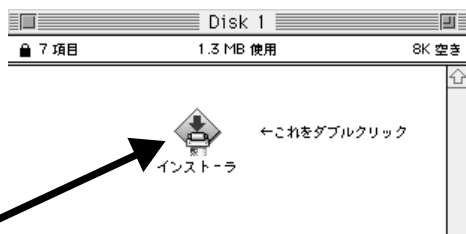
これで印刷が正常に中止されます。文字化けなどの原因を解明した後、再度、印刷を実行してください。

プリンタドライバの削除

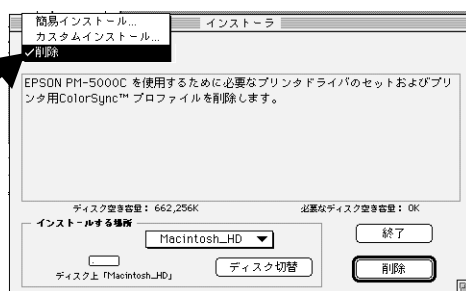
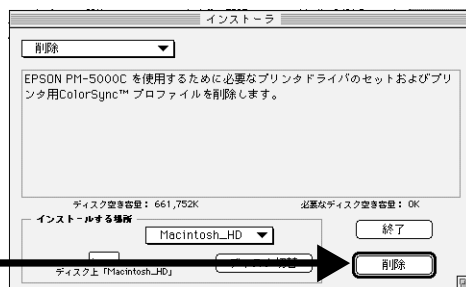
プリンタドライバを削除する場合は、次の手順で行ってください。

1 **Macintoshを起動した後、「プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」をセットします。**

フロッピーディスクをお使いのお客様は、Macintosh用ディスクをセットします。

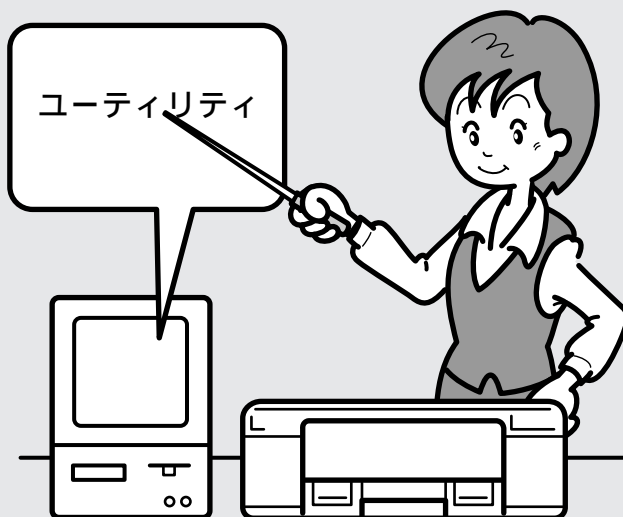
2 **「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。**

インストーラが起動します。

3 **開始画面で 続行 ボタンをクリックします。**

4 **ポップアップメニューから［削除］を選択します。**

5 **削除 ボタンをクリックします。**

クリックします

プリンタドライバの削除が実行されます。

ユーティリティの使い方

Win 95/NT4.0
Win 3.1/NT3.51
Mac

ここでは、各種ユーティリティの使い方とその内容について説明しています。

EPSON プリンタウィンドウ!2（Windows95/NT4.0）

EPSONプリンタウィンドウ!2は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージやインク残量などを表示できるユーティリティです。常時起動させておけば、プリンタのエラーなどをお使いのコンピュータ上で知ることができます。

動作環境

対象機種

● IBM PC-AT 互換機（双方向通信機能[*1] のある機種）
● NEC PC-9821 シリーズ（双方向通信機能[*1] のある機種）[*2]

*1 お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが、双方向通信機能に対応しているかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。
*2 ケーブルは「PRCB5N」を使用してください。

EPSONプリンタウィンドウ!2は、コンピュータに標準装備されているパラレルインターフェイスの双方向通信機能をサポートし、Windows95 / NT4.0 が動作する IBM PC 互換機、NEC PC シリーズであれば使用できます。お使いのコンピュータの機種によりプリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。

注 意

NECのPC-9821シリーズをお使いの場合、WindowsNT4.0でのローカルプリンタの監視ができません。

ポイント

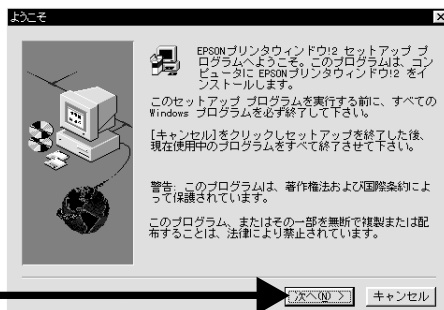
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **EPSONプリンタウィンドウ!2 に関する最新情報が EPSON フォルダの「EPSONプリンタウィンドウ!2 Readme」に記載されています。内容を確認してください。**

プリンタポート

接続ポートは「LPT1」を使用してください。

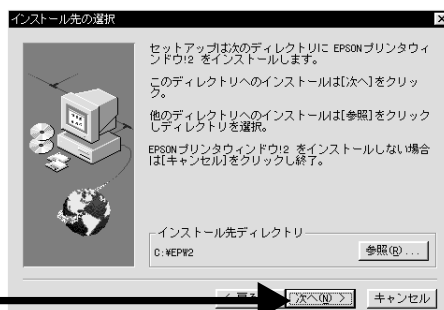
インストール

「EPSONプリンタウィンドウ!2」は、プリンタドライバのインストール終了後、引き続きインストールされます。
☞**セットアップガイド「Windows95/NT4.0でのインストール」**27ページ

プリンタドライバのインストール終了後❶の画面が表示されたら、次の手順に従ってインストールを進めてください。

1 次へ ボタンをクリックします。

2 次へ ボタンをクリックします。

インストール先のディレクトリを変更する場合は 参照 ボタンをクリックし、ディレクトリを選択してください。

> **EPSONプリンタウィンドウ!2がすでにインストールされている状態で再度インストールを実行した場合、この画面は表示されません。**

3 監視するプリンタを選択し、次へ ボタンをクリックします。

NetWareがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

ポイント

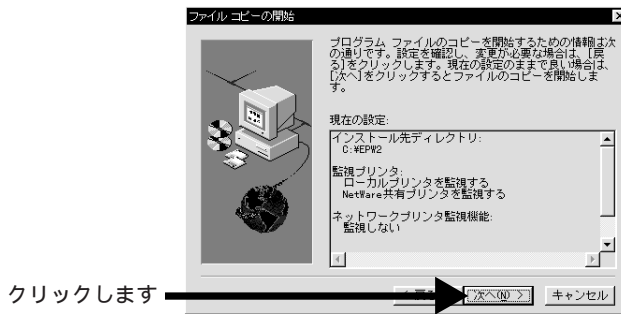
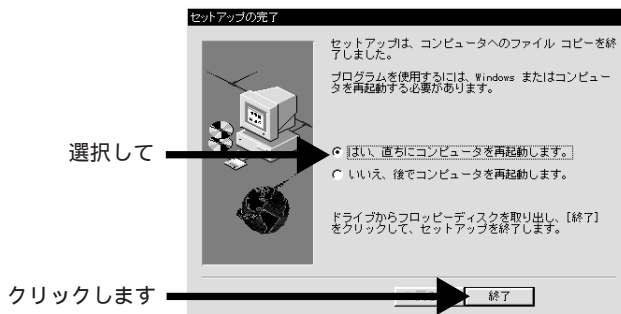
- 「ローカルプリンタを監視する」
  パソコンとプリンタを直接接続する形態を「ローカル接続」と呼び、ローカル接続されたプリンタをローカルプリンタと呼びます。ここでは、ローカルプリンタを監視するかどうかの設定を行います。
- 「NetWare共有プリンタを監視する」
  ネットワーク上にプリンタを接続して共有する形態を「ネットワーク接続」と呼び、その共有されたプリンタを監視するかどうかの設定を行います。
  「ネットワーク接続」を行うためにはインターフェイスカード（PRIF8S/PRIF12）が必要です。詳細は、インターフェイス（オプション）に添付の取扱説明書を参照してください。

4 NetWare共有プリンタを監視するための設定です。通常は変更しないでください。次へ ボタンをクリックします。

- 設定を変更する場合は、必ずネットワーク管理者に相談の上変更してください。
- NetWareがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

注意

NetWareを使用しているお客様でネットワークの中にダイヤルアップルータなどがある場合に、回線接続がされ課金される恐れがあります。最大ホップ数を変更する場合は、以上のことに十分ご注意ください。

5 設定した項目を確認して、次へ ボタンをクリックします。

6 「はい」を選択して、終了 ボタンをクリックします。

コンピュータが再起動します。

単独でインストールする場合

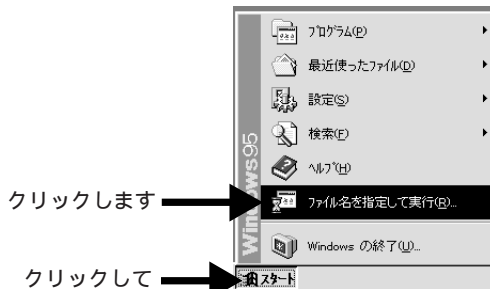
- ネットワーク接続をしている場合は、オプションのインターフェイスカード（PRIF8S）に添付されているEPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしてください。本機に付属のEPSONプリンタウィンドウ!2ではネットワーク対応をしていません。
  インストールの詳細はインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。
- WindowsNT4.0の場合、ローカルマシンの管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンする必要があります。

1 「プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」をコンピュータにセットします。

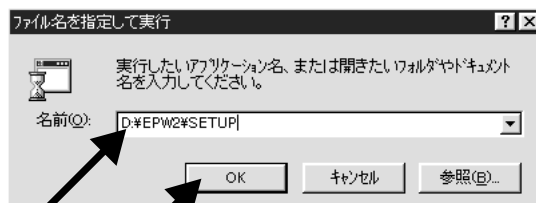
フロッピーディスクをお使いのお客様は「EPSONプリンタウィンドウ!2セットアップディスク 1」をセットします。

CD-ROMでインストールする場合以下の画面が表示されます。
終了 ボタンをクリックして2へ進みます。

EPSON この度は、エプソン製品を御利用いただきありがとうございます。 以下の中から必要な作業をお選びください。
ドライバ・ユーティリティのインストール
ドライバ・ユーティリティのアンインストール
ドライバ・ユーティリティ セットアップディスク作成
クリックします → 終了
Version 1.50
Copyright(C) 1997 SEIKO EPSON CORPORATION. All Rights Reserved.

2 画面左下の スタート ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

3 CD-ROMまたはフロッピーディスクをセットしたドライブ名と実行コマンドを半角文字で入力し、OKボタンをクリックします。

CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	実行コマンド	セットしたドライブ	実行コマンド
Dドライブ Eドライブ :	D:\EPW2\SETUP E:\EPW2\SETUP :	Aドライブ Bドライブ :	A:\SETUP B:\SETUP :

<画面はCD-ROMをDドライブにセットした場合>

4 このあとは、121ページの「EPSONプリンタウィンドウ!2のインストール」の手順に従ってインストールを進めます。

ポイント

「EPSONプリンタウィンドウ!2」をインストールすると「EPSONプリンタウインドウ」は上書きされ、スタートアップフォルダから削除されます。

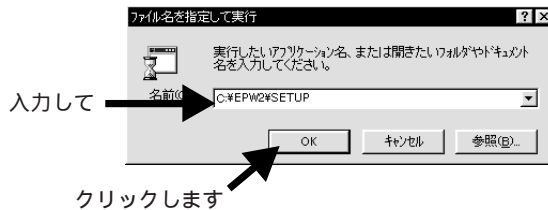
注 意

「EPSONプリンタウィンドウ!2」がインストールされている状態で、お使いのプリンタ(PM-5000C)以外のEPSON製のプリンタドライバをインストールすると「EPSONプリンタウィンドウ!2」が正常に動作しなくなる場合があります。このようなときは「単独でインストールする場合」の手順に従って再度インストールしてください。

初期設定を変更する場合

インストール時に設定した情報を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **「ファイル名を指定して実行」画面を開き、EPSONプリンタウィンドウ!2 をインストールしたドライブ名と実行コマンドを半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。**

<画面は EPSON プリンタウィンドウ!2 を C ドライブにインストールした場合>

ポイント

「EPW2」以外のディレクトリにEPSONプリンタウィンドウ!2をインストールした場合は、「EPW2」の代わりにインストールしたディレクトリ名を入力してください。
C ドライブにインストールした場合→
C:\ インストールしたディレクトリ名 \ SETUP

2 **このあとは、画面の指示に従って設定を変更します。**

お使いになる前に

EPSONプリンタウィンドウ!2は、双方向通信機能を利用して動作するユーティリティです。
Windows95でお使いの場合は、EPSONプリンタウィンドウ!2を使用する前にWindows95 の設定を確認する必要があります。

1 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定」にカーソルを合わせます。次に「プリンタ」をクリックします。**

「プリンタ」フォルダが表示されます。

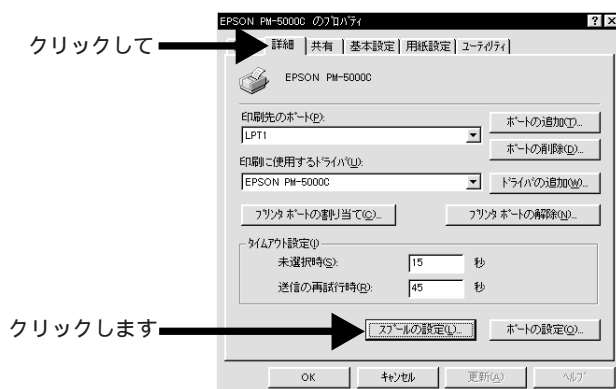
2

PM-5000Cのアイコンをクリックし、「ファイル」メニュー内の「プロパティ」をクリックします。

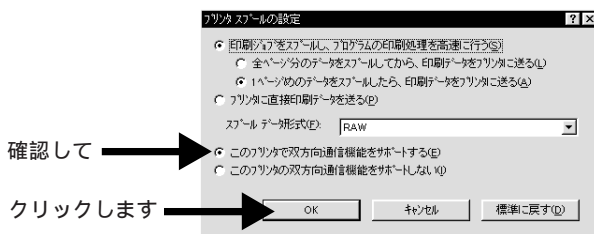
「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3

「詳細」タブをクリックし、スプールの設定 ボタンをクリックします。

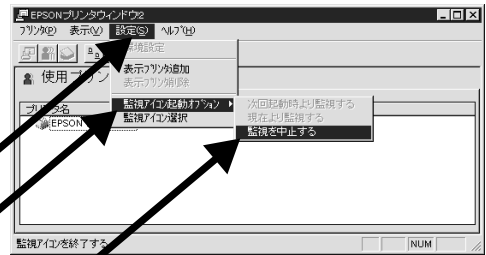
「プリンタスプールの設定」ダイアログボックスが表示されます。

4

「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていることを確認し OK ボタンをクリックします。

「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」が選択されていない場合は、クリックして選択します。これでWindowsの設定は終了です。

停止の方法

EPSONプリンタウィンドウ!2は、監視アイコンによって監視設定したプリンタに対して常時監視を行います。プリンタの監視を停止する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **タスクバーの右端にあるプリンタの形をした「監視」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「設定メニュー」をクリックし、「監視アイコン起動オプション」にカーソルを合わせて「監視を中止する」をクリックします。**

①クリックし
②カーソルを合わせて
③クリックします

3 **プリンタメニュー をクリックし「閉じる」をクリックします。**

- 監視アイコンにカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックし、「監視を中止する」をクリックすることにより監視アイコンを停止させることもできます。
- 監視を中止したあとで、再度監視を行う場合は「次回起動時より監視する」または「現在より監視する」をクリックします。監視を停止するとタスクバーの監視アイコンが消去されますので、再起動する場合は「操作手順」(130ページ)の手順に従ってスタートメニューから起動してください。

削除の方法

「EPSONプリンタウィンドウ!2」を削除する場合は、次の手順に従ってください。

ポイント

他のソフトウェア（ウイルス検知プログラムなど）が起動している場合は、各ソフトウェア取扱説明書を参照のうえ停止させてから削除を行ってください。

1 **「停止の方法」（128ページ）に従ってEPSONプリンタウィンドウ!2を停止させます。**

2 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせます。次に「コントロールパネル」をクリックします。**

3 **「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。**

ダブルクリックします

4 **「EPSONプリンタウィンドウ!2」をクリックし、追加と削除 ボタンをクリックします。**

①クリックして

②クリックします

5 **このあとは、画面の指示に従って作業を進めます。**

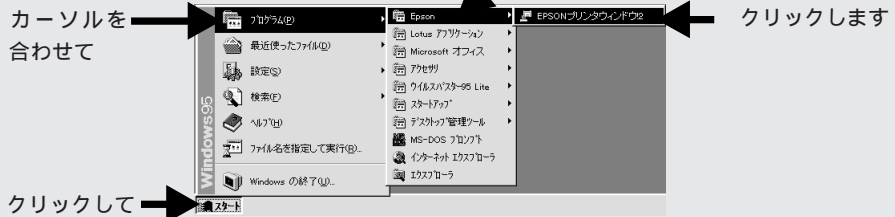
操作手順

ここでは「EPSONプリンタウィンドウ!2」の基本的な操作の手順について説明しています。

プリンタドライバのプロパティの画面でプリンタの印刷先を変更した場合は「停止の方法」（128ページ）の手順に従って停止させた後、再起動してください。

1 プリンタの 電源 スイッチをオンにし、タスクバーの右端にある「監視」アイコンをダブルクリックします。

ポイント

「EPSONプリンタウィンドウ!2」はスタートメニューからも起動できます。画面左下の スタート ボタンをクリックし、[プログラム] - [EPSON] にカーソルを合わせます。EPSONプリンタウィンドウ!2 をクリックします。

2 目的のプリンタをクリックして選択します。

表示された画面は「プリンタ一覧」ウィンドウです。ここでは設定されたプリンタの状態が表示されます。

☞**「プリンタ一覧ウィンドウ」** 132ページ

プリンタの詳細をみるには	環境を設定するには
「プリンタ詳細」アイコン をクリックします。	「環境設定」アイコン をクリックします。

3

「プリンタ詳細」アイコン をクリックします。

クリックします

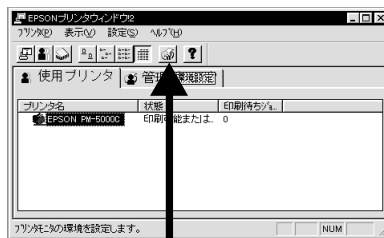
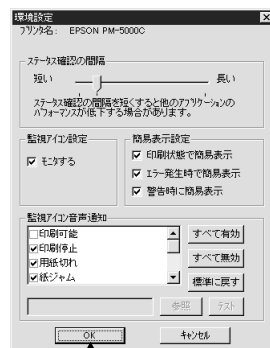
「環境設定」アイコン をクリックします。

クリックします

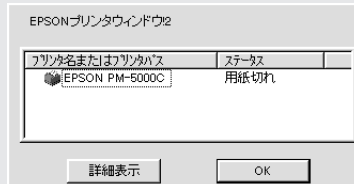
4

プリンタの詳細な状態を確認後、OK ボタンをクリックします。

クリックします

☞詳しくは 133 ページへ

環境設定後 OK ボタンをクリックします。

クリックします

☞詳しくは 136 ページへ

ポイント

環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、設定した条件時に「簡易表示」が表示されるようになります。この「簡易表示」からプリンタの詳細を確認することができます。確認の方法は 137 ページをご覧ください。

プリンター覧ウィンドウ

設定されたプリンタの状態を表示しています。カラーアイコンを使用していますので、色の変化によりプリンタの状態が一目で分かります。

① メニュー

プリンタ　　　：「プリンター覧」ウィンドウの中から選択したプリンタの「プリンタ詳細」、「ジョブ管理（Windows95のみ）」のウィンドウを開きます。

表示　　　　　：「プリンター覧ウィンドウ」の表示方法を設定します。「最新の情報に更新」をクリックすると、EPSONプリンタウィンドウ!2がプリンタの最新の状態をチェックして表示します。

設定メニュー：「環境設定」「表示プリンタの追加」「表示プリンタの削除」など動作環境の設定をします。また、監視アイコンの登録などもここで設定します。

ヘルプ　　　　：EPSONプリンタウィンドウ!2に関する説明を表示します。

② ツールバー

アイコンをクリックすることで各機能が実行されます。アイコンの上にポインタを移動させると、そのアイコンの機能が表示されます。

③「プリンタ名」「状態」「印刷待ちジョ…」

監視するプリンタが複数ある場合、各ボタンをクリックするとプリンタの表示順が変わります。

- **コンピュータに負担をかけるため、必要のない時は画面を閉じてください。**
- **プリンタドライバのプロパティシートにおいてプリンタの印刷先を変更した場合は「停止の方法」（128ページ）の手順に従って停止させたあと、再起動してください。**

④ **使用プリンタ**

コンピュータにインストールされているプリンタを表示します。

プリンタ名　：コンピュータにインストールされているプリンタの一覧を表示します。

状態　：コンピュータにインストールされているプリンタの状態を表示します。

印刷待ちプリンタジョブ数　：プリンタの印刷待ちの件数を表示します。

プリンタアイコン　：プリンタの状態を色で表示します。

色	説明
緑	印刷可能です。
黄	印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。
赤	印刷不可能です。プリンタに異常があります。
グレー	プリンタが監視できない状態です。

ポイント

通常接続しないプリンタは、コンピュータへの負担を軽減させるために「設定」メニューの「表示プリンタ削除」で削除しておいてください。このとき、プリンタドライバは削除されません。

プリンタの詳細をみるには

「ステータス詳細」シート

「ステータス詳細」シートでは、選択したプリンタの状態をチェックすることができます。またプリンタに問題のある時はその対処方法も表示されます。

① イメージアイコン　：プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② インクカートリッジ交換　：インクカートリッジの交換方法を表示します。交換の際は画面の表示に従って作業を進めてください。

③ ステータス表示ウインドウ　：選択したプリンタの詳細が表示されます。

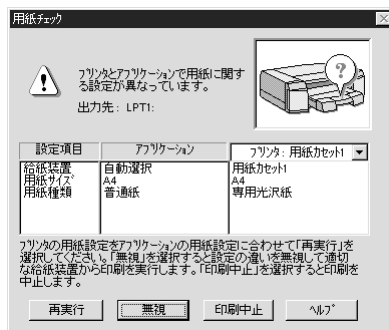
④ 対処方法ウインドウ　：プリンタに問題があるときの対処方法を表示します。

「消耗品情報」シート

① 用紙残量　：用紙カセットにセットされている用紙の種類、サイズ、残量を表示します。

② インク残量　：インクカートリッジごとのインク残量を表示します。

③ 印刷前の用紙チェック　：印刷する前に、用紙カセットのスイッチの設定（種類/サイズ）とプリンタドライバの設定が合っているかどうかをチェックします。□チェックボックスをクリックしてチェック印をつけると、用紙カセットのスイッチの設定とプリンタドライバの設定が異なる場合にエラーメッセージを表示します。

用紙カセットのスイッチの設定とプリンタドライバの設定が異なる場合は、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

用紙カセットのスイッチの設定をプリンタドライバの設定に合わせてから 再実行 ボタンをクリックしてください。また、設定が異なったまま強制的に印刷を実行する場合は、無視 ボタンをクリックします。

「プリンタ情報」シート

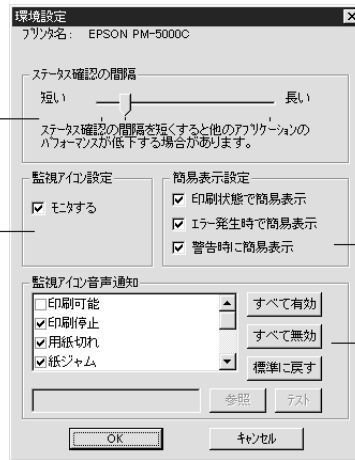
「プリンタ情報」シートでは、選択したプリンタの機能やオプション情報を表示します。

① **情報リスト**　：プリンタの情報、プリントサーバの情報など確認できる情報の一覧を表示します。ローカル接続の場合には、表示される情報がありません。

② **詳細ウインドウ**　：情報リストで選択された情報の詳細を表示します。

ローカル接続の場合、画面が変わるのに少し時間がかかることがあります。

環境を設定するには

ここでは、EPSONプリンタウィンドウ!2上における各プリンタの動作環境を設定します。

① ステータス確認の間隔　：コンピュータがプリンタの状態をチェックする間隔を設定します。（最短設定2秒：初期設定値10秒：最長設定60秒）

② 監視アイコンでの監視設定　：「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視が始まります。監視アイコンを停止している場合は選択できません。

③ 簡易表示設定　：監視アイコンから簡易表示を表示する場合の条件設定をします。簡易表示については137ページをご覧ください。

④ 監視アイコン音声通知　：プリンタの状態の□チェックボックスをクリックしてチェック印をつけると、「簡易表示」が表示されるときに音声でアナウンスする機能が有効になります。

ポイント

- **お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。**
- **プリンタの監視を停止している場合には、監視アイコン・簡易表示の設定はできません。「監視アイコンと簡易表示」（137ページ）の手順に従って監視アイコンの監視を開始してください。**

監視アイコンと簡易表示

環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視が開始されます。監視が開始されるとタスクバー上の監視アイコンの色が選択したプリンタの状況に応じて変化し、「簡易表示」が表示されます。

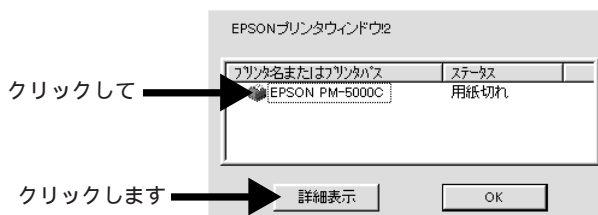
監視アイコン

選択したプリンタの状況に応じてアイコンの色が変化します。

緑	印刷可能です。
黄	印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。
赤	印刷不可能です。

- **監視アイコンを停止している場合は、監視アイコンと簡易表示機能はご利用になれません。「停止の方法」（128ページ）の手順で［現在より監視する］を選択して、環境設定（136ページ）の「監視アイコン設定」で「モニタする」をチェックしてください。**
- **監視アイコンにカーソルを合わせて、マウスの右ボタンをクリックすると、監視アイコンの設定が行えます。クリックして実行してください。**
  「手前に表示する」：簡易表示を開いているウィンドウの一番手前に表示します。
  「監視を中止する」：監視アイコンの監視を中止します。

簡易表示

環境設定で設定した条件時のみ「簡易表示」がトレイアイコン上部に表示されます。プリンタ名をクリックし、詳細表示 ボタンをクリックすると「ステータス詳細シート」が開きます。

☞「プリンタの詳細をみるには」133 ページ

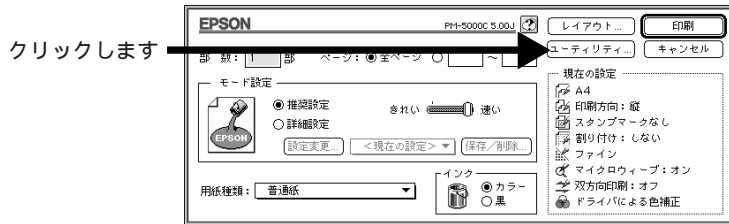
EPSON プリンタウインドウ（Macintosh）

EPSON プリンタウインドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを表示するユーティリティです。

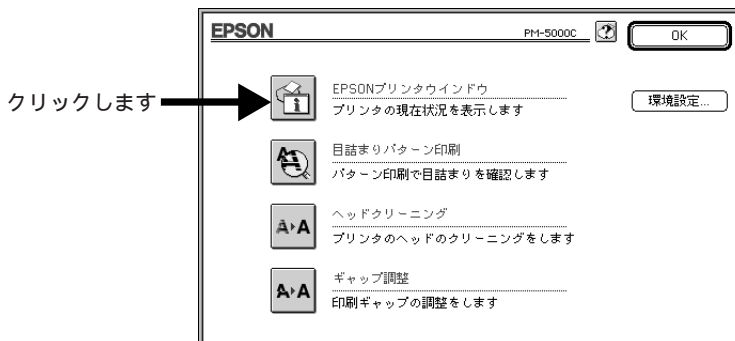
起動と設定

1 **プリンタドライバの印刷ダイアログを開きます。**

☞**「印刷の手順」** 97 ページ

2 **ユーティリティ ... ボタンをクリックします。**

3 **EPSONプリンタウインドウ ボタンをクリックします。**

プリンタのエラー状態を確認して、エラーが発生していない場合は、プリンタウインドウのダイアログを表示します。

ポイント

エラー表示などに関する環境設定を行う場合は 環境設定… ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウインドウ

環境設定

用紙カセットのスイッチの設定とプリンタドライバの設定が異なる場合は、以下のようなエラーメッセージが表示されます。

用紙カセットのスイッチの設定をプリンタドライバの設定に合わせてから 再実行 ボタンをクリックしてください。また、設定が異なったまま強制的に印刷を実行する場合は、無視 ボタンをクリックします。

目詰まりパターン印刷

目詰まりパターン印刷とは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。目詰まりパターンの印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、ヘッドクリーニングを行ってください。

目詰まりパターン印刷の手順は、Windows、Macintoshともに、ほぼ同じ手順でできます。以下の説明では、Windows95から実行する場合の画面を使用しています。

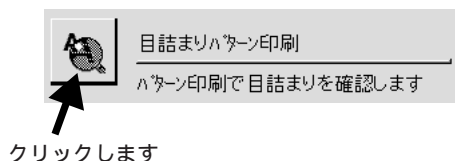
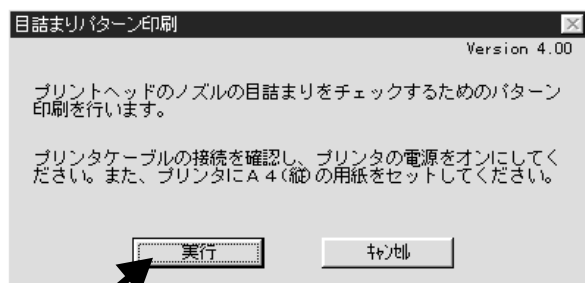
- **プリンタの［リセット］スイッチを押しながら［電源］スイッチをオンにしても目詰まりパターンが印刷できます。**
☞「目詰まりチェックパターン印刷」184ページ

1 「ユーティリティ」画面/ダイアログを開きます。

Windows　：　プリンタドライバの設定画面で「ユーティリティ」タブをクリックします。（59ページ）

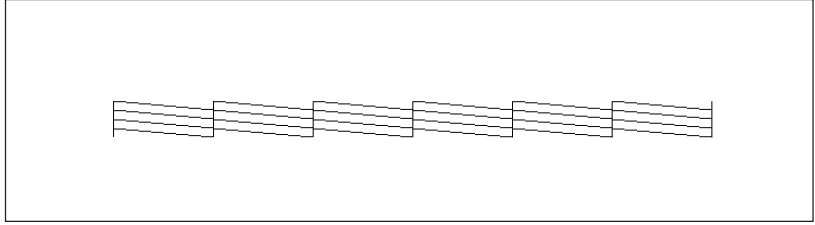
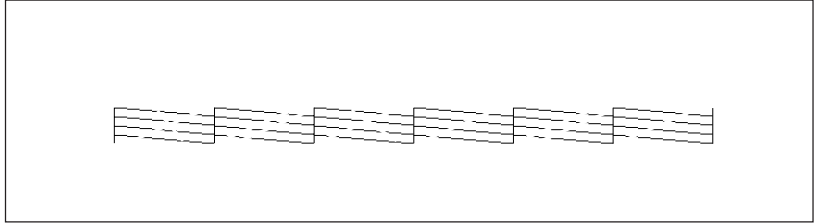
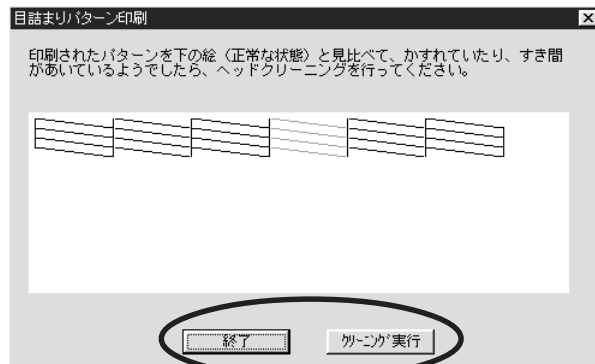
Macintosh　：　印刷ダイアログで［ユーティリティ...］ボタンをクリックします。（98ページ）

2 ［目詰まりパターン印刷］ボタンをクリックします。

［目詰まりパターン印刷］ダイアログボックスが表示されます。

3 プリンタの［電源］スイッチをオンにし、A4（縦）サイズの普通紙をプリンタにセットします。

4 ［実行］ボタンをクリックします。

5 印刷された目詰まりパターンの線がかすれたり消えていないかを確認します。

印刷サンプル<良い例>のように、チェックパターンが全て印刷されているか確認してください。

<良い例>

<悪い例>

6 確認の結果、問題がない場合は 終了 ボタンを、問題があった場合は クリーニング実行 ボタンをクリックします。

ヘッドクリーニング

クリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってクリーニングしてください。また、クリーニングをしたあとは、目詰まりチェックパターン印刷などを行って、印刷結果を必ず確認してください。

ポイント

- **ヘッドクリーニングは黒とカラーのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。**
- **クリーニングは、インクエンドランプの点滅または点灯時は行えません。そのような場合は、まずインクカートリッジを交換してください。**
  ☞「インクカートリッジを交換します」37 ページ
- **電源 スイッチをオフにせず印刷したあとでまだかすれたりするような場合は、そのまま再度クリーニングを実行すると、より強力なクリーニングが行われます。**

クリーニングは、ユーティリティで行うことも本体のパネル操作で行うこともできます。

ユーティリティでのクリーニング方法

ポイント

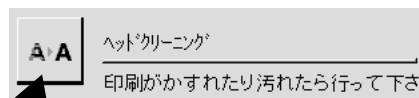
クリーニングの手順は、Windows、Macintosh ともに、ほぼ同じ手順でできます。以下の説明では、Windows95 から実行する場合の画面を使用しています。

1 「ユーティリティ」画面 / ダイアログを開きます。

Windows　：　プリンタドライバの設定画面で「ユーティリティ」タブをクリックします。(59 ページ)

Macintosh　：　印刷ダイアログで ユーティリティ ... ボタンをクリックします。(98 ページ)

2 ヘッドクリーニング ボタンをクリックします。

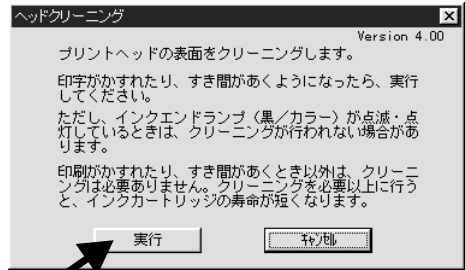
［ヘッドクリーニング］ダイアログボックスが表示されます。

クリックします

Win 95/NT4.0
Win 3.1/NT3.51
Mac

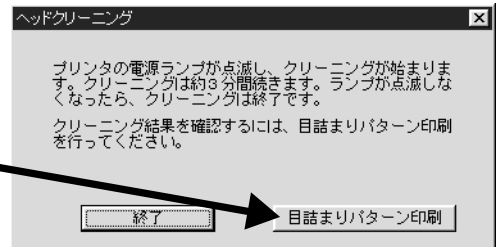
ヘッドクリーニング

3 **実行 ボタンをクリックします。**

プリンタの電源ランプが点滅し、クリーニングが実行されます。クリーニングは約3分間続きます。
電源ランプの点滅が点灯に変わり、音がしなくなったら、クリーニングは終了です。

ヘッドクリーニング
Version 4.00
プリントヘッドの表面をクリーニングします。
印字がかすれたり、すき間があくようになったら、実行してください。
ただし、インクエンドランプ（黒／カラー）が点滅・点灯しているときは、クリーニングが行われない場合があります。
印刷がかすれたり、すき間があくとき以外は、クリーニングは必要ありません。クリーニングを必要以上に行うと、インクカートリッジの寿命が短くなります。
実行　キャンセル

クリックします

4 **目詰まりパターン印刷 ボタンをクリックし、印刷結果を確認します。**

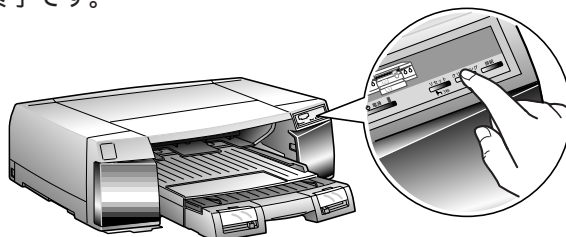
クリックします

5 **終了 ボタンをクリックします。**

パネル操作でのクリーニング方法

1 **インクエンドランプが、点滅または点灯していないことを確認します。**

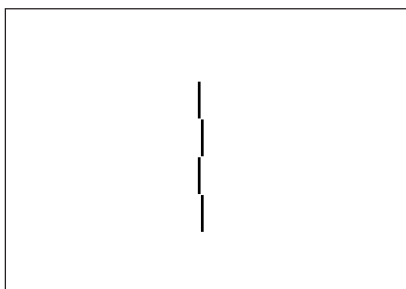
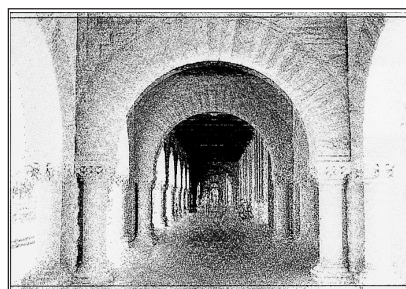
インクエンドランプが点滅または点灯している場合は、クリーニングは行えません。インクカートリッジを交換してエラー表示を解除してください。

2 **クリーニング スイッチを3秒間押したままにします。**

クリーニングが実行されます。クリーニングは約3分間続き、その間、電源ランプが点滅します。電源ランプの点滅が点灯に変わり、音がしなくなったら、クリーニングは終了です。

クリーニングは
約3分間続きます

ギャップ調整

印刷していて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整はユーティリティで行うことも、本体のパネル操作で行うこともできます。パネル操作でのギャップ調整方法は 189 ページを参照してください。

ギャップ調整は次のような現象が発生した場合に行います。

印刷結果がピントがぼけたようになる

ギャップ調整の手順は、Windows、Macintoshともに、ほぼ同じ手順でできます。❸以降の説明では、Windows95から調整を行う場合の画面を使用しています。

❶ 「ユーティリティ」画面 / ダイアログを開きます。

Windows　:　プリンタドライバの設定画面で「ユーティリティ」タブをクリックします。（59 ページ）

Macintosh　:　印刷ダイアログで ユーティリティ ... ボタンをクリックします。（98 ページ）

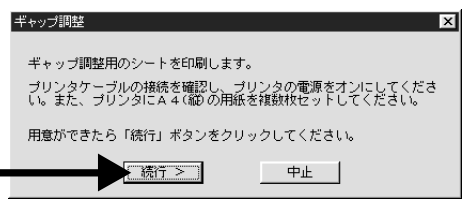
❷ ギャップ調整 ボタンをクリックします。

[ギャップ調整] ダイアログボックスが表示されます。

❸ 実行 ボタンをクリックします。

4 プリンタの電源スイッチをオンにし、A4（縦）サイズの普通紙をプリンタにセットします。

5 続行 ボタンをクリックします。

プリンタは、ギャップ調整用のシートを印刷します。

6 印刷されたシートの #1～#4 のそれぞれについて、ズレがなく直線に見えるものの番号（例の場合は 4）を探します。

<例>

	1	2	3	4	5	6	7
#1	|	|	|	|	|	|	|
#2	|	|	|	|	|	|	|
#3	|	|	|	|	|	|	|
#4	|	|	|	|	|	|	|

7 #1～#4 のそれぞれに、❻で探した直線に見えるものの番号を ▼ ボタンをクリックしてリストの中から選択します。

上下の線がそろっているものがなく、全てのパターンが同じ方向にずれている場合は、最もズレの少ない番号を選択してから 再調整 ボタンをクリックしてください。

8 **終了** ボタンをクリックします。

プリンタ情報（Windows）

プリンタ情報には、オプションの装着に伴う環境の変更を取得する機能と、色の再現性を向上させるためにプリンタ ID 情報を取得する機能があります。EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしている場合は自動的に情報を取得します。EPSON プリンタウィンドウ!2 をインストールしていない場合や、双方向通信ができない環境の場合は、以下の手順で情報の取得を行ってください。

プリンタ ID 情報の取得（Windows95/NT4.0）

プリンタID 情報の取得は1回実行すれば、以降再度取得する必要はありません。

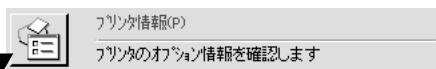
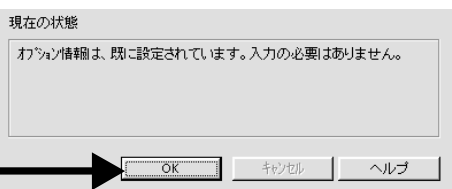
1　プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

2　プリンタドライバの「ユーティリティ」画面を開きます。

3　プリンタ情報 ボタンをクリックします。

プリンタ情報(P)
プリンタのオプション情報を確認します
クリックします

4　「現在の状態」を確認します。

＜状態 1 ＞

➡ プリンタID情報はすでに取得されています。OK ボタンをクリックして、設定を終了してください。

＜状態 2 ＞

➡ 手順5へ進んでください。

5 プリンタにA4サイズの用紙をセットしてから、情報印刷実行 ボタンをクリックします。

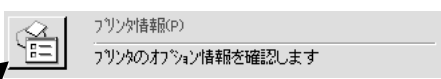
プリンタIDと装着しているSIMM（メモリ）容量が印刷されます。

印刷例

```
Printer ID
 50- 50- 50- 50- 50- 50

SIMM
  0MB
```

6 印刷されたプリンタIDを半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。

これでプリンタID情報が取得されました。

オプション情報の取得

この設定は、ダブルカセットユニットや増設メモリ（SIMM）を取りつけたあとに行います。

ダブルカセットユニットを取りつけた場合

1 プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

2 プリンタドライバの「ユーティリティ」画面を開きます。

3 プリンタ情報 ボタンをクリックします。

プリンタ情報(P)
プリンタのオプション情報を確認します
クリックします

4 「現在の状態」を確認します。

＜状態 1 ＞

➡ オプション情報はすでに取得されています。OK ボタンをクリックして、設定を終了してください。

＜状態 2 ＞

➡ 手順5へ進んでください。

「オプション給紙装置」の「用紙カセット 2」にカーソルを合わせます。

＜画面は Windows95 の場合＞

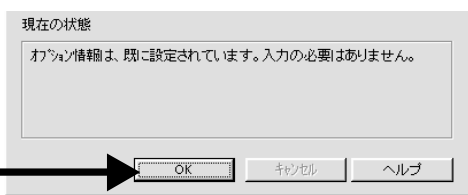
6 OK ボタンをクリックします。

これで、環境の変更が取得されました。

ダブルカセットユニットを取りはずした場合には、上記の手順で設定の変更が必要です。

SIMM を取りつけた場合

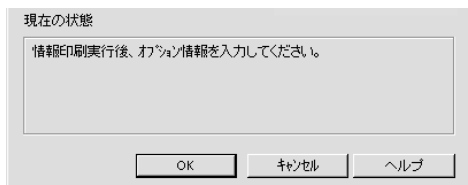
1 **プリンタの 電源 スイッチをオンにします。**

2 **プリンタドライバの「ユーティリティ」画面を開きます。**

3 **プリンタ情報 ボタンをクリックします。**

プリンタ情報(P)
プリンタのオプション情報を確認します

クリックします

4 **「現在の状態」を確認します。**

＜状態１＞

現在の状態
オプション情報は、既に設定されています。入力の必要はありません。
OK　キャンセル　ヘルプ

クリックします

➡ オプション情報はすでに取得されています。OK ボタンをクリックして、設定を終了してください。

＜状態２＞

➡ 手順❺へ進んでください。

❺ プリンタにA4サイズの用紙をセットしてから、情報印刷実行 ボタンをクリックします。

現在装着しているプリンタID（Windows95/NT4.0のみ）とSIMMの容量が印刷されます。

＜画面はWindows95の場合＞

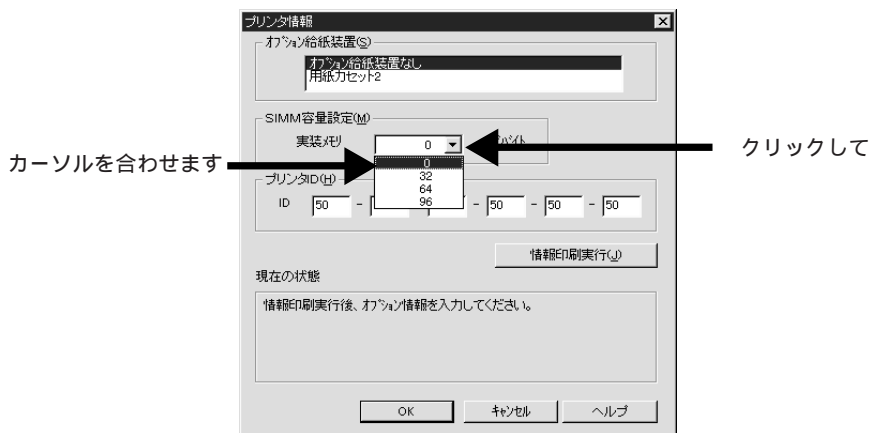
印刷例

```
Printer ID
 50- 50- 50- 50- 50- 50

SIMM
  32MB
```

（Windows3.1/NT3.51では、SIMM容量だけが印刷されます。）

❻ 「SIMM容量設定」の実装メモリの ▼ ボタンをクリックして、印刷されたメモリの容量にカーソルを合わせます。

＜画面はWindows95の場合＞

OK ボタンをクリックします。

これで、環境の変更が取得されました。

SIMM の容量を変更した場合には、上記の手順で設定の変更が必要です。

オプションと消耗品について

ここでは、本製品用のオプションと消耗品の紹介と購入方法、オプションの取りつけ手順などについて説明しています。

オプションと消耗品の紹介

本機をより幅広くご活用いただくために、次のオプション（別売品）と消耗品を用意しています。

専用紙については 20 ページを参照してください。

インクカートリッジ

型　番	名　称
MJIC9BK	黒インクカートリッジ
MJIC9Y	イエローインクカートリッジ
MJIC9LM	マゼンタ / ライトマゼンタインクカートリッジ
MJIC9LC	シアン / ライトシアンインクカートリッジ

インターフェイスケーブル

コンピュータと本機を接続するためのケーブル（別売）には数種類あります。コンピュータや目的に応じたケーブルをお使いください。

パラレルインターフェイスケーブル

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備　考
DOS/V	EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
	IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機		
98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	＃ 8238	※ 1
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	※ 1
	NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	※ 2
		PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）	#8238	※ 1 ※ 3
		PC-9801 シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	※ 1 ※ 3

※ 1 ：Windows95の双方向通信機能及びEPSONプリンタウィンドウ!2はコンピュータの機能制限により対応できません。
※ 2 ：ただし、PC-H98 には対応していません。
※ 3 ：ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。

- NEC PC98LT/DOシリーズとは接続できません。
- NEC PC9801LV/LX/LS/NシリーズはNEC製の専用ケーブルをお使いください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

Macintosh 用シリアルインターフェイスケーブル

次のプリンタケーブルを推奨します。

- **サンワサプライ社製 プリンタケーブル （型番：KPU-MAC2）**

インターフェイスカード

本機に標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。
取りつけ方は163ページを、その他の設定などについてはカードの取扱説明書を参照してください。

Macintosh（AppleTalk）接続用インターフェイスカードについては、次ページを参照してください。

型　番	名　称	解　説
PRIF5E	IEEE-1284 双方向パラレル I/F カード	本機に IEEE-1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスを増設するためのオプションです。接続にはプリンタケーブルが必要です。
PRIFNW1	マルチプロトコル Ethernet I/F カード	本機をEthernetで接続するためのオプションです。IPX/SPX(NetWare,Windows95/NT4.0/NT3.5x)、TCP/IP(Windows95/NT4.0/NT3.5x)、AppleTalk (Macintosh)、NetBEUI(Windows95/NT4.0/NT3.5x/OS2/Warp)に対応しています。 接続には次のいずれかのケーブルが別途必要です。 • PRIFNW1 Ethernet 10Base2 シン（thin）同軸ケーブル または Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル • PRIFNW2 Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル（カテゴリー5）
PRIFNW2	100Base マルチプロトコル Ethrenet I/F カード	

Macintosh 接続用インターフェイスカード

取りつけ方は163ページを、プリンタドライバの使い方については91ページを参照してください。

オプションのインターフェイスカードには、汎用プリンタドライバが付属していますが、本機で使用する場合は、本機に同梱されているプリンタドライバをお使いください。

型　番	名　称	解　説
LTIFS2	Local Talk I/F セット 2	本機を LocalTalk プリンタとして使用するためのセットです。接続には別途 LocalTalk ロッキングコネクタが必要です。 なお、大きな画像データファイルを印刷する場合には PRIFNW1、PRIFNW2 のご使用をお薦めします。
PRIFNW1	マルチプロトコル Ethernet I/F カード	本機をEthernetで接続するためのオプションです。 IPX/SPX（NetWare、Windows95/NT4.0/NT3.5x）TCP/IP（Windows95/NT4.0/NT3.5x）、AppleTalk（Macintosh）、NetBEUI（Windows95/NT4.0/NT3.5x、OS2/Warp）に対応しています。 接続には次のいずれかのケーブルが別途必要です。 • PRIFNW1 Ethernet 10Base2 シン（Thin）同軸ケーブルまたは Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル • PRIFNW2 Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル（カテゴリー 5）
PRIFNW2	100Base マルチプロトコル Ethernet I/F カード	

ダブルカセットユニット

プリンタ下部に装着することにより、標準装備されている用紙カセットを含めて最大２段にすることができます。取りつけ方は165ページを参照してください。ダブルカセットユニットの用紙カセットにはB5横長以上の用紙がセットできます。

型　番	名　称
PMWC1	ダブルカセットユニット

ダブルカセットユニットに添付されている用紙カセットをプリンタ本体のスロットにセットすることはできますが、この場合以下の制限があります。

- **前から手差し給紙することができなくなります。この場合は後ろから手差し給紙してください。前から手差し給紙をしたいときは、標準添付されている用紙カセットの排紙トレイを取りはずしてダブルカセットユニットの用紙カセットに取りつけてください。**
- **ハガキはセットできません。**

用紙カセット

用紙カセットごとに異なる用紙をセットしておき、複数の用紙カセットを入れ替えて使うことができます。用紙カセットの仕様は、オプションのダブルカセットユニットに添付されている用紙カセットと同じです。

型　番	名　称
PMYC1	用紙カセット

オプションの用紙カセットを標準添付されている用紙カセットのスロットにセットする場合には、以下の制限があります。

- **前から手差し給紙することができなくなります。この場合は後ろから手差し給紙してください。前から手差し給紙をしたいときは、標準添付されている用紙カセットの排紙トレイを取りはずして、オプションの用紙カセットに取りつけてください。**
- **ハガキはセットできません。**

PostScript ソフトウェアインタープリタ

Macintoshと接続したプリンタをPostScriptプリンタとしてお使いいただくためのソフトウェアです。ハードウェアインタープリタ（PS-5000）と比較して、安価に導入が可能ですが、すべての印刷処理をMacintoshのCPUで行わせるため、処理速度の速いCPUや一定以上のハードディスクの空き容量などが必要となります。

型　番	名　称
MJCPSR4	CPS ソフトリッパー 4

PostScript ハードウェアインタープリタ

PostScript プリンタとしてお使いいただくためのハードウェアです。高価ですが PS-5010 本体内部に印刷処理用の CPU やハードディスクを搭載していますので、印刷処理が高速に行えます。

型　番	名　称
PS-5010	PostScript® Interpreter 搭載プリントサーバ

EPSON 製スキャナ接続用オプション

本機と ES-8000（スキャナ）を接続し、カラーコピーとして利用できる装置です。コピー機感覚で操作でき（コンピュータ不要）、しかもカラーコピー機よりもリーズナブルにカラーコピーをすることが可能です。

型　番	名　称
CS-5000	Copy サーバ

通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション・マニュアルがお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

お申し込み方法

次ページの「消耗品FAX注文書（代引き専用）」をコピーし、必要事項をご記入のうえFAXにてご注文ください。また、お電話・インターネット・ニフティでのご注文もお受けしております。

エプソンＯＡサプライ株式会社

〒101-0021　東京都千代田区外神田2-5-12タカラビル２Ｆ
ファックス番号：0120-55-7765（フリーダイヤルＦＡＸ）
：03-3258-7690
ご注文電話番号：0120-25-1528（フリーダイヤル）
：03-3255-1528
インターネットURLアドレス：http://www2.i-love-epson.co.jp/eos/home
NIFTY-SERVE GOコマンド：EPSONOAS

※電話番号のお間違いにご注意ください。
また、消耗品、オプション、マニュアル以外のお問い合わせにはお答えしかねる場合がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。

お届け方法

宅配便の**代金引き換え**にてお届けしております。
※商品がお手元に配達された時、その配達員にお代金を現金にてお支払いいただくシステムです。

お支払い方法

代金引き換え（商品引き換え払い）でお願いいたします。
※一部地域によって代金引き換えが不可能な場合等は、別途ご相談させていただきます。

料金システム

- 商品合計金額が１万円未満の場合....... 商品代金＋消費税＋送料
（送料は代引手数料、消費税を含み、全国一律1050円です。）
- 商品合計金額が１万円以上の場合....... 商品代金＋消費税のみ

※配送は国内に限らせていただきます。

なお、ご注文いただいた商品の在庫がない場合は、メーカーよりの取り寄せとなり、納品までにお時間がかかる場合がございます。
また、メーカーにて完売となりました商品につきましては、お取り寄せができませんので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。

消耗品 FAX 注文書（代引き専用）

エプソン OA サプライ株式会社

ファックス番号：0120-55-7765（フリーダイヤル FAX）
　　　　　　　：03-3258-7690

発注日　　年　月　日

※ 空欄にご希望の商品名、金額等必要事項をすべてご記入ください。
また、お客様のお電話番号は弊社管理上の必要項目となっておりますので、必ずご記入ください。

電話番号 TEL：　　（　　）
会社名 / お名前
ご住所 〒　　ー

品名・型番	数量	単価	金額
	商品金額合計		

送　　料	
消　費　税	
お支払い金額合計	

インターフェイスカードの取りつけ

カードの取りつけにはプラスドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

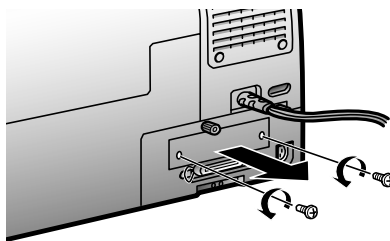
1 プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

2 ケーブル類をはずします。

電源プラグをコンセントから抜き、プリンタに接続しているインターフェイスケーブルを取りはずします。

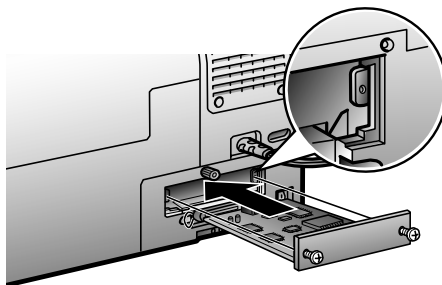
注 意

> **インターフェイスカードの取りつけや取りはずしは、必ず 電源 スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取りはずしてから行ってください。接続したまま作業を行うと、プリンタまたはコンピュータが故障する原因となります。**

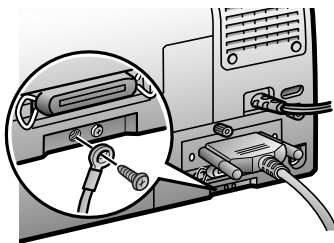
3 コネクタカバーのネジをプラスドライバで取りはずします。

4 インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパスイッチの設定を確認します。

詳細はインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

5 インターフェイスカードの左右をプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。

コネクタが接続されるまで奥にしっかり押し込んでください。

インターフェイスカードの両側をネジで固定します。

インターフェイスカードにインターフェイスケーブルを接続します。

ケーブルにFG線（グランド線）がついている場合は、電源ケーブルの右にあるFG線取りつけネジを使って固定してください。

8

はずしたケーブル類や電源プラグを元どおりに取りつけます。

以上でインターフェイスカードの取りつけは終わりです。

ダブルカセットユニットの取りつけ

ダブルカセットユニットは次の手順で取りつけます。

1 **プリンタの 電源 スイッチをオフにします。**

2 **ケーブル類をはずします。**

電源プラグをコンセントから抜き、プリンタに接続しているインターフェイスケーブルを取りはずします。

3 **用紙カセット 1 をプリンタからはずします。**

4 **プリンタ本体を別の場所に移動させます。**

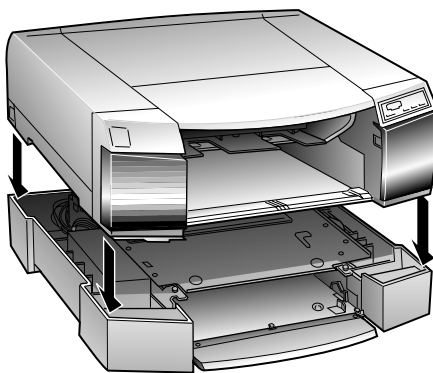
注意

プリンタは約22kgあります。持ち運びは必ず2人以上で行い、十分注意して作業してください。

5 **オプションのダブルカセットユニットを設置場所に置きます。**

6 **ダブルカセットユニットの4隅の位置に合わせながらプリンタを上に置きます。**

注意

指などをはさまないよう十分注意して作業を行ってください。

用紙カセットをそれぞれ取りつけます。

標準添付されている用紙カセットをオプションのダブルカセットユニットのスロットに入れることはできません。取りつけるスロットをまちがえないでセットしてください。

はずしたケーブル類や電源プラグを元どおりに取りつけます。

以上でダブルカセットユニットの取りつけは終了です。

本書では、ダブルカセットユニットを用紙カセット 2、標準装備の用紙カセットを用紙カセット 1 と呼んでいます。用紙カセット 2 への用紙のセット方法や使い方は用紙カセット 1 と同じですが、以下の制限があります。
- **セットできる用紙の用紙長は B5 横長以上となります。ハガキはセットできません。**

Windows でお使いの場合

EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしていない場合や、双方向通信ができない環境の場合には、続いて環境の変更に伴う設定を行います。

プリンタドライバの「ユーティリティ」の プリンタ情報 ボタンをクリックして「オプション給紙装置 」の設定を行います。

設定の詳細は 150 ページを参照してください。

ダブルカセットユニットを取りはずしたときは、[プリンタ情報] ダイアログボックスのオプション給紙装置の「オプション給紙装置なし」にカーソルを合わせて OK ボタンをクリックしてください。

増設メモリの取りつけ

本機に市販の増設メモリ（SIMM）を装着することにより、最大96MB（32MB x 3 枚）まで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、ページプリントモード（1 ページを複数部印刷する）時には、1 ページ分のデータをメモリに記憶させて、2 部目以降はメモリ内のデータを使って印刷させることができるようになり、ホストコンピュータを早く解放することができます。

ポイント

- **ページプリントモードが可能になる条件は、1ページ分の印刷データが装着しているメモリの合計容量より小さい場合で、コピー枚数が指定されているときのみです。**
  印刷データの容量の目安は以下のとおりです。

印刷品質 ＼ 用紙サイズ	A4	A3 ノビ
ファイン（360DPI）	16MB	44MB
スーパーファイン（720DPI）	33MB	87MB
フォト（1440DPI）	67MB	

（注）A3 ノビサイズのフォト印刷ではページプリントモードが使えません。

- **印刷データがメモリ容量を越える場合、プリンタドライバが自動的に2枚目以降もデータを送り出します。**
- **メモリに記憶できる印刷ページ数は、1 ページ分だけです。**
- **ソフトリッパーおよびPS-5010使用時はページプリントモードが使えません。**

増設できる SIMM の仕様は以下のとおりです。

- 容量：32MB（最大 3 枚まで）
- 形状：72 ピン（70ns 以下のもの・パリティなし）

使用可能なSIMMの詳細については、FAXインフォメーションまたはインターネットでご確認ください。FAXインフォメーションまたはインターネットの詳細は本書裏表紙にてご案内しております。

1 プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

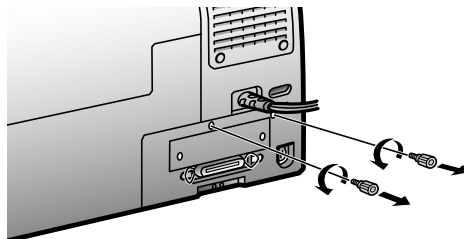
2 ケーブル類をはずします。

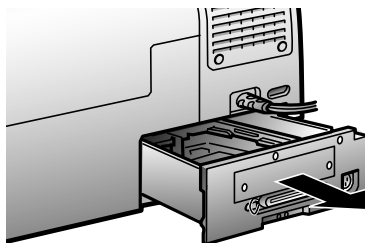
電源プラグをコンセントから抜き、プリンタに接続しているインターフェイスケーブルを取りはずします。

注 意

SIMM の取りつけや取りはずしは、必ず 電源 スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取りはずしてから行ってください。接続したまま作業を行うと、プリンタまたはコンピュータが故障する原因となります。

3

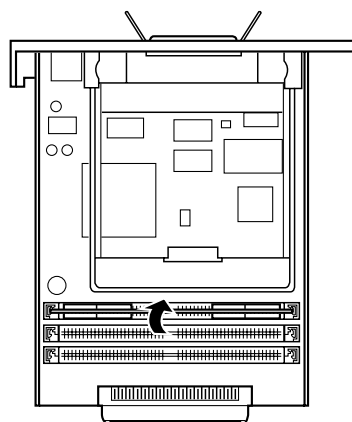
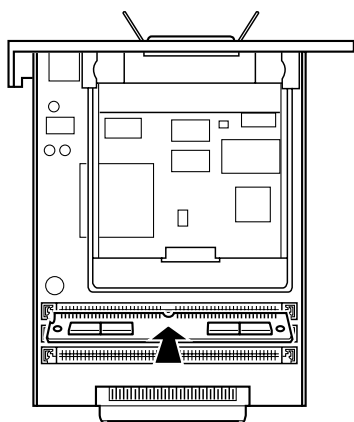
プリンタ背面のカバーのネジを取りはずします。

4

ユニット右側のくぼみに指をかけて取りはずします。

5

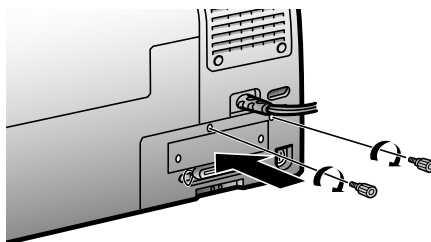
SIMM をソケットに装着します。

どのソケットに装着してもかまいませんが、SIMM に書かれている 1 または 72 の数字を、基板のソケット部分に書かれている同じ数字の位置に合わせて差し込んでください。

① SIMM の切り欠き部分（1 の数字が書かれている方）を左にして持ち、ソケットに傾けて差し込みます。

② そのまま矢印の方向に押して固定します。

注意

あまり力を掛けすぎると部品を損傷する原因となりますので、慎重にソケットに固定させてください。

ユニットを元どおりに装着し、ネジで固定します。

はずしたケーブル類や電源プラグを元どおりに取りつけます。

以上で SIMM の取りつけは終了です。

Windows でお使いの場合

EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしていない場合や、双方向通信ができない環境の場合には、続いて環境の変更に伴う設定を行います。

プリンタドライバの「ユーティリティ」の プリンタ情報 ボタンをクリックして「SIMM 容量設定」の設定を行います。

設定の詳細は 152 ページを参照してください。

ポイント

SIMM の容量を変更したときや SIMM を取りはずしたときは［プリンタ情報］ダイアログボックスの SIMM 容量設定を実際の SIMM の容量に合わせて変更し、OK ボタンをクリックしてください。

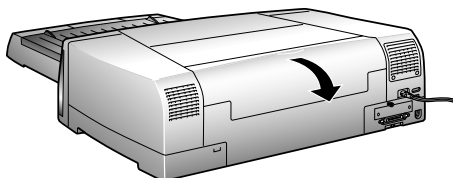
付録

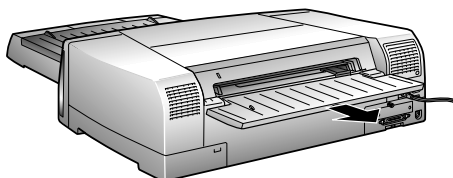
ここでは、より快適にお使いいただくための提案や、本製品をお使いいただくうえで知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

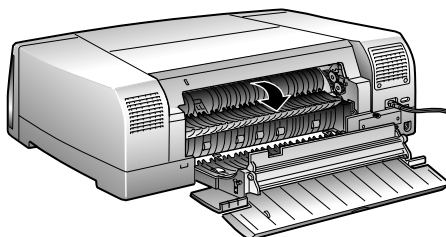
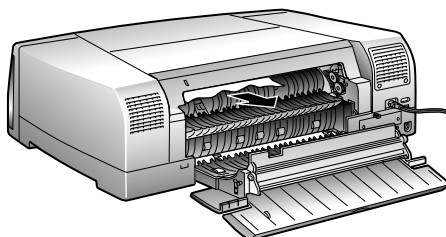
紙詰まりのときは

用紙が詰まったときや給紙/排紙エラー時には、プリンタの 電源 スイッチをいったんオフにして、以下の処置を取ってください。

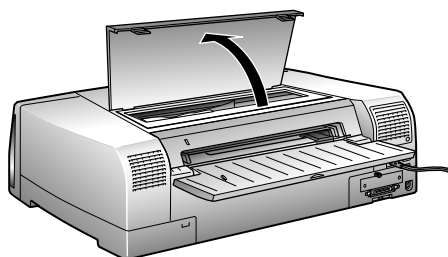
用紙カセットからの給紙で紙詰まりした場合

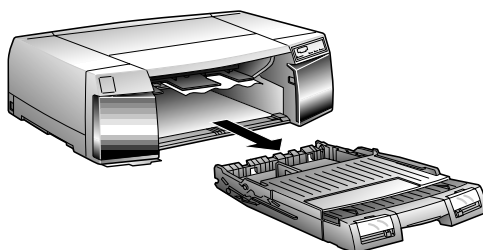
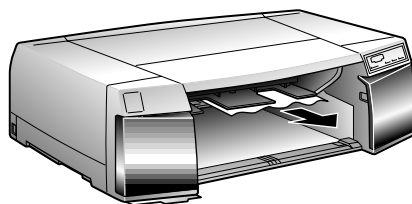
1. **手差しスロットカバー中央のくぼみに指をそえて、手差しトレイを開けます。**

2. **プリンタカバー(後)を開けます。**

   手差しスロットの中央を持って手前に引きます。

3. **用紙カセット1からの給紙で紙詰まりした場合は、中のカバーを開けます。**

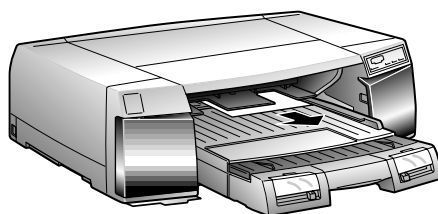
   用紙カセット2からの給紙で紙詰まりした場合は、この操作は不要です。
   手順④へ進んでください。

4. **詰まった用紙を取り除きます。**

5. **カバーを元通りに閉じます。**

用紙がちぎれてプリンタ内部に残った場合

プリンタカバー（上）を開けて、ピンセットなどを使ってちぎれた用紙を取り除きます。

用紙カセットの給紙エラー

1 **用紙カセットをプリンタ本体から取りはずします。**

2 **スロットの奥にはさまっている用紙を手前に引き抜きます。**

用紙カセット 2 の場合も、同様の手順で行ってください。

排紙エラー

排紙トレイに用紙の先端が少しでも出ている場合は、そのまま手前に引き出します。

印刷を高速化するには

カラー印刷には時間がかかります。とくに使用するアプリケーションソフトのデータ処理能力に大きく依存しますが、お使いのコンピュータの処理能力によっても印刷速度は異なります。

ここでは、設定などにより印刷時間を短縮するための方法をいくつか紹介します。

● **下描きはファイン印刷（360DPI）を使用する**

スーパーファイン印刷（720DPI）やフォト印刷（1440DPI）は美しくきれいに印刷できますが、印刷時間は解像度に比例して長くなります。解像度が高い分、データ量が多くなるためにデータ処理時間がかかってしまうためです。下描きなどはファイン印刷（360DPI）で出力することをお薦めします。画質は多少粗くなりますが、出力時間を大幅に短縮することができます。
印刷品質を目的に応じて使い分けることにより、印刷時間効率が大幅に向上します。

● **画像データの解像度を必要以上に上げない**

画像データの解像度は、出力機器の解像度に応じて決めるのが最良です。スーパーファイン印刷（720DPI）や、フォト印刷（1440DPI）の場合の最適解像度は360DPIです。これ以上データの解像度を上げても、画質はほとんど変わりません。
データの解像度、またはスキャナでの入力解像度も、上記の値を目安にしながら、用途に応じた解像度を利用してください。

● **横長画像はアプリケーションで縦長に回転して印刷する**

横長画像（用紙方向も横）を印刷するときは、アプリケーションソフトで縦長に 90 度回転（アプリケーションソフトがこの機能に対応している場合のみ可能）してから、用紙方向も縦長にして印刷しましょう。横長画像を、印刷の画面で「縦」に設定（ローテート）して印刷するよりも高速で出力できます。

● **複数部コピーする場合は SIMM を増設する**

本機には32MB の SIMM を最大３枚まで装着でき、ページプリントモードが使えるようになります。ページプリントモード時には、1 ページ分のデータを SIMMに記憶させ、2部目以降はSIMMのデータを使って印刷することができるようになり、ホストコンピュータを早く解放できます。
☞**「増設メモリの取りつけ」**167 ページ
☞**困ったときにお読みください**
「ページプリントモード時にプリンタ接続エラーが表示される」28 ページ

Windows95 をお使いの場合

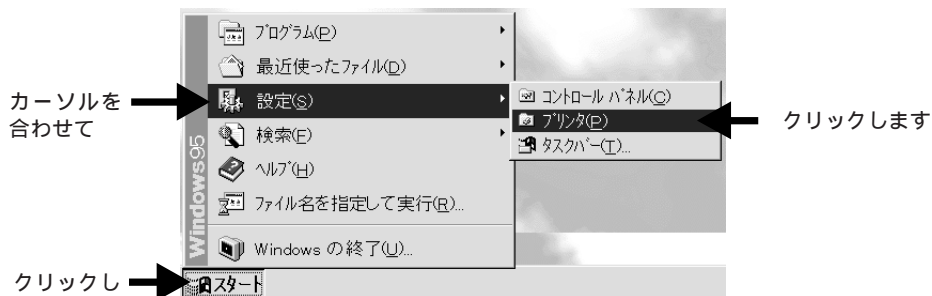
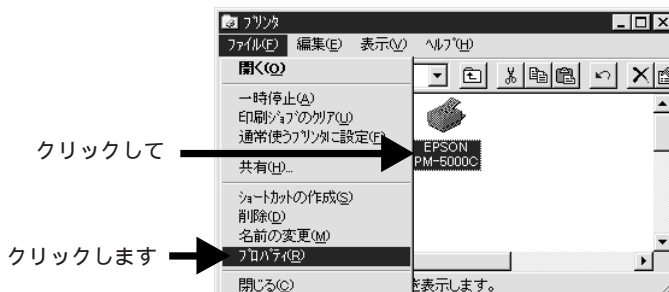
データの転送方法を変更することにより、印刷を高速化することができます。

DMA 転送

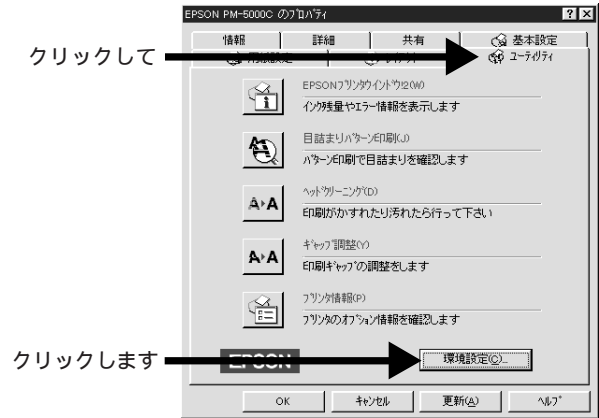
パラレルポートのコントローラとしてECP コントローラチップを搭載したDOS / V機（一部の機種を除く）の場合、DMA転送[*1]という方法によってデータ転送が3～4倍速くなり、プリンタ性能を十分に活用することができます。

ポイント

- **お使いのコンピュータにECPコントローラチップが搭載されているかどうか、またDMA転送が可能かどうかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。**
- **PC-9801/PC-9821シリーズのコンピュータではご利用になれません。**

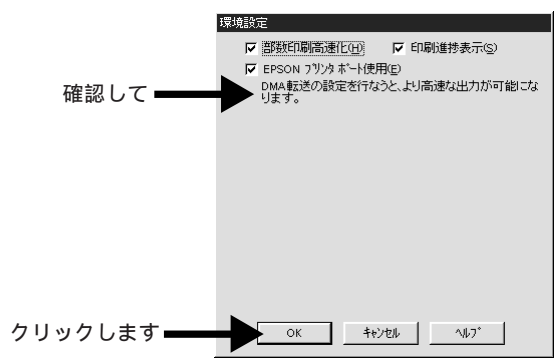
1 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定」にカーソルを合わせます。次に「プリンタ」をクリックします。**

2 **PM-5000C をクリックし、「ファイル」の「プロパティ」をクリックします。**

*1 DMA 転送 ： CPUを介さずに直接メインメモリと周辺装置間でデータをやりとりする転送方法。

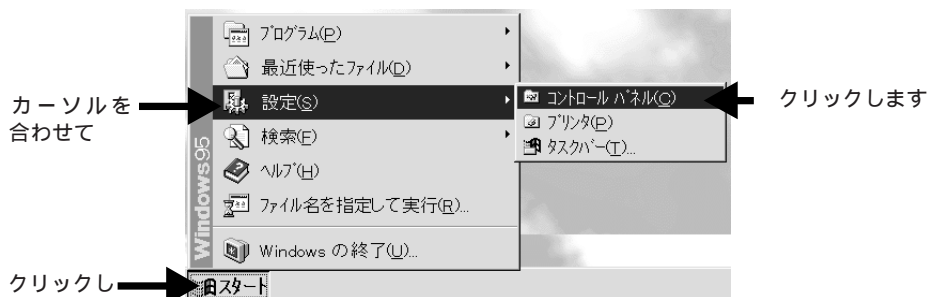
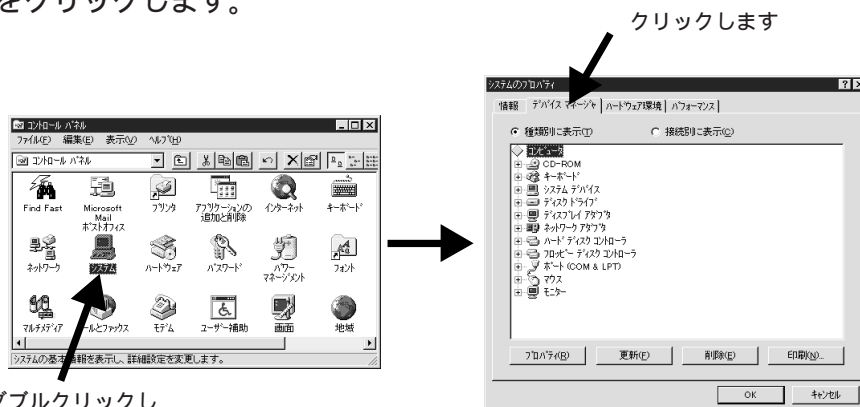
3

「ユーティリティ」タブをクリックし、環境設定ボタンをクリックします。

4

「DMA 転送」を確認し、OKボタンをクリックします。

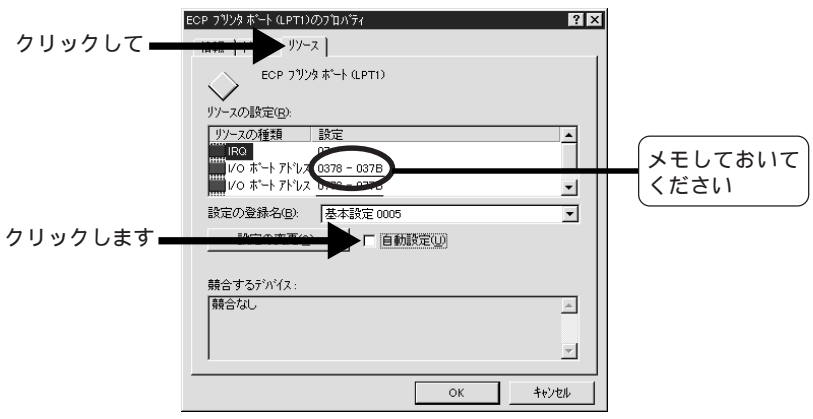
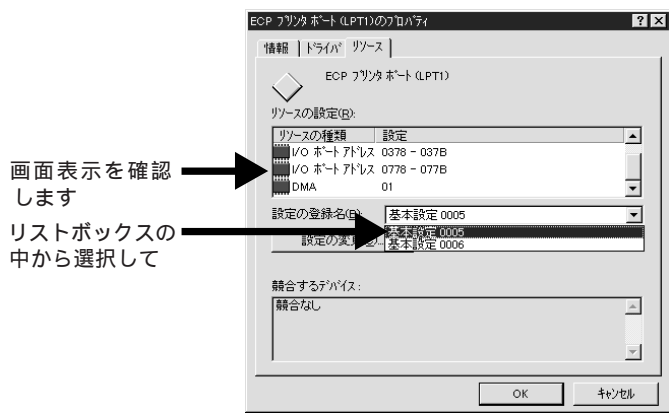
「DMA 転送で印字します」	すでにコンピュータ上で DMA 転送が設定されています。OKボタンをクリックして設定を終了してください。
「DMA 転送の設定を行うと、より高速な出力が可能になります。」	❺に進みます。
何も表示されない場合	DMA 転送はご利用になれません。

ポイント

- **上記ステップで何も表示されない場合、コンピュータの BIOS 設定でパラレルポートを「ECP」または「ENHANCED」に設定することにより「DMA 転送」による印字が可能になる場合があります。各コンピュータメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせの上、各コンピュータの取扱説明書に従ってBIOSのパラレルポート設定を行ってください。**
- **BIOS のパラレルポートの設定は、以下の手順で行ってください。**
  ❶ PM-5000C のプリンタドライバを削除します。
  ❷ BIOS のパラレルポートを設定します。
  ❸ プリンタドライバを再インストールします。

5 **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定」にカーソルを合わせます。次に「コントロールパネル」をクリックします。**

6 **「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。**

7 **「ポート（COM&LPT)」アイコンをダブルクリックし、PM-5000Cが接続されているポートをダブルクリックします。**

プリンタの接続先を変更していない場合は「LPT1」を選択します。

8 「リソース」のタブをクリックし、「自動設定」のチェックボックスをクリックしてはずします。

自動設定時に設定されているI/Oポートアドレスが､次のステップで必要になります。メモ用紙などに控えておいてください。

9 ［設定の登録名］基本設定のリストボックスの中から、自動設定時に設定されていたI/Oポートが変更されずに「DMA」「IRQ」の設定が表示される基本設定を探します。

10 OK ボタンをクリックします。

これで、データの転送方法が「DMA 転送」に変更されました。

ポイント

- BIOSの設定を変更した場合は、プリンタドライバを削除したあと、再度インストールしてください。
- 一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせください。

ECP モード

パラレルインターフェイスをECPモードで使用することにより、データ転送速度の高速化を図れる場合があります。お使いの周辺装置でプリンタのモードをECPに設定する指示がある場合に、本機のモードをECPモードに設定してください。

☞**「ECP モードの切り替え」**187 ページ

Macintosh をお使いの場合

Macintosh 側のデータ処理を高速化することにより、印刷時間を短縮する方法を紹介します。画像データの容量を、Macintosh のメモリ容量の約半分以下にすると、快適に印刷することができます。つまり、Macintosh のメモリ容量を扱うデータの約 2 倍に拡張すればよい、ということになります。ここでは、おもにメモリを確保するための方法について説明します。

● システムメモリの空き容量を増やす

付属のプリンタドライバはMacintosh本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。
本機で快適にフルカラー画像を出力するためには、出力する画像データの半分くらいの空き容量が必要です。システムメモリの空き容量を増やすには、以下のような方法があります。

- 他のアプリケーションを終了させる。
- アプリケーションの使用メモリを小さくする（デフォルト値にする）。
- パソコン本体にメモリを増設する。

● 仮想メモリを使用しない

プリンタドライバはデータを印刷する際にメモリ上で画像処理を行います。その処理をメインメモリ（RAM）上で行うか、仮想メモリ（ハードディスク）を使用するかによって印刷時間に差が出ます。メインメモリが十分にある場合は、仮想メモリの機能を OFF にしてください。

仮想メモリを OFF にするには
❶ アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を選択します。
❷「メモリ」ウィンドウの仮想メモリのラジオボタンで「切」をクリックします。

● インターフェイスを替える

Macintoshとプリンタを接続するインターフェイスの種類によって印刷速度が異なります。これは、インターフェイスによってデータの転送速度が異なるためです。
本機に接続できるインターフェイス（I/F）には次の３種類があります。

高速シリアル I/F	本機にはシリアルインターフェイスコネクタが標準装備されているため、安価で簡単に接続できます。シリアル接続する場合は、LocalTalk より、この I/F をお薦めします。
LocalTalk I/F	ネットワーク用の I/F です。大量のデータ転送には時間がかかります。
EtherTalk I/F	ネットワーク用の I/F です。LocalTalk I/F より高速データ転送に適しています。

プリンタを輸送するときは

プリンタを輸送するときは、インクカートリッジを必ず取りはずし、プリンタを衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

1 **プリンタの 電源 スイッチをオンにします。**

2 **プリンタから用紙を取り除きます。**

用紙がプリンタ内に残っている場合は、排紙 スイッチを押して排出します。用紙カセットにセットされている用紙は取り除いてください。

3 **電源 スイッチをオフにします。**

4 **電源ランプが消灯したのを確認してから、インクカートリッジを全て取りはずします。**

取りはずしは、「インクカートリッジを交換します」（37ページ）を参照しながら作業を行ってください。

5 **プリンタカバーを開け、キャリッジが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

プリンタ上部の開口部より右側の奥にキャリッジがあればキャッピングされています。キャッピングされていない場合は、いったん 電源 スイッチをオンにして、キャリッジがキャッピング位置に移動したことを確認してから、再度 電源 スイッチをオフにしてください。

6 **ケーブル類をはずします。**

電源プラグをコンセントから抜き、プリンタに接続しているインターフェイスケーブル類をすべて取りはずします。

7 **梱包材を取りつけ、プリンタを水平に梱包箱に入れます。**

注 意

- **輸送時には必ずインクカートリッジを取りはずしてください。**
- **輸送時にはプリンタの上下を逆にしないでください。上下を逆にすると、輸送後に正しく印刷できなくなることがあります。**

輸送後のプリンタの使用について

輸送後、梱包箱から取り出して使用可能にするまでの作業は、プリンタを購入後はじめて使用可能にする場合とほとんど同じです。『セットアップガイド』を参照して作業を行ってください。
とくに輸送後の使用については、目詰まりチェックパターンが正常に印刷されることを確認してからプリンタを使い始めてください。
☞**「目詰まりチェックパターン印刷」**184 ページ

注意

- **輸送後に取りつけるインクカートリッジは、新品を使用することをお薦めします。輸送前に取りはずしたカートリッジを使用すると、インク残量が正しく把握できなくなります。**
- **輸送後に印刷の不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。**
  ☞**「ヘッドクリーニング」143 ページ**

プリンタのお手入れ

プリンタをいつでも良い状態で使用できるように、定期的に（1年に数回は）プリンタのお手入れをしてください。

1 プリンタから用紙を取り除きます。

用紙がプリンタ内に残っている場合は、排紙スイッチを押して排出します。用紙カセットにセットされている用紙があれば、取り除きます。

2 電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 柔らかいブラシを使って、ほこりや汚れを注意深く払います。

プリンタ外面の汚れがひどい時は、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

注意

プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉めた状態でふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートする恐れがあります。

プリンタ内部がインクで汚れた場合

電源スイッチがオフになっていることを確認してから、よく絞った布でプリンタ内部を軽くふきとってください。

⚠注意

プリンタ内部には、ギザローラーなどの突起物がありますので、けがをしないよう注意してふいてください。

注意

- **ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形する恐れがあります。**
- **プリンタメカニズムや電気部品に水がかからないように、注意深く扱ってください。**
- **硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷つけることがあります。**
- **プリンタ内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタメカニズムが故障する恐れがあります。潤滑油が必要と思われる場合は、エプソンサービスセンターにご相談ください。**
  *** サービスセンターのご相談先は裏表紙にあります。**

目詰まりチェックパターン印刷

目詰まりチェックパターン印刷は、プリンタ内部で持っている目詰まりチェックパターンを印刷する機能です。コンピュータと接続していない状態でプリンタの動作や印刷状態を確認できます。

ポイント

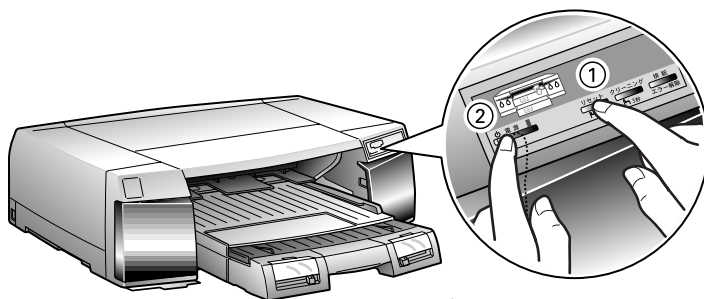
- **目詰まりチェックパターン印刷には専用紙を使用する必要はありません。普通紙または再生紙の使用をお薦めします。**
- **目詰まりチェックパターン印刷は、印刷がきれいにできないときや輸送後などにプリンタの動作や印刷状態を確認したい場合にのみ行ってください。**

1 プリンタの 電源 スイッチをオフにします。

2 A4 サイズの用紙を用意し、用紙カセットにセットします。

用紙のセット方法については 8 ページを参照してください。

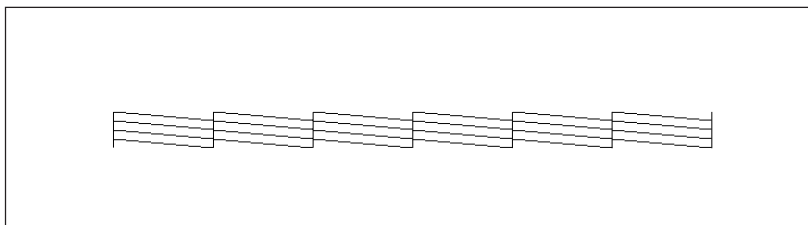
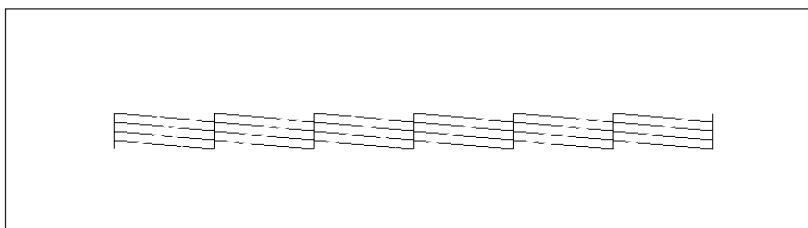
3 リセット スイッチを押しながら、電源 スイッチをオンにします。

リセット スイッチはプリントヘッドが動き出すまで押したままにしてください。
プリンタは用紙を給紙して、目詰まりチェックパターン*1 を印刷します。

プリントヘッドが動き出すまで押したままにしてください。

*1 目詰まりチェックパターン：　プリントヘッドのノズル（インクの吐出孔）先端まで完全にインクが充てんされているか、ノズルが目詰まりをしていないかを確認するためのパターン。

印刷された目詰まりチェックパターンの結果を確認します。

印刷サンプル＜良い例＞のように、チェックパターンが全て印刷されているか確認します。

＜良い例＞

＜悪い例＞

印刷例がかすれていたり、何も印刷されない場合は、インクの充てんが完全にされていないか、プリントヘッドのノズルが目詰まりしています。この場合は、クリーニング スイッチを3秒間押してプリントヘッドをクリーニングしてください。

☞**「ヘッドクリーニング」**143 ページ

再度目詰まりチェックパターン印刷を行ってもうまく印刷できない場合は、『困ったときにお読みください』を参照してください。

5 プリンタの 電源 スイッチを一旦オフにします。

パネル設定の詳細

パネル操作によって以下の機能が実行できます。通常は初期設定のままお使いください。

機　能	初期設定
用紙チェック切り替え	ON（用紙チェックをする）
ECP モード切り替え	OFF（ECP モード無効）
手差し紙厚切り替え	Auto（自動）
ギャップ調整 *	

* 通常はユーティリティから行います。ユーティリティからの調整ができない場合にパネル操作でギャップ調整を行ってください。
☞「ギャップ調整」145 ページ

現在の設定状態は、目詰まりチェックパターン印刷時に次のように印刷されます。

用紙チェック切り替え
ECP モード切り替え
手差し紙厚切り替え

```
=============Current Settings=============
Paper Size/Type Check                       :On
Parallel I/F ECP Mode                       :Off
Platen Gap Adjustment for Manual Feed Slots:Auto
```

用紙チェック切り替え

双方向通信ができない環境下ではプリンタドライバによる用紙チェックが行われないため、プリンタ本体で用紙チェックを行います。その際の用紙エラーの内容をパネル表示する（ON）かしない（OFF）かの設定をします。

エラーの内容と解除方法については『困ったときにお読みください』（4 ページ）を参照してください。

1 [クリーニング] スイッチを押しながら、[電源] スイッチをオンにします。

切り替えモードに入ると、[電源] ランプが点滅し、用紙カセット 1 の [用紙チェック] ランプが点灯します。

2 [リセット] スイッチを押すたびに ON、OFF の状態が切り替わります。

ON（パネル上でエラー表示する）の設定では、[BK（黒）インクエンド] ランプが点灯します。
OFF（パネル上でエラー表示しない）の設定では、[C（シアン）インクエンド] ランプが点灯します。

3 どちらかの設定を選択し、[電源] スイッチをオフにするか、または [排紙] スイッチを押して設定を終了します。

[排紙] スイッチを押して終了した場合は、続いて通常の印刷ができます。

ECP モード切り替え（Windows95）

パラレルインターフェイスの ECP モード[*1] を有効にする（ON）か無効にする（OFF）かの設定を切り替えます。通常は OFF に設定します。
お使いになる周辺装置でプリンタのモードをECPに設定する指示がある場合にのみ ON に設定します。

1 リセット スイッチと クリーニング スイッチを押しながら 電源 スイッチをオンにします。

切り替えモードに入ると、電源 ランプと用紙カセット1の 用紙チェック ランプが点滅します。

2 リセット スイッチを押すたびに ON、OFF の状態が切り替わります。

ON（ECPモード有効）の設定では、BK（黒）インクエンド ランプが点灯します。
OFF（ECP モード無効）の設定では、C（シアン）インクエンド ランプが点灯します。

3 どちらかの設定を選択し、電源 スイッチをオフにするか、または 排紙 スイッチを押して設定を終了します。

排紙 スイッチを押して終了した場合は、続いて通常の印刷ができます。

*1 ECP モード　：Extended Capabilities Port モードの略。非同期、バイト幅のデータを双方向で通信できる機能を提供するモードのこと。

手差し紙厚切り替え

通常は「自動（Auto）」の設定で使用します。手差しスロットに厚紙をセットして印刷した場合に、インクこすれなどが発生したときのみ「厚紙（Fixed thick paper）」の設定に切り替えます。

1

排紙 スイッチを押しながら 電源 スイッチをオンにします。

切り替えモードに入ると、 電源 ランプが点滅し、用紙カセット２の 用紙チェック ランプが点灯します。

2

リセット スイッチを押すたびに設定状態が切り替わります。

「自動」の設定では、 BK（黒）インクエンド ランプが点灯します。
「厚紙」の設定では、 C（シアン）インクエンド ランプが点灯します。

3

どちらかの設定を選択し、 電源 スイッチをオフにするか、または 排紙 スイッチを押して設定を終了します。

排紙 スイッチを押して終了した場合は、続いて通常の印刷ができます。

注 意

「厚紙」で印刷した用紙の印刷が終了したら、必ず設定を「自動」に戻してください。「厚紙」の設定のまま通常の用紙に印刷を行うと、印字かすれなどの不具合が生じます。

ギャップ調整

ギャップ調整は、通常ユーティリティから行います。ユーティリティからギャップ調整できない場合にのみパネル操作で行ってください。
☞**「ギャップ調整」**145 ページ

1 **電源 スイッチがオフになっていることを確認してから、A4（縦）サイズの普通紙をプリンタにセットします。**

2 **リセット スイッチと 排紙 スイッチを押しながら 電源 スイッチをオンにします。**

調整モードに入ると、電源 ランプと用紙カセット2の 用紙チェック ランプが点滅します。現在の状態が印刷されます。

<例> Current Setting：

3 **印刷された結果を確認し、#1 から #4 までの番号の中から調整したい番号（例の場合は #1）を選択します。番号の選択は リセット スイッチを押して行います。**

リセット スイッチを押すたびに インクエンド ランプの表示が下表のように変わります。

インクエンドランプ	#1	#2	#3	#4
BK（黒）	点灯	消灯	消灯	消灯
C（シアン）	消灯	点灯	消灯	消灯
M（マゼンタ）	消灯	消灯	点灯	消灯
Y（イエロー）	消灯	消灯	消灯	点灯

4 番号を決定したら 排紙 スイッチを押します。

例の場合は、BK（黒）インクエンド ランプが点灯し、それ以外のインクエンドランプが消灯している状態で 排紙 スイッチを押します。

> **調整モードを終了したい場合は、電源 スイッチをオフにしてください。**

5 調整値選択モードに入ります。調整値選択モードに入ると、電源 ランプが点滅し、用紙カセット２の 用紙チェック ランプが点灯します。

調整パターンが印刷されます。

＜例＞　#1　1　2　3　4　5　6　7

6 印刷された結果を確認し、1から7までの番号の中から上下の線がそろっている番号（例の場合は1）を選択します。

排紙 スイッチを押すと、調整パターン番号が１つ増えます。
リセット スイッチを押すと、調整パターン番号が１つ減ります。

インクエンドランプ	1	2	3	4	5	6	7
BK（黒）	点灯	点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯
C（シアン）	消灯	消灯	点灯	点滅	消灯	消灯	消灯
M（マゼンタ）	消灯	消灯	消灯	点滅	点灯	消灯	消灯
Y（イエロー）	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点滅	点灯

7 番号を決定したら クリーニング スイッチを押します。

例の場合は、BK（黒）インクエンド ランプが点灯し、それ以外のインクエンドランプが消灯している状態で クリーニング スイッチを押します。
現在の状態が再度印刷されますので、正しく調整されているか確認します。

- 正しく調整されていたら、電源 スイッチをオフにしてください。
- 正しく調整されていなかったり、他の番号を調整する場合は、❸からやり直してください。

プリンタドライバのインストール方法

プリンタドライバのインストール方法には、『セットアップガイド』で説明した方法の他にも以下の方法があります。

プラグアンドプレイによるインストール（Windows95）

Windows95では、新たに周辺機器が接続されると起動時に自動的に検知し、必要なドライバをインストールするためのウィザードが起動します。

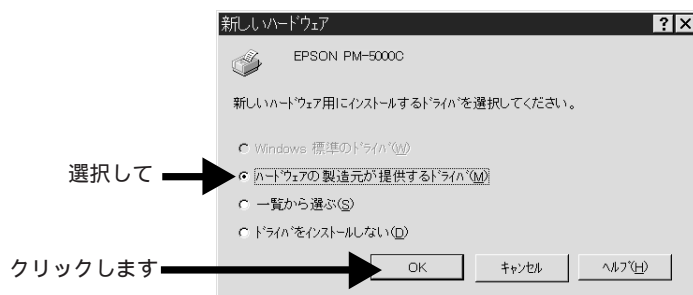
1 プリンタの 電源 スイッチをオンにします。

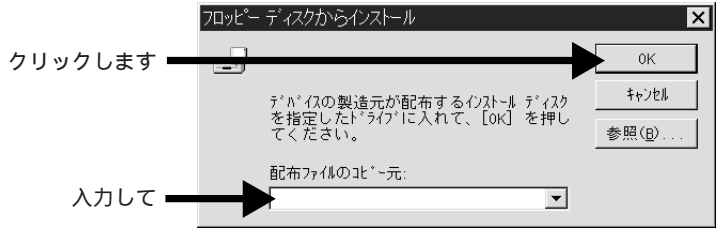
2 コンピュータの電源をオンにして、Windows95 を起動します。

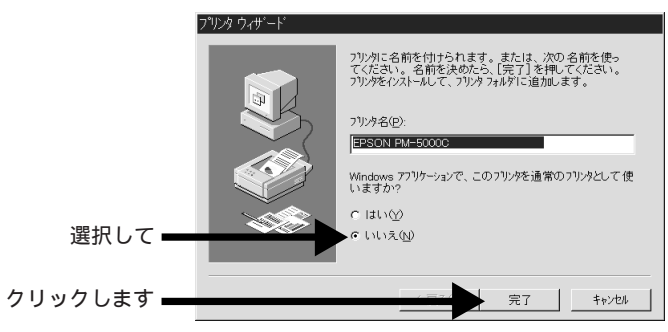
「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示されます。

ポイント

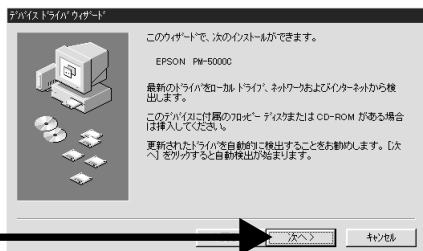
以下の画面が表示された場合は、「デバイスドライバウィザードでのインストール」（193 ページ）の手順に従ってインストールしてください。

3 「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択して、OK ボタンをクリックします。

4 「プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」（またはフロッピーディスク）をコンピュータにセットします。

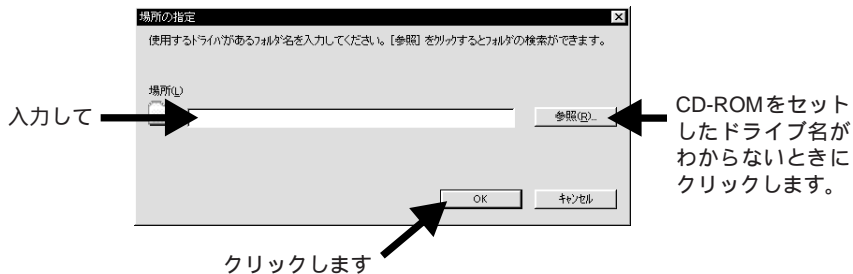
5 セットしたドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。

CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
D ドライブ E ドライブ ：	D:\WIN95 E:\WIN95 ：	A ドライブ B ドライブ ：	A:\WIN95 B:\WIN95 ：

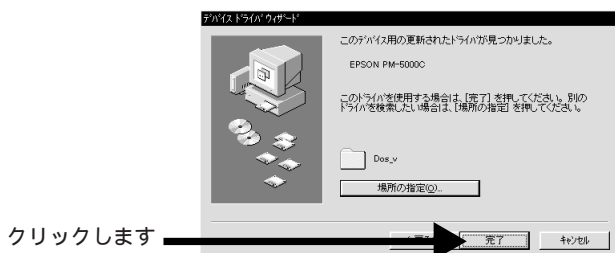
6 「はい」を選択して、完了 ボタンをクリックします。

7 このあとは、画面の指示に従ってインストールを進めます。

デバイスドライバウィザードでのインストール

Windows95の一部のバージョン（「バージョン4.00950B」プリインストール版のみ）において、プラグアンドプレイ実行時に❶の画面が表示された場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

❶ 次へ ボタンをクリックします。

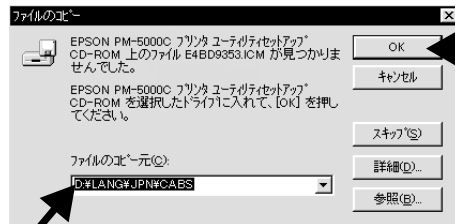
❷ 場所の指定 ボタンをクリックします。

❸ CD-ROMまたはフロッピーディスクをセットしたドライブ名とディレクトリ名「WIN95」を半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。

CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
Dドライブ Eドライブ :	D:\WIN95 E:\WIN95 :	Aドライブ Bドライブ :	A:\WIN95 B:\WIN95 :

4 PM-5000Cのプリンタドライバが見つかったことを確認し、完了 ボタンをクリックします。

5 プリンタ名を確認して、完了 ボタンをクリックします。

6 OK ボタンをクリックします。

上記の画面が表示されない場合は、8へ進みます。

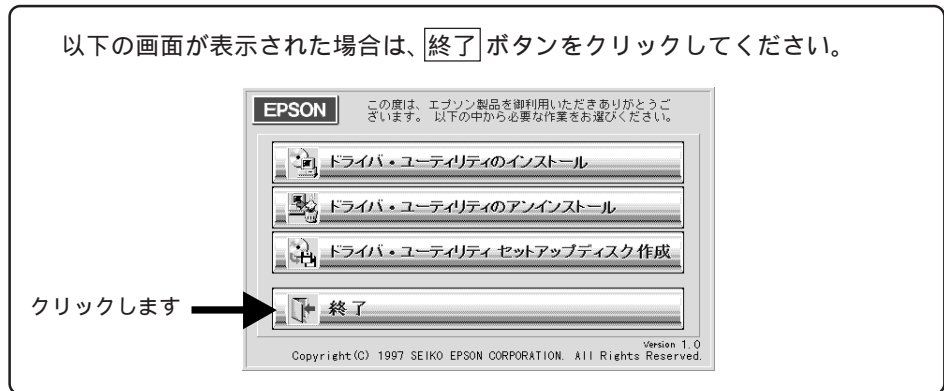
7 ディスクをセットしたドライブ名とディレクトリ名「WIN95」を半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。

①この表示を消去し、ドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力します

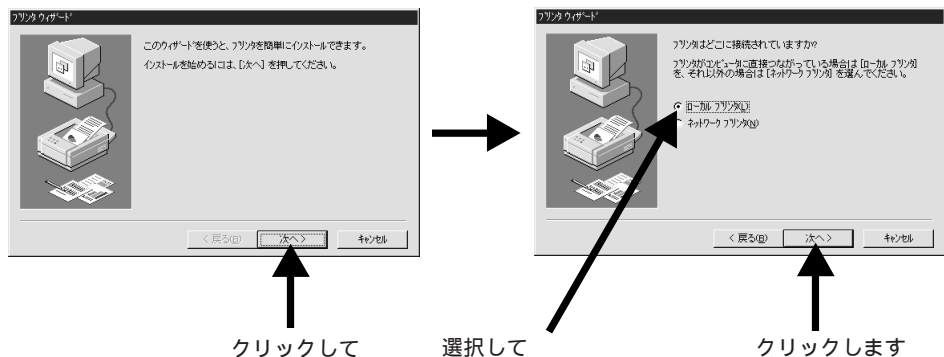
CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
D ドライブ E ドライブ :	D:\WIN95 E:\WIN95 :	A ドライブ B ドライブ :	A:\WIN95 B:\WIN95 :

8 このあとは、画面の指示に従ってインストールを進めます。

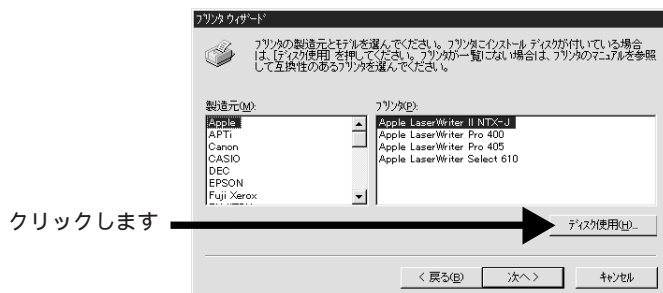
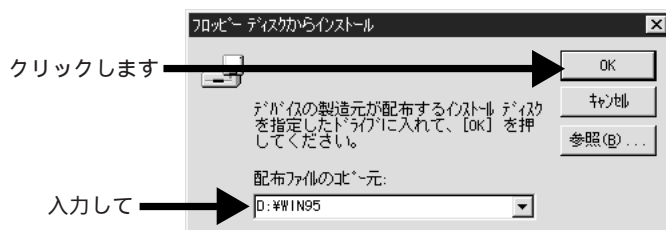
プリンタの追加によるインストール（Windows95）

1 「プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」（またはフロッピーディスク）をコンピュータにセットします。

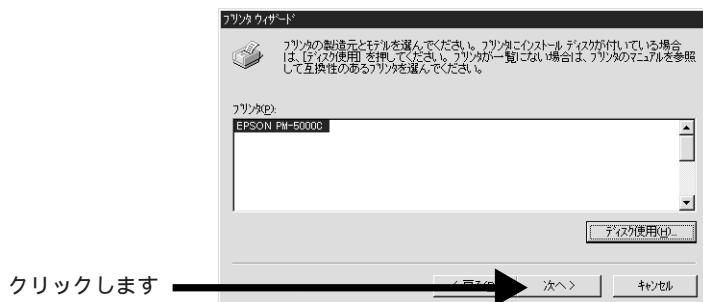
以下の画面が表示された場合は、終了 ボタンをクリックしてください。

2 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

3 次へ ボタンをクリックし、「ローカルプリンタ」を選択して、次へ ボタンをクリックします。

4

ディスク使用 ボタンをクリックします。

5

CD-ROMまたはフロッピーディスクをセットしたドライブ名とディレクトリ名「WIN95」を半角文字で入力し、 OK ボタンをクリックします。

6

PM-5000Cが選択されていることを確認して 次へ ボタンをクリックします。

7

このあとは、画面の指示に従ってインストールを進めます。

プリンタの追加によるインストール（WindowsNT4.0）

ここでは、ローカル接続の場合のインストール方法について説明します。

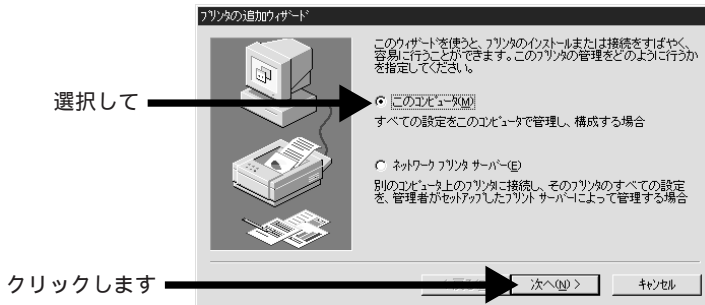
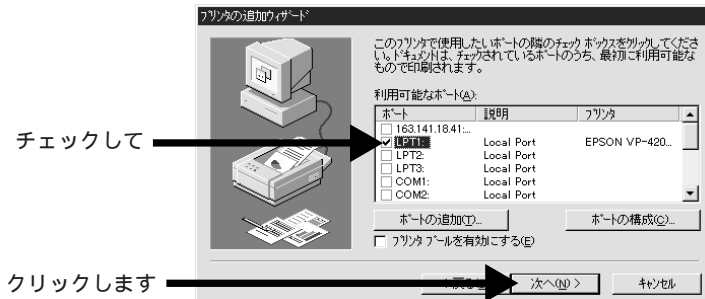
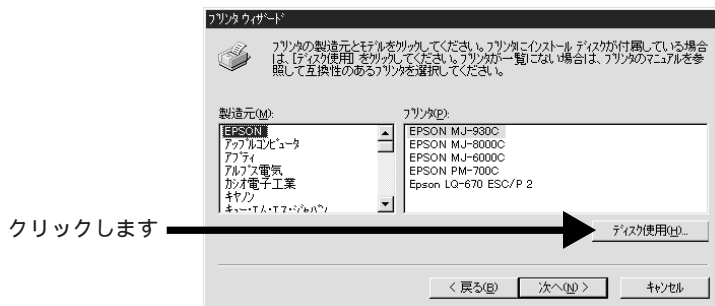
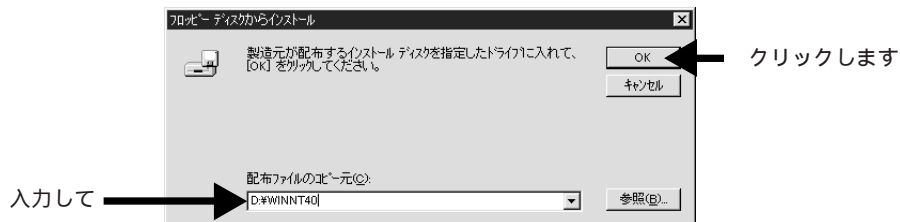
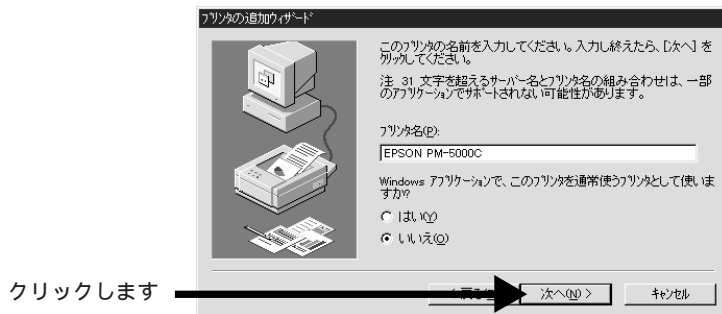
ポイント

WindowsNT4.0でのインストールは、システム管理者権限の方以外は、実行できません。

1 「プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」（またはフロッピーディスク）をコンピュータにセットします。

前項1と同じ画面が表示された場合は 終了 ボタンをクリックしてください。

2 「コントロールパネル」の「プリンタ」アイコンをダブルクリックし、「プリンタの追加」をダブルクリックします。

3 「このコンピュータ」を選択して、次へ ボタンをクリックします。

4 接続先のポートのチェックボックスをクリックし、次へ ボタンをクリックします。

5 **ディスク使用 ボタンをクリックします。**

6 **CD-ROMまたはフロッピーディスクをセットしたドライブ名とディレクトリ名「WINNT40」を半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。**

7 **次へ ボタンをクリックします。**

8 **このあとは、画面の指示に従ってインストールを進めます。**

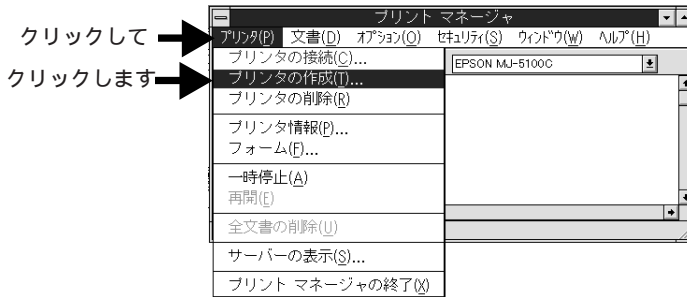
プリンタアイコンからのインストール（WindowsNT3.51）

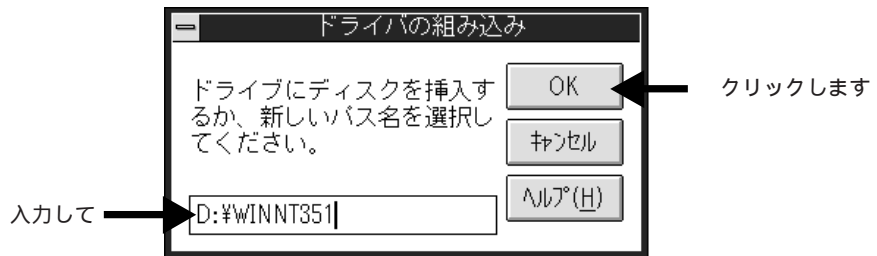
ポイント

WindowsNT3.51でのインストールは、システム管理者権限の方以外は、実行できません。

1 「プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」（またはフロッピーディスク）をコンピュータにセットします。

2 「メイン」グループの「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックし、「プリンタ」アイコンをダブルクリックします。

3 「プリンタ」メニューの「プリンタの作成」をクリックします。

4 プリンタ名を入力し、「ドライバ」のリストボックスの中から「その他 ...」を選択して、OK ボタンをクリックします。

5 **CD-ROMまたはフロッピーディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド「WINNT351」を半角文字で入力し、OKボタンをクリックします。**

6 **このあとは、画面の指示に従ってください。**

フロッピーディスクの作成方法

付属のプリンタドライバは、CD-ROM でご提供しております。3.5 インチのフロッピーディスクをご希望のお客様は、プリンタに同梱のご案内をお読みいただきご請求いただくか、以下の手順で、セットアップディスク作成ユーティリティを使用してフロッピーディスクを作成してください。

セットアップディスク作成ユーティリティは、お使いのコンピュータに CD-ROM ドライブがなくても、お近くに CD-ROM とフロッピーディスクを使用できるコンピュータがあれば、プリンタドライバ・セットアップディスクを作成できるユーティリティです。

1. **「プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM」をコンピュータにセットします。**

   自動的に❸の画面が表示される場合は、❸へ進んでください。

2. **「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROM ドライブのアイコンが「Epson」に変わったことを確認してからアイコンをダブルクリックします。**

3. **［ドライバ・ユーティリティ セットアップディスク作成］をクリックします。**

4. **このあとは、画面の指示に従ってディスクを作成してください。**

プリンタドライバのバージョンアップ

通常はプリンタに同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバをバージョンアップすることがあります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバを入手したい場合は、下記の方法でプリンタドライバを入手してください。

● パソコン通信をご利用の方は、下記 BBS よりダウンロード[*1] が可能です。
NIFTY SERVE：EPSON Information Forum （コマンド GO □ FEPSONI）
□はスペースです。

● インターネットをご利用いただく場合は、エプソン販売（株）のWWWサーバーにてドライバのダウンロードサービスを行っております。
【サービス名】 ソフトウェアダウンロードサービス
【アドレス】 http://www.i-love-epson.co.jp

● フロッピーディスクでの郵送をご希望の場合は､「エプソンディスクサービス」で承っております。
【方法】 郵便局へ実費をお振り込みいただき、郵送にてお送りいたします。
＊ 申込方法の詳細はEPSON FAX インフォメーションでご確認ください。
なお、併せて各種ドライバの最新バージョンを確認することもできます。
「エプソン FAX インフォメーション」 本書巻末の一覧表をご覧ください。

*1 ダウンロード ： ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

Windows でのインストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮[*1]ファイルとなっていますので、次の手順でファイルを解凍[*2]してからインストールしてください。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。
「プリンタドライバの削除」67 ページ

1 **ドライバをハードディスク内のディレクトリにダウンロードします。**

2 **ダウンロードしたファイルを画面上に表示される照介文を参照して解凍してください。**

スクロールバーでスクロールさせ画面上で確認するか、ブラウザの印刷機能を使用して印刷してご確認ください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

3 **解凍してできたファイルを、画面上に表示される照介文を参照してインストールしてください。**

*1 圧縮　：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍　：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

Macintosh でのインストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮ファイルとなっていますので、次の手順でファイルを解凍してからインストールしてください。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

1 ドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。

2 ダウンロードしたファイルを画面上に表示される照介文を参照して解凍してください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

3 解凍してできたファイルを、画面上に表示される照介文を参照してインストールしてください。

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載しています。

基本仕様

- 印字方式　インクジェット
- ノズル配列　黒インク：64ノズル
カラー　：各色64ノズル
- 印字方向　双方向最短距離印刷（ロジカルシーキングつき）
- 印字桁数 / 印字速度
グラフィックス

水平方向解像度	印字領域	印刷可能ドット数	印字速度
360 DPI	323mm｛12.7インチ｝	4578	20 IPS
720 DPI	323mm｛12.7インチ｝	9156	

- コントロールコード　ESC/P ラスター
- 紙送り方式　オートシートフィーダ
- 改行間隔　初期設定値 4.23mm{1/6 インチ}
（コントロールコードでは0.07mm{1/360インチ}単位に設定可能。最小送りは0.04mm{1/720インチ}。）
- 改行速度　79ms/ 行（行間隔 4.23mm{1/6 インチ}）
152mm/ 秒{6 インチ / 秒}
- 入力データバッファ　約 6KByte

インク仕様

- 形態　　　　専用インクカートリッジ
- 型番

黒インクカートリッジ	MJIC9BK
イエローインクカートリッジ	MJIC9Y
マゼンタ / ライトマゼンタインクカートリッジ	MJIC9LM
シアン / ライトシアンインクカートリッジ	MJIC9LC

- 有効期間　　　　製造時より 2 年間（常温）
開封から 6ヵ月以内
- 保存温度

保存時	－30℃～40℃	（40℃の場合 1ヵ月以内）
輸送時	－30℃～60℃	（60℃の場合120時間以内40℃の場合1ヵ月以内）

- カートリッジ外形寸法

黒インクカートリッジ	幅25.1×奥行き139.6×高さ105.3mm
イエローインクカートリッジ	
マゼンタ / ライトマゼンタインクカートリッジ	幅35.1×奥行き140.9×高さ105.3mm
シアン / ライトシアンインクカートリッジ	

- 寿命

黒インクカートリッジ	3200ページ / A4（360DPI、各色紙面占有率5%で印刷した場合）
イエローインクカートリッジ	
マゼンタ / ライトマゼンタインクカートリッジ	3000ページ / A4（360DPI、各色紙面占有率5%で印刷した場合）
シアン / ライトシアンインクカートリッジ	

この数値はインクカートリッジを交換後、連続印刷* した場合の値です。

* 連続印刷　：電源スイッチのオン・オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく、印刷し続けること。

注意

- **インクは－15℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。**
- **インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。**

用紙仕様

> **用紙取り扱い上の注意**
> - **一般の室温環境下（温度15～25℃、湿度40～60%）で使用してください。**
> - **折れ曲がり、丸まり、しわ、破れ、毛羽立ちなどがある用紙は使用しないでください。**

● **専用紙**

品質 / サイズ　：　スーパーファイン専用紙（A4/B4/A3/A3 ノビ）
スーパーファイン専用光沢紙（A4/A3/A3 ノビ）
フォト・プリント紙 2（A4/A3/A3 ノビ）
スーパーファイン専用光沢フィルム（A6/A4/A3 ノビ）
スーパーファイン専用バックライトフィルム（A3）
フォトカード 2（114 x 175mm）
スーパーファイン専用ラベルシート（A4）
専用 OHP シート（A4）

● **普通紙**

品質　：　普通紙 （複写機などに使用される事務用普通紙）
再生紙 （紙質によってはにじむことがありますので、試し印刷をしてから購入することをお薦めします。）

定型用紙サイズ　：　A3 ノビ /A3/B4/A4/B5/A6/ レター / リーガル

用紙厚　：　0.08mm ～ 0.11mm

● **ハガキ**

品質　：　官製ハガキ
スーパーファイン専用ハガキ
フォト・クォリティ・カード 2

サイズ　：　100 × 147mm（通常ハガキ）
200 × 147mm（往復ハガキ）

用紙厚　：　0.23mm 以下

> - **ハガキは、必ず縦方向にセットしてください。**
> - **往復ハガキは、通常ハガキ（縦置き）を横に 2 枚並べた状態（方向）でセットしてください。**
> - **用紙カセット 1 または手差しスロット（後）にセットしてください。**
> - **宛名面に印刷する場合、プリンタドライバの「用紙設定」は「普通紙 / 速いモード」に設定してください。**

電気関係仕様

- 定格電圧　AC100V
- 入力電圧範囲　AC90～110V
- 定格周波数　50～60Hz
- 入力周波数範囲　49.5～60.5Hz
- 定格電流　1.0A（最大1.6A）
- 消費電力　連続印刷時平均　約32W
（ISO/IEC10561レターパターン印刷時）
待機時　約15W以下
- 絶縁抵抗　10MΩ以上（DC500VにてACラインとシャーシ間）
- 絶縁耐力　AC1.0kVrms 1分またはAC1.2kVrms 1秒
（ACラインとシャーシ間）
- 漏洩電流　0.25mA以下[社会法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合]
- 適合規格 / 規制　国際エナジースタープログラム
高調波抑制対策ガイドライン
VCCIクラスB

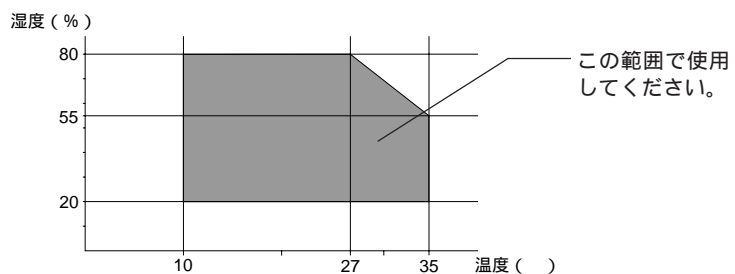
総合仕様

- プリントヘッド寿命　20億ドット（1ノズルあたり）

- 温度

動作時	10℃～35℃
保存時	－20℃～40℃（40℃の場合1ヵ月以内）
輸送時	－20℃～60℃（60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヵ月以内）

- 湿度

動作時	20～80%（非結露）
保存時	20～85%（非結露）
輸送時	5～85%（非結露）

● プリンタ重量　約 22kg
ダブルカセットユニット（オプション）約9.5kg
● プリンタ外形寸法　幅 640 x 奥行き 439 x 高さ 224（本体のみ）
幅 640 x 奥行き 704 x 高さ 224mm
（用紙カセットにA3サイズ紙をセットした場合）
幅640 x 奥行き 584 x 高さ 318mm
（オプションのダブルカセットユニットを装着し、用紙カセットにA4サイズ紙をセットした場合）

パラレルインターフェイス仕様

[コンパチビリティモード]

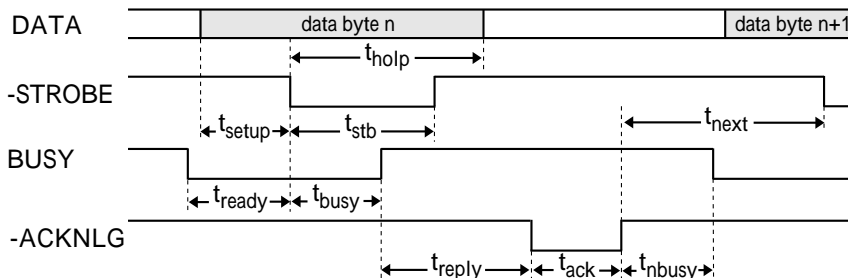
● データ転送方式　8 ビットパラレル
● 同期方式　外部供給 STROBE パルス信号
● ハンドシェイク　ACKNLG および BUSY 信号
● ロジックレベル　入力データおよびコントロール信号はTTL（IEEE-1284 Level 1 device）レベルコンパチブル
● 適合コネクタ　57-30360（アンフェノール）の36ピンプラグまたは同等品（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）
● 入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	センタマシン	データを読み込むためのストローブパルス。パルス幅は 0.5 μ s 以上必要。定常状態はHIGHであり、LOWになった後にデータを読み込む。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ1であり、LOWはデータが0であることを示す。
10	28	$\overline{\text{ACKNLG}}$	プリンタ	LOW は、プリンタがデータを受け取る準備ができていることを表すパルス信号。パルス幅は 1 μ s または 2 μ s。

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
11	29	BUSY	プリンタ	HIGHは、プリンタがデータを受け取れない状態であることを示す。LOWは、データを受け取れる状態であることを示す。HIGHになるのは次の場合である。 1）データエントリー中 2）エラー状態
12	28	PE	プリンタ	HIGHは、プリンタに用紙がないことを示す。（ERROR=Lowの場合に有効）
13	28	SLCT	プリンタ	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
14	30	$\overline{\text{AUTO FEED XT}}$	センタマシン	未使用
15	―	NC	―	未使用
16	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
17	―	Chassis	―	プリンタシャーシのグランド
18	―	Logic H	プリンタ	3.9kΩで+5Vにプルアップされている。
19～30	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
31	16	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	パルス幅50μs以上のLOWパルスの入力でプリンタは初期状態にセットされる。
32	29	$\overline{\text{ERROR}}$	センタマシン	LOWはプリンタがエラー状態であることを示す。
33	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
34	―	NC	―	未使用
35	―	+5V	―	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
36	30	$\overline{\text{SLCTIN}}$	―	未使用

注意

- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側も必ず結線します。更にこのケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのそれぞれシャーシグランドに接続することがノイズ対策上有利になります。
- インターフェイス条件はすべてTTLレベルを基準とします。各信号の立ち上がり、立ち下がり時間を0.2μs以下とします。
- 各信号のタイミングの詳細は、タイミングチャートを参照してください。
- ACKNLGまたはBUSY信号を無視してデータ転送を行わないでください（プリンタへのデータ転送はACKNLGを確認するか、またはBUSYがLOW状態のときに行う必要があります）。
- LOWアクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

● パラレルインターフェイスタイミングチャート

Parameter	Minimum	Maximum
tsetup	500ns	–
thold	500ns	–
tstb	500ns	–
tready	0	–
tbusy	–	500ns

Parameter	Minimum	Maximum
treply	0	–
tack	500ns	10us
tnbusy	0	–
tnext	0	–

[ニブルモード]

● データ転送方式　：IEEE-1284 ニブルモード
● 周期方式　：IEEE-1284 準拠
● ハンドシェイク　：IEEE-1284 準拠
● ロジックレベル　：TTL レベル（IEEE-1284Level 1 device）
● データ転送タイミング　：IEEE-1284 準拠
● 拡張要求データ　：拡張要求データ値が 00H または 04H の場合、要求を受け付ける。
それぞれの意味は次のとおり。
00H　：　リバースチャンネル転送をニブルモードで行うよう要求。
04H　：　リバースチャンネル転送のニブルモードを使用してデバイス ID を返すことを要求。
● デバイス ID　：＜ 00H ＞＜ 34H ＞
MFG　：　EPSON;
CMD　：　ESCPL2,BDC;
MDL　：　PM-5000C;
CLS　：　PRINTER;

● 入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	センタマシン	ホスト側のクロック信号
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ1であり、LOWはデータが0であることを示す。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy	プリンタ	プリンタ側のBUSY信号およびリバースチャネルでのデータビット3またはデータビット7。
12	28	AckDataReq	プリンタ	Acknowledgeデータ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット2またはデータビット6。
13	28	Xflag	プリンタ	X-flag信号およびリバースチャネルでのデータビット1またはデータビット5。
14	30	HostBusy	センタマシン	ホスト側のBUSY信号
15	―	NC	―	未使用
16	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
17	―	Chassis	―	プリンタシャーシのグランド
18	―	Logic H	プリンタ	"HIGH"はプリンタが出力するすべての信号が有効であることを示す。
19～30	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
31	16	INIT	センタマシン	未使用
32	29	Data Avail	プリンタ	Data available信号およびリバースチャネルでのデータビット0またはデータビット4。
33	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
34	―	NC	―	未使用
35	―	+5V	プリンタ	常時"HIGH"レベル 1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
36	30	1284-Active	センタマシン	1284 active信号

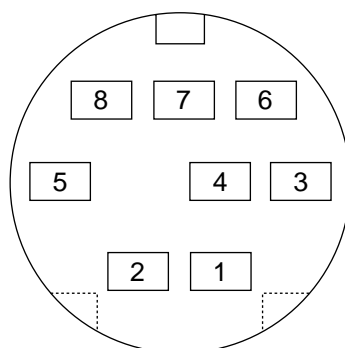
[ECPモード]

- データ転送形式　：IEEE-1284ECP モード
- 周期方式　：IEEE-1284 準拠
- ハンドシェイク　：IEEE-1284 準拠
- ロジックレベル　：TTL レベル（IEEE-1284 Level 1 device）
- データ送信タイミング　：IEEE-1284 準拠
- 拡張要求データ　：拡張要求データ値が10Hまたは14Hの場合、要求を受け付ける。
  それぞれの意味は次のとおり。
  10H ：転送を ECP モードで行うよう要求。
  14H ：ECPモードを使用してデバイスIDを返すことを要求。
- デバイス ID　：＜ 00H ＞＜ 34H ＞
  MFG ：EPSON;
  CMD ：ESCPL2, BDC;
  MDL ：PM-5000C;
  CLS ：PRINTER;

シリアルインターフェイス仕様

シリアルインターフェイスは、RS-423に準拠しています。

- 通信プロトコル　データ長　:　8 ビット
  パリティ　:　なし
  スタートビット　:　1 ビット
  ストップビット　:　1 ビット
- 同期方式　同期転送
- 転送速度　約 1.8Mbps
- ハンドシェイク　DTR および XON/XOFF 制御
- 適合コネクタ　Mini Din 8pin コネクタ
- 推奨ケーブル　Apple 社製 Mini Din 8pin システムペリフェラル-8 ケーブル（型式 : M0197LL/B）
- 入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン	信号名	発信元	機能
1	SCLK	プリンタ	同期クロック
2	CTS	センタマシン	クリアトゥーセンド
3	TxD-	プリンタ	データ送信
4	S.G.	センタマシン	信号グランド
5	RxD-	センタマシン	受信データ
6	TxD+	プリンタ	データ送信／バランスト
7	DTR	プリンタ	データターミナルレディ
8	RxD+	センタマシン	受信データ／バランスト

- DTR および XON/XOFF　ハンドシェイクのタイミング

状態	入力バッファ空き領域	DTR	XON/XOFF
ビジー	3072 バイト以下	オフ	XOFF 出力
レディ	5120 バイト以上	オン	XON 出力

インターフェイス選択

パラレルインターフェイス、シリアルインターフェイスは自動選択機能により、切り換えを行います。

● インターフェイス自動選択機能
電源投入後、最初にデータを受信したインターフェイスを選択します。その後、データ受信が途絶えてから、一定時間（10秒）を経過するとアイドル状態（どのインターフェイスも選択されていない状態）となり、次にデータを受信したインターフェイスを選択します。

初期化

プリンタは次の3つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

● ハードウェアでの初期化
電源を再投入時の初期化です。
プリンタのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入力データバッファをクリアします。

● ソフトウェアでの初期化
ソフトウェアにより、ESC @ （プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。
コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。プリンタのメカニズムは初期化しないで、入力データバッファもクリアしません。

● パネル操作での初期化
電源スイッチを切断してから10秒以内に再投入したとき、またはプリンタがINIT信号を受信したときの初期化です。
プリントヘッドをキャッピング後に用紙を排紙します。さらに、入力データバッファをクリアします。プリンタのメカニズムは初期化しません。

用語の解説

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

A **AppleTalk（アップルトーク）**
Macintosh 専用のネットワーク用通信規約、またそのソフトウェア。

A3 297mm（横）× 420mm（縦）の用紙サイズ。

A4 210mm（横）× 297mm（縦）の用紙サイズ。

A6 105mm（横）× 148mm（縦）の用紙サイズ。

B **Bit（ビット）** コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位で「2進数（Binary digit）」の略。実数を2つの数字（0または1）で表す。

Byte（バイト） コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8 Bit（ビット）で構成され、1Byteで英数カナ文字の1文字を表現できる。漢字は種類が多いため、1文字を表現するのに2Byteを必要とする。

B4 157mm（横）× 364mm（縦）の用紙サイズ。

B5 182mm（横）× 257mm（縦）の用紙サイズ。

C **ColorSync（カラーシンク）**
アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh 用のカラーマネジメント機能のうちの1つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSync の機能を 100% 発揮させるためには、入力機器（スキャナなど）、印刷データ、ディスプレイ、出力機器（プリンタ）の全てが、ColorSync に対応している必要がある。

CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）
25.4mm {1インチ} の範囲に印字できる文字数を表す単位。文字ピッチを示す単位として使う。

CPL（Characters Per Line/シーピーエル）
1行に印字できる文字数を表す単位。

CPS（Characters Per Second/シーピーエス）
1秒間に印字できる文字数を表す単位。

Ⓓ DPI（Dot Per Inch/ディーピーアイ）

25.4mm {1インチ} 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示す。

DMA（Direct Memory Access）

CPUを介さずに直接メインメモリと周辺装置、あるいは周辺装置間でデータをやりとりする方法。

Ⓔ ESC（Escape/エスケープ）

拡張用の制御コード。次に続くコードと組み合わせて1つの機能を実現する。コードの27（〈1B〉H）。

ESC/P（EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）

セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。これにより、プリンタのコントロールを行う。

EtherTalk（イーサトーク）

MacintoshをEthernet（イーサネット）に接続するためのAppleTalkの通信規約。LocalTalkでネットワーク接続した場合よりもデータの通信速度が速い。

Ⓕ FG線

プリンタとコンピュータとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続するコード。通常、インターフェイスケーブルのプリンタ側端子の横にケーブルから出ているが、インターフェイスケーブルによっては、FG線がないものもある。

Ⓙ JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）

日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードや漢字コードなどの規格。

Ⓚ KByte（Kilo Byte/キロバイト）

データ量の単位。1KByte=1024 Byte。

Ⓛ Legal（リーガル） 216mm（横）× 356mm（縦）の用紙サイズ。

Letter（レター） 216mm（横）× 279mm（縦）の用紙サイズ。

LocalTalk（ローカルトーク）

Macintoshに標準で装備されている、AppleTalkネットワークシステムのうちの1つ。データの通信速度はEtherTalkに比べて遅い。

Ⓜ **MByte（Mega Byte/ メガバイト）**

データ量の単位。1MByte=1024 KByte=1024 × 1024 Byte。

Ⓞ **OHPシート** オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

Ⓡ **RAM（Random Access Memory/ラム）**

データなどを読み書きできるメモリ。

ROM （Read Only Memory/ロム）

データなどの読み出し専用のメモリ。

RS-423（アールエス 423）

シリアルインターフェイスの規格の 1 つ。

Ⓥ **VGA（ヴイジーエー）**

もともと、IBM PS/2のグラフィックス制御用チップの名称で、解像度・色数などのディスプレイへの表示能力を示す。VGAを拡張したSVGAという規格もあり、通常は下記の表示能力を持つ。

VGA　　：640 × 480 ドット　16 色
SVGA　 ：800 × 600 ドット　256 色
　　　　　または
　　　　1024 × 768 ドット　256 色

* 使用しているコンピュータによっては、搭載されるグラフィックアクセラレータの機能に応じて、さらに高解像度・多色表示が可能となる。

数字

16 進数 16 進法で用いる英数字。一般的には、0 ～ 9 まではそのままの数字で、10 ～ 15 は A ～ F で表す。

アイウエオ

ア **アイコン** コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類、フォルダなどを象徴する図柄。マウスでこの図柄をクリックなどすることにより、さまざまな命令をコンピュータに指示する。

圧縮（データ圧縮）
1つ、または複数のファイルを1つにまとめて、データ容量を小さくすること。プリンタドライバなどをダウンロードした場合、データが圧縮されていることが多い。圧縮されたデータを使用するには、圧縮されたデータを展開して、元のデータに戻す（解凍）必要がある。

アプリケーションソフトウェア
コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

イ **インクカートリッジ**
印刷用のインクが入った容器。

インクジェットプリンタ
プリントヘッドのノズル部分からインクを用紙に吹きつけて印刷するプリンタ。

インストーラ CD-ROMやフロッピーディスクで供給されるデータやソフトなどを自分のコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに使用できる状態に環境を自動的に整えるソフト。

印刷可能領域 印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2ページにまたがって印刷される。

インターフェイス プリンタとコンピュータのように機能や条件の違うもの同士が接する接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェア、接続仕様。

インターフェイスカード
プリンタに標準装備されているインターフェイス（本機の場合は『パラレル』と『Macintosh用シリアル』）以外に、さらにインターフェイスを増やしたい場合にプリンタに取りつけるカード。目的に合わせて、さまざまなカードが用意されている。

インターフェイスケーブル
プリンタとコンピュータを接続するケーブル。接続するコンピュータの種類によって使用するケーブルが異なる。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

インチ 長さの単位で、1インチは約25.4mm。

カ

改行 印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度 画質の細かさを表す指標で、一般にDPI（dot per inch; 25.4mm｛1インチ｝あたりのドット数）の単位で表わす。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、コンピュータで処理しなければならないデータの容量も多くなり、印刷に時間がかかるようになる。

解凍 圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改頁 印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

カラーマッチング 原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

キ

キャッピング プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整 黒/カラーインクの吐出位置を調整する機能。この機能を実行することにより、双方向印刷時の縦罫線のズレや、黒インクとカラーインクの印刷位置のズレを補正する。

キャリッジ プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

給紙 用紙カセットや手差しスロットにセットされている用紙を、ページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

クリック マウスのボタンを“カチッ”と1回押すこと。コンピュータのディスプレイ上に表示されたアイコンやボタンを選択する際に行う操作。なお、マウスのボタンを2回続けて“カチカチッ”と押すことを、「ダブルクリック」と言う。

クリーニング プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

コ **誤差拡散**　印刷時に中間色、階調などを表現するための手法の1つ。写真などの印刷時に、最も自然な感じに印刷できる。

コントロールコード
プリンタの機能を制御するためにコンピュータからプリンタ側へ送られるコード（命令符号）。

シ **充てん**　プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値　電源スイッチをオンにしたときに選択される設定。

初期動作　電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップ。プリントヘッドが左右に動き、インクエンドなどのエラー状態を検査する。

シリアルインターフェイス
データを1ビットずつ転送するインターフェイス。本機に標準装備されているシリアルインターフェイスは、Macintosh専用のインターフェイスである。

ス **スーパーファイン印刷**
スーパーファイン専用紙などに、720DPIの解像度で印刷する機能。

セ **セルフクリーニング**
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

タ **ダウンロード**　ホストコンピュータに登録されたデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

ダブルクリック　マウスのボタンを、速い操作で2回連続して“カチカチッ”と押すこと。コンピュータの画面上のフォルダアイコンを開いたり、アプリケーションソフトをアイコンから起動したりする際に行う操作。

チ **チェックボックス**　ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、項目（機能）の有効/無効を指定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効⇔無効を切り替えることができる。有効になっている状態は、四角の中に×や✔が表示され、無効になっている状態は四角の中が空白になっている。

ノ	**ノズル**	インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。
ハ	**排紙**	用紙をプリンタから排出すること。
	バッファ	コンピュータから送られてきた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。
	パラレルインターフェイス	データ転送を8ビットずつ行う転送方式のインターフェイス。通常、DOS/V仕様機や、EPSON PCシリーズ/NEC PC-98シリーズでは、このインターフェイスを使ってプリンタと接続する。
フ	**ファイン印刷**	360DPIの解像度で印刷する機能。
	フォト印刷	1440DPI × 720DPIの解像度で印刷する機能。
	フォント（書体）	字体のこと。明朝体・ゴシック体などがある。
	プラグアンドプレイ	Windows95で提供される、コンピュータにハードウェア（プリンタなど）を接続するだけで自動的に動作環境が設定されてすぐに使用可能状態になる機能。
	プリンタドライバ	アプリケーションソフトウェアの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。
	プリントヘッド	用紙にインクを吹きつけて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。
ヘ	**ページ先頭位置**	用紙の一番初めに印刷される位置。
ホ	**ポート**	プリンタやモデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。通常、コンピュータの背面側にある。
マ	**マージン**	余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域を言う。
	マイクロウィーブ機能	行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ 目詰まりチェックパターン

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

メモリ

情報（データ）を保存する部分。プログラムのような固定された情報を保持するROM（Read Only Memory－読み出し専用メモリ）や、一時的に情報を格納するRAM（Random Access Memory －読み書き可能メモリ）などがある。

ラ ラジオボタン

ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、複数の選択肢の中から1つを選択するための丸いボタン。選択されていない状態は○、選択されて有効になっている状態は◉で表示される。

リ リセット

バッファをクリアし、各設定値を初期設定値に戻すこと。

レ 連続印刷

電源スイッチのオン･オフ操作およびヘッドクリーニング操作などで動作を中断することなく、印刷し続けること。

ロ ロジカルシーキング

双方向最短距離印字機能。次の行の印字位置への移動が最短距離になるように判断して改行する。

索引

参照ページがSxxとなっているものは、『セットアップガイド』の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。
（Win：Windowsの略 /Mac：Macintoshの略 /EPW：EPSON プリンタウインドウの略）

数字・アルファベット

アイウエオ

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　など

電波障害自主規制について ー注意ー

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合，VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので，必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は，落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては,交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は，社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については，将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については，万全を期して作成いたしましたが，万一ご不審な点や誤り，記載もれなど，お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については，(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり，本書の内容に従わずに取り扱われたり，またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては，責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および，エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し，それが原因でトラブルが発生した場合には，保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合，修理等は有償で行います。